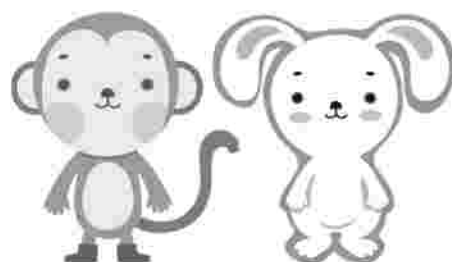


視聴覚教材目録

幼児教育用 紙芝居内容一覧

平成26年5月

相模原市視聴覚ライブラリー
相模原市中央区鹿沼台2-13-1
042-753-2401



教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1	こぐまのこぐちゃん	お山のこぐちゃんは、自動車がだいすき。町へ行ってたくさん自動車が見たくて、つみ木で車をこしらえ、でかけます。乗り物好きな幼児にぴったり。車の名前をあてっこしよう！
50	2	みんなおそろい	おかあさんに着せてもらった、きれいなレインコートがうれしいケンちゃん。雨の中をとびはねていると、おそろいのきれいなレインコートを着たりスさんに呼ばれて…。
50	3	もりのぶらんこ	森のくまさんが、木にぶらんこをつつてぶらんこ、ぶらんこ。うさぎさんがやっても乗せてあげません。うさぎさんも自分でぶらんこをつつたら、木が「いたいよ」と泣きだしてしまい…。
50	4	ひとりではいたら	男の子のみっちゃんは、自分でズボンをはいて園へでかけました。みっちゃんは友達のよっちゃんと砂山を作っていたら、おしっこがしたくなってしまいました。トイレにかけこみましたが、ズボンの穴が見つかりません！
50	5	わんわんちゃん	さあ、かわいいわんわんちゃんとおそびましょう。こどもたちと話し合いながら、はこぶ紙芝居です。げんきのよい男の子向きですが、こいぬがかわいいですよ。
50	6	にげたくれよん	クレヨンがチューリップの絵をかいている途中で逃げだした！いたずらがきして減っちゃったけど、チューリップの残りはかけるのかな？
50	7	おさじさん	おさじさんが、お山をこえて野原をこえて、歩いてきました。うさぎさんが、おいしいたまごいりのおかゆに、はなをつっこんで「あっちちち！」やっばり、おさじさんがおてつだいしくちゃ…。
50	8	ちゅうきちのおしょうがつ	子ねずみのちゅうきちはおかあさんねずみといっしょに、お供え餅をかじれるのはいつかいつかと待ちながら、天井うらから人間のお正月をのぞいていると…？
50	9	はないちもんめ (わらべうた)	おばあさんが子どもの時に遊んだ、はないちもんめや、かごめかごめのおはなし。
50	11	うさぎうさぎ (わらべうた)	十五夜の晩、うさぎのピョン吉とうさ子はおじいさんからお月さまの話を聞いて、おかあさんからうたをおしえてもらいます。
50	12	とおりゃんせ (わらべうた)	れいじは、おとうさんの看病をしているおかあさんと長いこと会っていません。さみしいような、泣きたいような気持ちでおばあちゃんの家にいると、となりの、りかちゃんが遊びに誘ってくれました…。
50	13	十二の月のものがたり 前編 (ロシア民話)	かわいそうなみなしごの女の子。大晦日、わがままな女王の命令を受けたおばあさんから、焚き木を捨てるよう言われました。次は、冬なのに春の花のまつゆき草を持って来いと言われた女の子は、また森に探しに行く事に。
50	14	十二の月のものがたり 中編 (ロシア民話)	四月の神さまのおかげで、まつゆき草を摘むことができた女の子。おばあさんたちが女王にまつゆき草を届けると、今度は女王がまつゆき草の在りかを教えないと首をチョンぎると言います。
50	15	十二の月のものがたり 後編 (ロシア民話)	雪の中にまつゆき草のあるはずはなく、女王はカンカンにおこり、女の子の命は危なくなりました。その時、突然の猛吹雪。十二の月が、女の子を救い女王たちをこらしめたのです。
50	16	やまんばのにしき	「ハラへったあ、モチもってこい。」赤ん坊を産んだやまんばが言います。村人は怖がり誰ひとりモチを届けません。「おらがいくべ。」と、ひとりのおばあさまがやまんばの住む山にモチを届けると…。
50	17	ねことごむまり	ねこさんたちが、まりで遊んでいるとポーンと飛んでいってしまいました。しかし、ねこさんたちは、まりという名前を知りません。まるいもの、転がるもの、はねるもの、飛ぶもの…様々なキーワードでまりを探します。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	18	おひゃくしょうとえんまさま (中国の民話)	昔は、人の命はえんまさまが決めていたもので、えんま帳を見ては「あいつの命はもうおしまいだ。」などと鬼に言いつけてひっぱってきます。ところが元気なお百姓のりゅうじいさん、年はとっても死ぬ気はありません。
50	19	かねもちでんがらでんえもん	大金持ちのでんがらでんえもんは、金を貯めるのだけが楽しみの、ひどいけちんぼう。ある日、よぼよぼのおじいさんに食べ物を恵んでほしいといわれますが、人にやるものは何もないと断ります。するとおじいさんは…。
50	20	たぬきのおんがえし	とっつかまっていた子だぬきを助けたらトントンと戸をたたいて、さっそくお礼に来ました。贈り物のコイに化けたら、コイ料理にされそうになり大騒ぎ！ゆかいな子どもの落語です。
50	21	くもくんがんばる (公害問題)	きぬた村のこがねぐもは、みどりの木とすがすがしい空気と虫たちの中で、ゆかいに暮らしていました。そこに人がやってきて、木を切り倒し道を作り、自動車がたくさん走るようになりました。暮らしにくくなったこがねぐもくんは…。
50	22	プリンキーとかえる	コアラのプリンキーとカエルのお話。退屈なプリンキーは、森の池へ冒険にやってきました。森の池では、カエルの先生が歌を教えたり泳ぎを教えたりしています。
50	23	ちゅうしゃにいったモモちゃん	モモちゃんは、歌います。おおきいだもん、おねえちゃんだもん。水ぼうそうになって、注射の時も泣きませんでした。
50	24	三びきのくま (原作:トルストイ)	森のなかに、とうさん、かあさん、ぼうやの三びきのくまのおうちがありました。散歩に出かけた留守に、道に迷った女の子がやってきました。
50	25	関東大しんさい (地震災害)	大正12年9月1日午前11時58分、突然、関東地方に大地震がおこりました。
50	26	まちへいったチュウキチ (地震)	都会はおもしろいところがたくさんある反面、大地震に襲われた場合、非常に恐ろしい場所に一变してしまいます。様々なケースをねずみのチュウキチに演じてもらい、子どもたちへの教訓を提供します。
50	27	じしんのあった日よう日 (地震)	日曜日の朝、突然地震が…。デパートへ行く途中の先々で、地震にあった場合のことを想定して、おとうさんが子どもたちにその対策を考えることの大切さを伝えます。
50	28	まさちゃんがない (地震)	給食中、地震が起きました。子どもたちに、学校で地震があったときの集団避難の重要性を描きます。
50	29	あっおうちがもえている (火事)	夜中、お母さんが焦げ臭いにおいで目を覚ましました。台所が火事です。大ちゃんたちも起こされ、火事の発見から鎮火まで家族全員の対処の仕方を描きます。
50	30	がんばれしょうぼうしゃ (火事)	デパートに買い物に来ていた大ちゃんたち。突然、火事を知らせるベルがなりました。どこをどう逃げれば安全なのでしょう。消防車や排煙車、はしご車なども活躍しています。
50	31	ひろし君がんばれ (地震)	突然大きな地震が起きました。ひろし君は学校で習った事を思い出しながら避難所へ向かおうとすると、倒れた看板の下から人の手が！みんなが自分たちで精一杯の中、ひろし君は助け出そうとがんばります。
50	32	ウーフちゃんな一ぜ？	おやへんだな。ぼくは何でできているんだろう？小ぐまのウーフちゃんは聞いてまわりますが…。「人とはどういうものか」という自己発見を子どもたちにうながしています。
50	33	貝のうた	みにくい貝のむすめは皆から離れてひとりぼっち。さびしく泣いていると、えびのおじいさんが親切になくさめてくれ、ふしぎな話をしてくれました。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	34	はまひるがおのちいさなうみ	嵐の後、浜辺の岩の上に出来た小さな水たまりに取り残された一匹の魚。近くに咲いていた、はまひるがおの取った行動とは…。「人とはどういうものか」という自己発見を子どもたちに促します。
50	35	おおい子のにぎりめし	おおい子は大きくて力持ち。優しくて親切で働き者、そしてとてもきれいな娘です。お相撲さんがおおい子に弟子入りをし、稽古と言って、大きなおにぎりを渡します。しかし、力いっぱい握ったおにぎりは固くて食べられません。
50	36	フライパンがそらをとんだら	お皿を割った皿洗いのトムは、フライパン一つと一緒に追い出されます。でも、そのフライパンは…？
50	37	ゆかいなきっちょむさん	きっちょむさんは、村一番いや国一番のとんちの名人。いつもとぼけて明るくて元気者です。明るい笑いに富んだとんち話二題でできた作品。
50	38	こぐまのベル	ぼく、こぐまのベル。今晚ひとりでおとうさんをさがしに行くの。最初に、うさぎのタミーちゃんのうちにいってみよう。互いに助け合う友愛、ほのぼのとした親子の情愛などを示しています。
50	39	かわいいおとしだま	「ぼくにだけ年賀はがきがこない…。」しょげてた一郎くんのところにも、郵便が届きました。郵便ポストにしてみるとそこにあったのは…。
50	40	きんのとり (スペイン民話)	明るく楽天的なダードン王の幸福を憎む悪い魔法使いがいました。魔法使いは、きんのとりを使いダードン王を騙します。騙された王様と魔法使いはどうなるでしょう？
50	41	おにごっこだいすき	アフリカのみどりの森でシマウマのふたごが生まれました。ところがこのふたご”しま”がありません。兄は雪の色、弟は夜の色でした。母さんは兄弟を連れて森を出て行くことにしました…。
50	42	いなくなったラビー (誘拐防止)	幼稚園の帰り道、うさぎのラビーちゃんはチンドンやさんのあとにくっついて歩き、あわてて帰ろうとしたら迷子になりました。そのとき、やさしそうなおじさんが声をかけてくれて…。
50	43	ふしぎな力	動物たちは、今までみんなが見たこともないヘンな動物が森の向こうにいるという話をしています。さて、どんな動物でしょう？たのしく、おもしろく、わらいながら考えられる作品です。
50	44	三日めのかやの実 (厚生大臣賞受賞)	北国の山のふもとに親子のツグミが住んでいました。年を取った父さんツグミは、死ぬ前にカヤの実を食べたいと三羽の息子に頼みます。親を思う優しい心とまごころの力を描きます。
50	45	ほしのおひめさま (文部大臣賞受賞)	空から落ちた星は、人間の願いをかなえる星になって、牛飼いにひろわれました。牛飼いは今の生活が嫌になり都に行きたいと星に願い、都に出ていきますが…。
50	46	少年と子だぬき (厚生大臣賞受賞)	お山の子だぬきは人間の女の子の姿になって山を下りました。そこに自転車に乗ってきた男の子が転んで怪我をしまい、子だぬきが傷の手当てをします。友だちと遊ぶ楽しさと優しい心を育みます。
50	47	へんでもわらいっこなし (文部大臣賞受賞)	粘土で動物を作りました。ブタみたいな馬を作った、たあちゃんは笑われてしまいます。すると、ほかのお友達の作った粘土の動物達も馬をからかいます。森の木のおじさんが、からかったお友達を懲らしめます。
50	48	ねむらぬくに (文部大臣賞受賞)	寝るのがきらいで、朝寝坊のまさおさんは、星の小人に案内されてねむらぬくにへ行きました。夜通し遊んでいるうちに眠くてたまらなくなったけれど、眠ったらおうちへ帰れなくなるのですが…。
50	49	おかあさんのはなし (文部大臣賞受賞)	病気の坊やを死神にさらわれてしまったおかあさん。坊やを探しにおかあさんは、自分の身体の一部を犠牲にして死神の花園に行きます。死神は坊やが生き返っても幸せになれるとは限らないと言います。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	50	とけいの3じくん	とけいのうちの小人の3時くんは、猫のトム公と夜中のねずみの婚礼にでかけました。夜更しをしてすっかりくたびれてしまい、3時を知らせる自分のつとめを忘れてしまって…。
		(文部大臣賞受賞)	
50	51	だらしのない子ちゃん	だらしのない子ちゃん、おはなはでてるし、手を洗ってもようぶくでふいちゃう。こまった、こまったない子ちゃん。保育歴20年の園長さんが書いた作品です。
50	52	こいのぼりのえんそく	保育園のみんなは遠足に。つまらなくなったこいのぼりは、空を自由に飛び回ってみんなのまねして遠足に行きました。
50	53	パンやと王さま	お城のパンがまずいと不機嫌な王さま。城のパン屋と王さまは服も帽子も交換して、王さまはパン焼きに夢中です。しかし、うまく焼けません。他人の立場になってみないと人のことはわからないということを教えます。
50	54	おりひめとひこぼし	機を織るのが上手なおりひめさまと牛飼いのけんぎゅうは、遊びに夢中で王さまに怒られてしまいます。王さまに1年に1度なら会ってもいいと言われ、その日が七夕と呼ばれるようになりました。
		(中国説話)	
50	55	そらのいろはなぜあおい	そらに色がついていなかったむかしのお話です。小さな町におじいさん(神さま)が住んでいました。お金を知らなかった大人は、旅人から金貨をもらい欲深く争います。その様子を見て子どもたちは…。
50	56	おさるとかがみ	おさるの親子が、故郷の小山を目指して旅をしていました。ところが、おとうさんざるが病気がかかってしまい、子ざるは一人で旅をします。心あたまる親子ざるの情愛と、苦境にめげず頑張っていくことの素晴らしさを伝えます。
50	57	いなくなったポコ	みなしごの子ダヌキのポコはいつもおなかを空かしていました。様々な空想をする時だけおなか为空いていることを忘れられました。子ダヌキのさびしい心情と友達と仲良くする心などに焦点を当てています。
50	58	しっぽのはみだし	たっちゃん絵をかくのが大好き。おにいちゃんの机の上にはみ出たへんなもの。一体なんでしょう？明るい兄弟のやりとりです。
50	59	てっぺんのもみの木	もみの木のいっばい生えた山がありました。てっぺんに小さなもみの木があります。小さいもみの木は、早くクリスマスツリーになりたいくて仕方ありません。月日を経てきこりがやってきましたが…？
		(北欧民話)	
50	60	けんちゃんのえほん	けんちゃんは画用紙いっばいに黒のクレヨンを塗っています。だから、手は真っ黒です。飽きたけんちゃんは、次に赤ずきんちゃんの絵本を読み始めました。あらあらよく見るとかわいい赤ずきんちゃんの顔にひげがありますよ？
50	61	きりんのびょうき	きりんさん、のどがいたいんですって。あーんとしても見えないし、クマ先生はこまりました。そこで、思いついたのが…。心の結び合いの楽しさを描いた作品です。
50	62	ロンロンじいさんのどうぶつえん	町が火事です。動物園も燃えそうです。園長は動物たちが暴れるまえに殺せといいますが、ロンロンじいさんは殺したくありません。みんなで力をあわせる大切さを伝えます。
50	63	たいふうがやってくる	とってもよいお天気なのに、「たいふうがやってくるぞー。」と、小鳥たちが騒ぎだしました。天気予報も、厳重に警戒するようにと、いっています。戸締りしたり船をつないだり大忙しです。
		(台風)	
50	64	クリスマスのてがみ	明日はクリスマス。子どもたちは、雪だるまに冬じいさんのところへ手紙を届けてほしいと頼みます。雪だるまは冬じいさんがどこにいるか知りません。犬のポビーと一緒に森へ入りましたが、ポビーがいなくなってしまう…。
50	65	おねこさんパーのまき	おねこさんとおくろさんは、新しく出来たプールが満員になると困るのでみんなに内緒で出かけました。途中、子どもをたくさん連れた犬さんたちに誘われますが嘘をつき、プールに辿り着きましたが…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	66	あばれるかぜとおとうさん	おかあさんが留守の晩、激しい嵐がきました。とらおちゃんは心細くなりお兄ちゃんを起こします。ふたりは誕生祝いに植えてもらった庭の木が倒れていないか心配です。その時、お父さんは庭の木を守ってくれていました。
50	67	はなのおひなさま	ゆみちゃんは千代紙で作ったおひなさまに「早く春にしてください」とお願いして川に流しました。はるかぜさんが、ゆみちゃんのいる川上へ春を届けます。この作品は鳥取地方の流しびなに取材したものです。
50	68	まいごのかなりや	ひまわりぐみに赤いかなりやが迷い込んできました。お当番になったかずこちゃんは、おかあさんとやおやさんに寄ると、赤いかなりやはやおやさんの逃げたかなりやでした。
50	69	ねことごむまり	NO.17と同じ資料
50	70	やったぞ、ヘンリー	クリスマスの前の日です。雪は何日も降り続けています。ヘリコプターのヘンリーは、大きな飛行機たちにばかにされています。雪の中、ヘンリーは苦しくてもがんばって教会の子どもたちにクリスマスプレゼントを届けます。
50	71	おにはそとふくはうち (節分)	昔、不幸せばかり続く村がありました。村人は鬼の仕業だと噂して逃げ出してしまいました。しかし、平太の家だけぼつんと一軒残っていました。平太は願いを叶えるため、鬼を追い払う方法を川の中の年神さまから教えられ...
50	72	おめでとドンちゃん (お正月)	仙人からお年玉をもらったドンちゃんとブタのダンブは、大喜びで町へ向かいます。ところがお年玉が風にさらわれて、空にあがっていたタコに、ひっかかってしまいます。
50	73	おかあさんどこ	赤、青、黄色の屋根の家が3軒一緒に出来上がりました。青い屋根は、青い空がおかあさん。赤い屋根は、お日さまがおかあさん。黄色い屋根は、お月さまがおかあさん。色さがし、色あつめを通して色の種類などに触れます。
50	74	ちいさなおとうと	よっちゃんに、あかちゃんのおとうとができました。でもママは、あかちゃんの世話で大忙し。よっちゃんのことをかまってくれないので、よっちゃんはブンおもしろくありません...
50	75	おたんじょう日のおくりもの	子ねこのミイちゃんは、おたんじょう日に5人のお友達をおまねきました。ケーキののったテーブルを囲んで楽しいパーティでした。みんなからの贈り物をあけてみると...
50	76	ポンポンボール	おたんじょう日に、おばさんからもらったすてきなボールを持って外へ出たランガ君。ポンと蹴り上げると、ボールは林の中へ。木の上で昼寝していたサルにコツン。ポンポンボールは...
50	77	おたんじょう日のひみつ	明日は大好きなママのお誕生日。パパとマチルデはプレゼントのお花を贈ることを二人きりの秘密の約束にしました。家族の誰にも気づかれないようにお花屋さんへ行こうとしますが...
50	78	ななしの子いぬ	月夜の晩、お母さん犬は六匹の子犬を産みました。パル、ピル、ブル、ベル...四匹まで名前を付けたお母さんは名前を付けることに疲れてしまいました。あとの二匹は名前がないままです。二匹は迷子になってしまい...
50	79	いばらひめ	昔、あるお城にお姫様が産まれました。さっそく、お祝いのパーティーを開きますが、呼ばれなかった魔法使いに呪いをかけられてしまいます。十五歳になった日、つむぎばりが指に刺さり、お姫様もお城の中も眠ってしまいます。
50	80	うさちゃん	ニャーン、ニャーン。ねこの赤ちゃんが泣いています。うさちゃんは、にんじんをあげたりきゃべつをあげたり...それでも泣き止みません。うさちゃん、びよーんと逆立ち！一生懸命やりすぎてうさちゃんは転んでしまいました。
50	81	おんなじおんなじ	ぶうとぴんが会ったら、靴もおんなじ、洋服もズボンもおんなじ。おまけに帽子もおんなじでした。手にしたおもちゃの消防自動車もおんなじ。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	82	もういいかい	こいぬの子ビちゃんたちが、かくれんぼをしています。チビちゃんが、うさぎさんや、ねずみさんや、やぎさんをみつけて、さいごにこねこちゃんをさがしている...
50	83	おへんじ	「やっちゃん、やっちゃん」とお母さん。ミニカーに夢中なやっちゃんは返事をしません。ねこはミャーン、いぬはワン、ポストはパタン、ぼくは「はい」。返事の大切さを学びます。
50	84	じゅんちゃんすとおつぷ	じゅんちゃんは庭で、おもちゃの超特急ひかり号にまたがって「しゅっぱーっ」がたーん、ごとーんと走っていくと「じゅんちゃんすとおつぷ」と、ふーとーいしっぽが、にゅっとあらわれて...
50	85	こねこちゃん	かわいいこねこちゃんにみんなで名前を付けてあげましょう。呼んだらこっちへ歩いてきます。おもちゃで遊びましょうか。ニャオーニャオー、あらあらお腹が空いたのかな？
50	86	わたしのくまちゃん	大好きなぬいぐるみのくまちゃんに、洋服を着せ、手を洗ってあげて、ごはんにしました。それから一緒に散歩。やぎさんや、がちょうのおばさんが、うらやましそうに見ています。
50	87	あひるのびいびいと、ひよこのぴっぴ	あひるのびいびいとひよこのぴっぴが卵からかえました。「さんぼにいこう」って二ひきがそろってでかけると、みみずが地面から頭を出していました。そこで二ひきは、みみずを取りっこ。
50	88	まこちゃん、ごはんですよ	手を洗って、まこちゃんは食卓につきました。台所からは大好きなシチューのにおいがしてきます。そこへ仲良しの犬が、「ごはん、まーだ？」ってやってきました。
50	89	にんじんさん だいこんさん ごぼうさん	にんじんさんと、だいこんさんと、ごぼうさんが一緒にお風呂に出かけました。にんじんさんは、いっぱい温まりました。だいこんさんは、きれいに体を洗います。ごぼうさんは、嫌がってお風呂に入りません。
50	90	おなべとやかんとふらいばんのケンカ	お母さんが、お鍋に野菜を入れ、やかんに水を入れてお湯を沸かします。フライパンに油を引いて卵をポン。そこに電話がかかってきました。お母さんが電話で話している間、台所ではお鍋たちが大ゲンカをはじめてしまい...
50	91	こぶたのけんか	森からのこのこやってきた子ぶたと村からのこのこやってきた子ぶたが細い土手の上でぱったりあいました。どっちもゆずらず、おまえがもどれ、おまえこそ、と、とうとうけんかになって...
50	92	ふうせんふわふわ	森の保育園のうさぎ先生が、みんなにひとつずつ風船をくれました。たぬきくんは、いろいろな色の風船が欲しくなって、みんなから風船を取り上げて手にいっぱい！風に吹かれてたぬきくんは飛ばされてしまいます。
50	93	あそびましょ	雨の日、おかあさんはお使いにお出かけ。じゅんちゃんがひとりでお留守番をしていると「あそびましょ」ってリスがやってきました。じゅんちゃんがリスとおままごとをしていると今度は...？
50	94	ぶんぶんぼちゃん	魚を取りにいったおとうさんは、蜂の巣を見つけました。ぼうやのおみやげにハチミツを持って帰ろうと木の穴の蜂の巣へ手を突っ込んだら「チクリ！」怒った蜂に刺されてしまいました。池の中に逃げたおとうさんは...？
50	95	いじわるだめよ	「ぶっぶー、バスですよー。」のぶくんがぬいぐるみのぞうさんと遊んでいます。そこへ、お姉ちゃんのなおちゃんがきて、ぞうさんの取ろうとしました。取り合いをしている内にぞうさんの手が取れてしまい、さあ大変です。
50	96	くまちゃんのあんよ	びんくまちゃんはおめが大好きです。おかあさんが止めるのを聞かないで、あめを買いに行きました。ペロペロ、あめを舐めながらお家に帰る途中、すごいスピードでオートバイが走ってきました。びんくまちゃんあぶない！
50	97	つみきつもうつもう	ともちゃんが、よいしょよいしょ。つみきをじょうずにつめました。次は、こりすのちょろちゃんです。よいしょよいしょ。ほーら、つめました。こんどはだあれ？まあ、はやいこと。えいっやーっ！てつんだら崩れてしまいました。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	98	これなあに	みいちゃんのお母さんが洗濯物を干しました。ひゅうー、と風が吹いてよだれかけが飛んでいってしまいました。ねずみさんが拾って、これはお布団よ！と言いました。うさぎさんが、これはマントだよ！と言います。
50	99	ありさんわっしょい	お庭に大きなバスケットが落ちていました。ありさんが、おうちへ運ぼうとしますがひとりでは重くて運べません。お友達を大勢呼んで、わっしょいわっしょい、うちまでわっしょい。無事、おうちまで運べました。
50	100	まりのまりちゃん	まりのまりちゃん、誰かと遊びたいの…。こねこちゃんが、遊んであげるよ「かり、かり、かり」とひっかきます。痛い痛い！まりちゃんは泣きながら逃げしていきます。こんどは、こいぬちゃんが遊んでくれるといいですが…。
50	101	山のためきの一けんや (火災予防)	ためきはいつも火事が心配です。あぶらげを揚げているきつねに、あぶらげ作りは止めて引越してくれないか、と言います。やぎじいさんは、一日中こたつの中で居眠りばかりです。
50	102	さようならの木 (卒業)	卒業を真近くに迎えた子どもたちが、今までの園生活を回想し、入園した時から比較して、大きく成長している自分に気がつきます。
50	103	おおきなごちそう	うさぎのミミちゃんは、とっても自慢やさん。ねずみのちゅう吉くんにはおかあさんの耳がとってもながいことや、ねこのにゃんこちゃんにはたらいくらいのホットケーキをおかあさんが焼くと言ってしまい…。
50	104	パパといっしょのお正月	たかしちゃんのパパは大きなお船の船長さんです。一郎くんもみこちゃんもお正月はパパと遊ぶのに、たかしちゃんのパパは帰ってこられないかもしれません。たかしちゃんは、パパとお正月を過ごせるのでしょうか。
50	105	おりがみおってクレヨンぬって (七夕)	明日は七夕です。おりがみを折ったり、クレヨンを塗ったりみんな一生懸命笹飾りを作っています。ところがいたずらものたけし君は、笹飾りをふみつぶしたり、折り曲げたりみんなの邪魔ばかり。
50	106	ピーターパン	遠い夢の国ネバーランドからピーターパンがロンドンに住む女の子、ウェンデーの部屋へやってきました。「忘れていった僕の影、もらいにきたよ。」影を縫いつけたウェンデーは、弟も連れてネバーランドへ行くことに…。
50	107	お医者さんの手紙	お金持ちのおじさんは一日中何もせず、プカプカパイプをふかし、ごちそうを食べ、すぐに寝るという生活をしていました。ある日、体調が悪くなり医者を呼んだがどこも悪くないと言われ…。
50	108	六人のけらい	ある国に美しいお姫さまがいました。おきさきさまが私の出す問題を解くことが出来たら姫をお嫁さんに差し上げましょうと言いますが、難しく解けません。そこに六人のけらいを連れて王子さまがやってきました。
50	109	アラジンのランプ	魔法のランプを持っているアラジンは、このランプでほしいものを手に入れ、どんなことでもできると王さまを説得し、ルリ姫と結婚します。しかし、このランプを魔法使いに奪われて…。
50	110	白鳥の王子	エリサ姫の11人のにいさんたちは、悪い魔法使いに白鳥にされてしまいました。人間の姿に戻すには、いくさで服を作らなければなりません。どんなに痛くても声は出してしまうと、にいさんたちの命は助かりません。
50	111	おやゆびひめ	花の中から生まれたおやゆびひめは、クルミの殻のベッドで眠っています。目覚めたおやゆびひめは、いつの間にかスイレンの葉の上にいました。ひきがえるが息子のお嫁さんになってもらおうと連れてきてしまったのです。
50	112	きつねのさいばん (原作:ゲーテ)	動物の国の王さまライオンが、悪いことをした者の裁判を始めました。皆、きつねのライネッケほど悪いやつはいないと言います。結局、口の達者なライネッケは罰を受けることはありませんでした。正直者がバカをみる話です。
50	113	なかまはずれのペータ (基本的生活習慣を育てる)	自分の体をきれいにするのが大嫌いなペータは、みんなにもじゃもじゃペータといわれていました。誰もペータと遊んでくれません。泉を覗いたペータは自分の姿に驚いて、きれいに自分を洗いました。爪も切りましたよ。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	114	おべんとう	お弁当の時間です。みんな手を洗いましょう。食べる前には、いただきますと言いましょね。食べた後はごちそうさまですね。どの子の食べ方が一番よかったですか。
		(基本的生活習慣を育てる)	
50	115	おうさまさぶちゃん	わがままでいばりんぼうのさぶちゃんは、洋服がひとりで着られません。なんでもママにやってもらっている姿を見たポッカリ島のあほうどりのホウだいじんとねこのニャオかっかは、島の王さまになってもらおうと頼みますが…。
		(基本的生活習慣を育てる)	
50	116	ポップ・トッポ・チッピ	ポップ・トッポ・チッピは三匹のかえるの名前です。ポップは食いしん坊、トッポはひどい好き嫌い、チッピはご飯もろくに食べず遊ぶのに夢中です。ある日、かっこいい泳ぎをしているとのさまがえるに会った三匹は…。
		(基本的生活習慣を育てる)	
50	117	せなかまるたろうくん	みんなで元気にうたをうたっているのに、ひとりだけ小さい声のひとがいます。せなかまるたろうくんです。せなかがるいとながいけないんでしょうか。
		(基本的生活習慣を育てる)	
50	118	へんなへんじ	みんな、なまえをよばれたら、大きなこえで元気に「はい」って返事をしてください。いつでも、どこでも、だれにでも正しくはっきり返事をすることの大切さを伝えます。
		(基本的生活習慣を育てる)	
50	119	ちらかしくん	ちらかしくん、なにを食べてもごみをポイー。絵をかいたらクレヨンだしっぱなし、本を読んだらちらかしっぱなし。身の回りの整理整頓を気づかせます。
		(基本的生活習慣を育てる)	
50	120	畑の中のたからもの	畑の中のたからもの / つよがったはえ / 大海をのみほす男 / タぐれとぶこもり (1話4枚)
		(イソップ紙芝居シリーズ1)	
50	121	わなにかかったしし	わなにかかったしし / そんなをしたやぎ / おおかみのうた / 百姓と海 (1話4枚)
		(イソップ紙芝居シリーズ2)	
50	122	もりのなかで	もりのなかで / わる口おおかみ / ものまねざる / おおかみの魚つり (1話4枚)
		(イソップ紙芝居シリーズ3)	
50	123	いばりだしたるば	いばりだしたるば / にもつえらび / つるのしかえし / にわとりときつね (1話4枚)
		(イソップ紙芝居シリーズ4)	
50	124	一本の木から	一本の木から / わしをきどったからす / かげあらそい / きつねのちえ (1話4枚)
		(イソップ紙芝居シリーズ5)	
50	125	ししのりょうぞん	ししのりょうぞん / ほら足もとが / どっちがえらい? / 馬とるば (1話4枚)
		(イソップ紙芝居シリーズ6)	
50	126	鉄腕アトム アトム誕生のまき	科学者科学省長官の天馬博士にはトビオという一人息子がいた。しかし交通事故で死んでしまい、天馬博士はトビオの姿をロボットで生まれ変わらせようと考えた天馬博士は…。
		(原作:手塚治虫)	
50	127	鉄腕アトム 海へび島のまき	海水浴にきたアトムと友だちは、流れてきた空きビンに助けをもとめる手紙が入っていることに気がつき大騒ぎです。その夜、アトムはビンが流されてきた潮の流れにそって探しに飛び立ちました。
		(原作:手塚治虫)	
50	128	鉄腕アトム ウランちゃんのまき	アトムはいもうとウランを、一年に一回開催されるロボッティング世界選手権大会に連れて行ってあげました。出場者がアナウンスされている中、突然ウランがひょっこり現れて…。
		(原作:手塚治虫)	
50	129	鉄腕アトム みどろが沼のまき	東京のちかくにあるみどろが沼に近づいた人は水の中に引きこまれてしまうという。警察も放っておけないと、大きな給水ポンプでかいだしていくと、怪物があらわれ…。
		(原作:手塚治虫)	

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	130	鉄腕アトム 植物人間のまき (原作:手塚治虫)	ものすごく寒い吹雪の晩のスキー場にへんな少年がやってきてへんな言葉で話しかけた。それはアルソア12という、つい最近爆発した星の名の少年だった。そして、次の日、恐ろしい事件が起きて…。
50	131	鉄腕アトム 地上最大のロボットのまき(上) (原作:手塚治虫)	世界の王になろうと、悪いサルタンは世界で一番大きく強いロボットを作らせ、ブルートウと名づけました。サルタンは、世界で名高い七人のロボットを倒すように命令します。最初は、山案内用ロボットのモンブランです。
50	132	鉄腕アトム 地上最大のロボットのまき(下) (原作:手塚治虫)	アトムをおびき寄せるためつかまっていたお茶の水博士を救いだすことに成功したアトムは、ブルートウと熊本県の阿蘇山でたたかう約束をして…。
50	133	ふたりのそうだん	ゆきおとたけしは銭湯に来ています。銭湯に泥んこの足で入ったり、潜水艦で遊んでいたらおじさんに怒られてしまいました。帰りに、おじさんが下駄の鼻緒が切れて困っています。たけしくんは、コマのひもをあげました。
50	134	みっちーの漂流記(5) 王さまえらび	狐や狼がいじわるや乱暴をするのは、森に王さまがいないからだということになりました。森の平和を守るため、強いライオンに森の王さまになってもらおうと森中の動物たちに問いかけると、狐が待った待った！と言います。
50	135	みっちーの漂流記(4) 森のアパート	みっちーは、動物たちに案内されたガジュマルの木のお城を森のアパートにしました。ところが、リスの家にチドリが侵入していたことで喧嘩が始まりました。チドリは卵を温めていたのです。
50	136	みっちーの漂流記(1) うみがめの島	みっちーとがーこは、船が岩にぶつかり海の中へ放り出されてしまいました。人食いサメに襲われましたが、ウミガメに助けをもらい島へ着くことができました。島には珍しい動物がたくさんいます。
50	137	みっちーの漂流記(2) ゆかいななかま	暑い砂原を歩いて川辺まで行くと、みっちーとがーこは小鳥が餌をついばんでいるのにであいました。それは、小鳥がわにの口の中を掃除しているというのです。わにに追いかけられたふたりは猿に助けられ…。
50	138	みっちーの漂流記(3) ねずみ騒動	ねずみの大群が草木や果物を食い荒らしながら追いかけてきます。逃げることに疲れたみっちーは川に橋をかけて向こうの島へねずみを追い払う作戦を考えました。作戦はうまくいくでしょうか？
50	139	そんごう お山がドッカンの巻	とおい、とおい昔、中国の花果山という岩山から、一匹の石ザルが生まれました。強くおいしいサルになる為に、術をならいに仙人の住むはるかな島へ。
50	140	そんごう おしゃかさまは強い巻	術を覚えたいうれしさに、あばれにあばれたそんごうは、天の神神に呼び出されました。だが、そんごうの乱暴はやみません。困った天の神神は、おしゃか様に訴えました。
50	141	そんごう えらいおぼうさんの巻	罰に深い石牢へ入れられたそんごうは、ただひとりじっと助けを待ちました。やがて冬も過ぎ、野や山が緑の衣をつけた頃、一人の偉いお坊さんに助けられました。
50	142	そんごう みんなそろっての巻	化け物になって娘を困らせていたブタの八戒をこらしめ、けらいにした三蔵法師とそんごうは、やがて大きな河に出会います。そこには、河の魔物、カップのさごじょうが住んでいました。
50	143	そんごう 2- きんとうんの巻	まっ白な馬が、新しいおともに加わります。ところが、旅の途中、ふとしたことで、ごうはおしょうさまのお叱りをうけ、くにへ帰ってしまいます。ごうがいないので、さごじょうも八かいもしょんぼり…。
50	144	そんごう 2- によいぼうの巻	王さまはやさしい王さまなのに、わるものの大臣のため、国の人たちは、むちでうたれながら働かされます。そこへごうたちが通りかかり、わるものの大臣と術くらべをします。大臣はいんちきばかりして。
50	145	そんごう 2- 三本の毛の巻	ひょうたんからくりの術という、ふしぎな術をもつ金角銀角兄弟をこらしめるため、ごうは新しい術を使います。それは、頭の毛を三本ぬき、ふーっと息をふきかけると、その毛はごうとまったく同じ小ごうにかわるのです。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	146	そんごく 2 とても強い相手の巻	長い旅もいよいよ終わりに近づきました。ところが、最後にでてきたのは、今までにない強敵、火をふく怪物です。さすがのそんごくも、手ができません…。
50	147	かわいいどうぶつ (自然観察シリーズ)	子どもと問答する紙芝居。にわたりの親子と食べ物、あひるの特徴や食べ物、うさぎの特徴や食べ物を話し合います。
50	148	はなつくり (自然観察シリーズ)	子どもと問答する紙芝居。夏の草花について、種まきに対する意欲をわかし、種まきの方法、成長の予測を話し合います。
50	149	きんぎょのぼうけん (自然観察シリーズ)	子どもと問答する紙芝居。金魚の特徴・えさや飼育方法、小川の中の生き物や捕り方について話し合います。
50	150	てんきしらべ (自然観察シリーズ)	子どもと問答する紙芝居。天気及び天気予報に対して関心を持たせ、天気の見方、生活との関係などを話し合います。
50	151	むしさがし (自然観察シリーズ)	子どもと問答する紙芝居。どんなところにどんな虫がいるか、虫の食べ物、飼い方を話し合います。
50	152	おつきさま (自然観察シリーズ)	子どもと問答する紙芝居。一晩の月の動きと、月の形の変化について話し合います。
50	153	きのはときのみ (自然観察シリーズ)	子どもと問答する紙芝居。秋の木の葉や木の実の紅葉の変化について話し合います。
50	154	おたんじょうび (たのしい行事シリーズ)	今日はよしちゃんのお誕生日。プレゼントとごちそうを楽しみにしているところへ、おにいちゃんが「生まれたときのことをしらないくせに」といじわるを言いました。そこでお父さんがよしちゃんが生まれた時のことを話してくれて…。
50	155	しんたいけんさのひ (たのしい行事シリーズ)	動物村の動物学校で身体検査です。さるのモンちゃんは、みんなの体重や背のことをいろいろ言ってきますが、自分の番になるとインチキばかり。
50	156	おかあさん (たのしい行事シリーズ)	カンガルーのお母さん、ポッケにあかちゃん大事にいれてます。おさるのぼうやおっばいちょうだい、にわたりのお母さん忙しい。ぼくのお母さんは…。
50	157	たなばた (たのしい行事シリーズ)	七月七日の晩は七夕さまのおまつりです。みんな、目をつぶって…空へあがってみると、天の川にきました。
50	158	おまつりごっこ (たのしい行事シリーズ)	楽しいおまつりです。みんなお神輿をかついでいます。その後から太鼓がやってきます。さあ、みなさん、花笠とお神輿を作って、おまつりごっこをしましょう。
50	159	なんになるのかな (たのしい行事シリーズ)	やっちゃんとしげるちゃんが、つみきあそびをしているときに、大きくなったら何になりたいのか、お話しています。自分たちのまわりには、たくさん自分たちのために働いている人がいることを伝えましょう。
50	160	おにはそと (たのしい行事シリーズ)	まめまきは、まめをまいて悪いオニを追い払う日です。お山のずーっと向こうにオニが住んでいる村がありましたよ…。
50	161	ママにはないしょね (母の日)	このごろのみどりちゃんとはとてもへん。ママにもないしょ、仲よしのけんちゃんにもないしょ。いったいひとりでなにをしているのでしょうか？小さな球根から一生懸命チューリップを育てていたのでした。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	162	かんむりたまご	森の動物たちは、王さまライオンがこわいのでちっともよりつきません。でも、王さまは本当はさびしいのです。卵をぬすまれて困っている小鳥を、かんむりにのせて守ってあげたやさしい王さまは、やがてみんなの仲間入りします。
50	163	みっちーの漂流記(6) ようふくやさん	浜辺へ大きな箱が流れ着きました。あけてみるとミシンと洋服生地です。みっちーとがーこは洋服屋を開くことにしました。王さまはガウン、トラにはケープをと、センスを生かして腕をふるうので、お客さんはびっくりなし。
50	164	おめめをぱっちり	暗いところで本を読んだりあまり近くでテレビを見たりすると、目が悪くなると、お母さんが教えてくれました。ぜんちゃんが朝おきると、目が赤くなっています。目医者さんは、きたない手でこすったからだよとお薬をさしてくれました。
50	165	ハイドン (レコード付・音楽家物語)	音楽の町ウィーンの近くに住むエステルハチーという殿様はお客様をおもてなしするとき、自分がかかえている楽団の楽長ハイドンが指揮し演奏します。ハイドンの曲はからりと晴れた青空のようにきれいできもちがよく上品なのです。
50	166	ベートーベン (レコード付・音楽家物語)	うたで名高いライン川のほとりにボンの町があります。ルードウィヒ・バン・ベートーベンは1770年12月16日、合唱団の歌手まずしい歌うたいの家に生まれました。父ヨハンは、宮廷の歌手でしたが、実力もなくそのうえ酒飲みでした。
50	167	シューベルト (レコード付・音楽家物語)	ハイドン、モーツァルト、ベートーベンが住んでいたウィーンに、オーストリアの皇帝が立てたコンピクトというお金持ちの子やよくできる子のあこがれの学校があります。シューベルトはくたびれた古服をきて入学試験に臨みました。
50	168	おくびょうなうさぎ (インド童話)	うさぎが地球がわれたらどうしようと思っていると、音がしたのでびっくりしてかけだします。ききつけた動物たちもかけだして大騒ぎになりますが、ライオンがだれがみたのかときくと…。
50	169	しょうじきなきこり	正直なきこりが川におのを落とすと、女神が出てきて、金、銀のおのを持ってきました。ちがうという自分のおのと、金銀のおのをくれました。よくばりな男が、わざとおのを落とすと女神が金のおのを持ってきて…。
50	170	みにくいあひるのこ	あひるのたまごから生まれた灰色のみにくいひよこは、いじめられて家族をはなれました。人のうちにいたり、沼に身をひそめたり、苦しみながらさまよい、氷にとざされたつらい冬を過ごします。
50	171	ななつのほし (原作:トルストイ)	たいへんな日照りで、雨がすこしも降らない村に、女の子と病気のお母さんがいました。女の子はお母さんのために、ひしゃくを持って水をもとめて歩き続けました。途中、石につまづきたおれこみ…。
50	172	きんいろのさかな	漁師が金色の魚を助けると、なんでも願いをかなえるといいました。おかみさんはそれをきくと、欲を出して、桶がほしい、家が欲しい、女王になりたいといひます。願いがかなうと今度は海の女王になりたいといひます。
50	173	つるのおんがえし	むかしのある寒い雪の日、おじいさんがわなにかかって苦しんでいるツルを助けてやりました。その晩、かわいい娘がおじいさんとおばあさんの家に訪ねてきて、泊めてほしいというので、泊めてあげることに。
50	174	ますとおじいさん	ひとりぐらしのおじいさんは、旅人から養魚場の話を聞いて、村の沼にますを育てて、村の人に残したいと思ひました。おじいさんはますのこをたらいに飼い、沼に離しました。一年、二年たってもますはみえませんでした…。
50	175	あらそい (原作:アミーチス)	エンリーコはコレッティのからださがさわって絵をよごされたので、わざとつきかえてやりました。コレッティはおこって外でまってるといひます。外で、エンリーコがものさしをふりあげると、コレッティはなかよくしようと手をさしました。
50	176	のぼら	国境を警備する二つの国の老兵士と若い兵士は、野ばらの花のそばで、将棋をさしたり、話をしたり、仲良く過ごしました。ところが二つの国の間に戦争がはじまって、若者は戦争に行き、殺されて…。
50	177	たぬき学校	ポン吉、ポン太、タヌ八、タヌ子とポン子たちはお掃除をしています。てんでバラバラ。先生はみんなで力をあわせてそうじするようにいひますが、力をあわせるってどうするんでしょう…？

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	178	きんたろうしばかりのまき	足柄山の金太郎は動物たちと芝刈りのおてつだい。あんまりたくさんとったので、車をつくり、一本橋では車をもちあげ大活躍。
50	179	ちくたっく	ある晩、おじさんがねむれないでいると柱時計の中からふたりの子供がおりてきました。ちくたとっくです。そしておじさんが大事にとっておいたごちそうを、みんな食べてしまいました。ところが、おすしのわさびのからいのにびっくり。
50	180	トンボリーのふるぐつ	けちんぼトンボリーのくつはばくばく。ある日ふるやで金ぴかぐつとはきかえて兵たいに大目玉。河にすてた古ぐつを漁師がひろってひと騒動。こんな騒ぎで金持ちトンボリーはたちまちびんぼうになってしまい…。
50	181	おもちゃのマーチ	おもちゃの国にいたみにくいピエロ人形は、みんなからばかにされていました。でも、ねずみのギャングがあらわれたとき、勇敢にまっさきに立ち向かっていったのは、ピエロ人形だったのです。
50	182	きしゃ	おさるのぼんたは子ども機関車の運転手。だが雨降りのときは子どもがこないで退屈です。そこでぼんたは町へとびだします。町へ出たぼんたはバスにのったり、ビルのてっぺんへ上ったり大喜び。
50	183	めえめえこやぎ	かわいいこやぎは走る練習をしてもじょうずに走れません。それをみていたおおかみは、こやぎをだまそうとします。そのときお母さんやぎがおおかみに突進して大格闘。森の動物たちにも応援してもらい、こやぎを救い出します。
50	184	とおりゃんせ	山の奥におこりんぼの山うばがおりました。里で子どもたちが歌っていると「うるさいぞ」と四方の山にこだまして響いていきました。そんなある日、里で歌をうたっているのに、山うばの声がきこえない日が続いて…。
50	185	きつねのチョコレート	きつねが、チョコレートをつかって、くるみ十粒とどんぐり五十粒でうりだしました。さるが買いおいしかったということで、たちまち、そのチョコレートは評判になりました。他の動物たちも買いにいくとお店が休みで…。
50	186	わんわんものがたり	ポチくんはかにさんのおうちの入口でいい気持ちで眠ってしまって、しっぽをチョコキン！かにさんのはさみで切られてしまいました。さあ大変です。しっぽのないポチくんはどうしたでしょうか？
50	188	月の中のうさぎ	月にいってみたいと話していた、うさぎとさるときつねのもとに、お月様から一番正直で、一番親切な一匹をつれてくるよという命令を授かった家来が、おじいさんの姿にかえて三匹のいる山にやってきました。
50	189	プーくまウーくま	ある日、プーくまちゃんりんごをもってウーくまちゃんの家へ遊びにでかけました。途中思わぬことが続出します。やっとうーくまちゃんのうちにつくと…。
50	190	さむいばんのはなし	長い間降り続いた雨がやっとながりました。まちなかたいのししの伊太郎は、さっそく山へ食べ物を探しにでかけました。やがて、帰ろうとすると、どこからかものすごい音が聞こえてきました。山くずれ…？
50	191	トラ王さまのしっぽ	トラ王さまは、サルのとこやさんにあたまをかってもらっています。気持ちよくてぐっすり眠って起きてみたら、たいへん、しっぽがありません。けらいたちに探させますが、どれもちがうものばかり。最後にみつかった場所は…。
50	192	おれいにもらった赤いきれ	赤ちゃんをうんだばかりのひつじの奥さんは、まだ仕事ができません。ある日、森の動物たちがお手伝いにやってきました。ひつじの奥さんは、大喜び。お礼に赤い切れ地をあげました。それを使ってみんなが作ったものは…？
50	193	おやまとのはらとひろいうみ	親切者のからすのかあすけくんは、迷子のたこちゃんふうせんをつれて、お山や野原や広い海を、お母さんを探して歩きます。「誰にでも親切に」という道徳的テーマを基調に描いています。
50	194	おなかのわるもの	「ぼくの手、とってもきれいだもん」幼稚園の昼食時、かおるくんだけは手を洗いません。砂遊びなんかしなかったから汚れてないというのです。でも、かおるくんの手は本当にきれいでしょか。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	195	おくちのわるもの	「痛いよ、エーンエーン」さあ大変、あかすけたちが、ほった穴が痛み出しました。いさおちゃんは歯をみがくことが大きらいなので、いろいろなばい菌たちが大活躍。歯磨きの大切さを伝えます。
50	196	ポピーちゃんのおぼうし	お空はまっさお。とってもいいお天気です。ポピーちゃんとみー子ちゃんはなかよくちょうちょとりに出かけます。ポピーちゃんの古くて大きなおぼうしは大活躍。でも大変。おぼうしのないみー子ちゃんが…？
50	197	うすぎになったもんきー	もうすぐ春。でも、寒がりんぼのもんきーちゃんは、こたつにばかりはいています。北風さんも、おもしろがっていっこうに立ち去ってはくれません。桜の木と小鳥さんは困ってしまいました。
50	198	もんきーちゃんのすききらい	すききらいを言わない元気なもんきーちゃんが、ふとしたことから、大好物のにんじんも食べなくなって、巻き起こしたゆかいなお話。
50	199	さむいといつてなまけたら	元気なみみこさんは、雪がふって大喜び。ところが、とんきち君の顔色は悪いし、ぼんた君の手はひびだらけです。大きなお口をあけたかばお君の歯は虫歯だらけ。冬に怠りがちな健康習慣です。
50	200	びんきーのゆきがっせん	あーらふしぎ？赤や青の雪がチラチラ降ってきました。いいえ、雪と思っただけはヘリコプターのチラシでした。びんきー達はがっかり。そこへプー吉くんとちゅう太郎君がスキーでスーッとすべってきて、みんなで雪合戦を始めます。
50	201	風の子ピピーと雪の子チララ	待ちに待った冬がきました。風の子のピピーと雪の子のチララは大はりきり。南の国へ飛んでいって汽船を止めたり、汽車を止めたりして大得意。楽しそうに遊んでいる子どもたちを見つけて…。
50	202	ばくだんのおまんじゅう	ひとりのおじさんが山の頂上までたどり着きました。おなかですいたので、リュックの中からおまんじゅうを取り出し、食べることにしました。二つ目を食べようとしたとき、かじかんだ指からおまんじゅうが転がり落ちてしまい…。
50	203	あおいめ すすめ あかいめ とまれ	ひろちゃんは、おちゃめなはずらっ子です。幼稚園の乗り物ごっこでも救急車になりたくて、あかいめの時にとびだしました。ところが、本当はちゃんと信号を守るよい子なんです。
50	204	イングランド号のさいご	女王のお召列車イングランド号は、自分の務めを果たした後、ローカル線にまわされてしまいます。田舎の線路上で遊ぶ子どもたちに毎日ひやひやしなながら走りますが、線路にのせられた小石で…。
50	205	こぶよりだんご	海辺にあるおとうさんの会社の園遊会に、三人は自転車に乗って出かけました。競争してころんだり、トラックにつかまってけがをしたり、ふたりのりでおまわりさんにしかられたりしながら、ようやくおとうさんの所へ。
50	206	じゃがいもとねずみ	はらぺこねずみが、食べ物を見つけて歩いてくると、むこうから、ころころじゃがいもが、やってきました。しめた！ごちそうにありつけた。そこでねずみは、じゃがいもと、友だちになろうと…。
50	207	こりすとふうせん	ふうせんをおねだりしすぎて、こりすは、ふわふわ空へまい上がります。せいたかのっぼのきりんも、木にのぼったさるも、とどきません。ふわふわ、ふわふわ高くのぼっていくばかりです。そのとき…。
50	208	三びきのふな	北の国のさむい小川の中で、春のやってくるのを、じっとまっている、三匹のふなはある日、あたたかい南の国の話をきいて、川をくだることにしました。ところが、ついてみると、突然…。
50	209	いちごつみ	小さい女の子が、山でいちごつみをしています。おや、誰か来たようです。「だあれ、さぶちゃんなの？」すると、「ウーフ。」とおかしな返事です。あらあらなんと、それは大きなくまさんでした。
50	210	けいたくんのたこ	大すきなやっこだこを、けいたくんは飛ばしてしまいます。さがしに行きたいけど、もうあたりは真っ暗なのです。その夜、けいたくんは、おみやの森で、すずめのばんぺいをするたこの夢を見て…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	211	花だんのあるうち	新しい家のそうじにきたてつおさんとおねえさんは、庭のすみのかわいい花壇を見つけます。ひっこして行ったかず子さんが造ったものです。花壇の前で、ふたりは花が咲いた時のことを、楽しく想像します。
50	212	月夜のバス	ガタン、ゴトゴト、ガタン！太郎をのせたバスが、月の照る山道を走っていきますと、とつぜん、ヘッドライトの中に飛び込んできたものがあります。「あっ、うさぎだ！」さあ、どうなることでしょう。
50	213	ありのおんがえし (中国説話)	トントン、トントン。あめうりのリーは旅をつづけます。とある大河で、リーは1ぴきのありをたすけました。その夜のこと、リーが、宿屋で休んでいると、にわかにあたりが暗くなって…。
50	214	ふたつの巣の物語 (ハチの生態)	ルリちゃんとジガちゃん姉妹は、お寺の竹びさしに、ならんでお家をつくりました。2匹が出かけた留守に、空き巣狙いのセイボウがそっとジガちゃんの巣に卵をうんでいってしまいます。そして赤ちゃんがうまれて…。
50	215	チョウのともだち (チョウとアリの共生)	「おーい、みんな！イモムシちゃんのせなかから、あまいみつがでてるよー」アリのおうちでは大さわぎです。チョウの幼虫イモムシとアリのほほえましく、ふしぎな共生の姿です。
50	216	くもの空中旅行 (くもの習性)	八月の暑い日差しの中で、こがねくもの巣が爆発しました。中から無数のくもが、はいだしてきます。その中の二匹、は上昇気流にのって、空中旅行にでかけます。いろいろな思いがけない災難に会いながら、成長していきます。
50	217	松葉のおうち (行列毛虫の習性)	なまけものトムは、「あーあ、働かずにたべる方法はないかなー」と思っていると、目の前に行列毛虫の大群が大行進しています。トムはさっそく行列に入り、ふとしたことから隊長になってしまいます。
50	218	北風によって (ガの生態)	オオクジャクガのブンは、とらえられたお姫様を助けにいきます。いろいろ危険なめにありますが、くじけません。そのうち、ピンの中から、お姫様の匂いが流れてきたので、その中に飛び込み、出られなくなりました。
50	219	おかしのおいえ (玉ころがしの生態)	コロスケは、他の玉ころがしが折角つくったおかしのお玉を、いつも横取りします。今では、誰も相手にしません。ある日、タマちゃんの玉を横取りしようとしたコロスケは、タマちゃんに、なし玉の中をみせてもらいます。
50	220	あなたはだあれ (アリとクサアリモドキの家族寄生)	クサアリモドキは死んだマネをして、トビイロケアリの巣の中に運びこまれました。トビイロケアリの女王が死ぬと、クサアリモドキが女王になりここで卵をたくさんうんで、冬越しをします。
50	221	まよなかのつまみぐい (ゴキブリの生態)	ゴキブリは食べ物を探して歩きまわります。ゴキブリの触覚は、匂いだけでなく、味もかぎわけるすばらしいアンテナです。チーズをたべたりしたあと、ビールを飲んでゴキブリはねてしまいます。そこを猫にねらわれて…。
50	222	ぴんきーは歯がいたい	天気の良い日曜日、ぞうたろうくんがぴんきーちゃんを遊びに誘いに来ました。ところが、ぴんきーちゃんは返事も出てもきません。歯が痛くて泣いているのです。歯医者に行こうとぞうたろうくんはいいいますが…。
50	223	ケーキをありがとう	ママのつくってくれるホットケーキは、世界一おいしいホットケーキ。チビクロ・サンボによく似たチビクロ・トンボはすてきなママをもってしあわせです。おいしいケーキができるのはいろんな人の力が働いていました。
50	224	ぴんきーがおじいさん	「ぼく、年寄りなんか大きらいだ！」と、いばっていたぴんきーちゃん。朝おきると、おやおやぴんきーちゃんがおじいさんに。これはいったいどうしたことでしょう。「敬老の日」ってどういう日？
50	225	たからものぼこつくり	こどもたちの宝物は石ころだったりチョコレート銀紙だったり。おうちへ持ってかえると捨てられてしまうと共同の宝物箱を作っています。ところが、力をいれすぎてひいたのこぎりがピーンとひいて鼻先をかすめ…。
50	226	おおきくなるには	ぶたのトンペイちゃんは、目がテレビをみっぱなしで、ごはんをぼろぼろ。おかあさんがテレビを見ないように注意すると「もうごはん、いらない」。うさぎのラビちゃんは、家に大好きなおばさんが来ていたので夜おそくまでおきてしまっ…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	227	ロボット・ロボののぼりぼう	運動のきれいなロボはからだの中がさびてきてリング班はのぼり棒競争に負けてしまいます。班の友達は嫌がるロボを誘って練習させます。木登りをして、木から落ち嫌気がさして逃げ出したロボは…。
50	228	ミーコちゃんとおそぼう	とてもきれいな三毛猫のミーコちゃん。お友だちはみんな、ミーコちゃんと遊びたがりました。シロくんも遊びに誘うと、また遊んでくれません、クロくんが誘うと遊ぶのに。理由をきくと、汚くて臭いからですって。
50	229	がらがら九すけ	一郎ちゃんほうがいが大きらい。九官鳥の九すけまでがまねをして「うがいをしなさい」なんていいいます。あるばん、かぜのバイキンが一郎ちゃんのもので大あばれ。目がさめるとヘンな声になっています。
50	230	ちょっとまっぺのけんちゃん	ちょっとまっぺといっは、いつも集合がビリのけんちゃんは、避難訓練の日逃げ遅れて負傷者にされてしまいます。みよこちゃんは、何も持たないでといわれたのに帽子やカバンを取りに行って…。
50	232	なまず	川じゅういちばん、物知りといばっている、なまずくん。ある日、ぴかぴかひかる、きれいなものをみつけます。そこには、ごちそうがいっぱいはいっていました。ひとりじめして、食べてるうちに…。
50	233	ひよこ	池のむこうに行きたいひよこのぴよちゃんに、あひるやみつばちが教えます。でも、ぴよちゃんにはできません。「えーん、えーん！」泣いていると、おかあさんが声かけます。そして無事に…。
50	234	ペンギン	日本の南極観測船「ふじ」も観測隊員を乗せて南極に出発しました。南極ってどんなところかな。ペンギンさんはどんな生活をしているのでしょうか。厳しい自然の中で、たくましく生きるペンギンさんたち。
50	235	おおくまぼし (原作:トルストイ)	女の子は、やさしい心のため、たいせつな水を、ひとにあげてしまいます。すると、たちまちひしゃくは銀に変わり、金になりました。コロコロとこころがり出た7つのダイヤモンドは、かがやきながら、夜空へ…。
50	236	ちちとぴびのりょう	つぐみの子、ちちとぴびは日本へはじめての旅行です。途中、嵐にあい、ちちはみんなとはぐれてしまいました。でも、ちちは、くじけません。勇気を出して、りっぱに渡りをすませます。
50	237	アンデルスのぼうし	つるぶえもほしいけど、アンデルスは、ぼうしととりかえる気にはなりません。王さまのかんむりよりも、もっと大事なぼうしです。だって大好きなおかあさんに、編んでもらったものなんですもの。
50	238	はやとり	ぐんぐんのびたくすの木、村は日かげになって大よわり。切り倒して船を造ろう。やっと相談がまとまって、立派な船ができました。風のように走るの、はやとりと名づけられて村の宝物になります。
50	239	小人といもむし	十五夜の日。やっとひろった一つのもち。そのもちも、若い小人は、いもむしにやっしまいました。いくども、お礼をいって、去って行った、いもむし。寒い長い、冬がすぎ、やがて春がやってきて…。
50	240	グライダー	しげおは、みんなが遊んでいるグライダーを買って欲しくて、たかちゃんに借りたり店の前に行って見ていたり…。物を欲しがると子供の気持ち、物をねだる子供の気持ちをあらわしています。
50	241	トンちゃんの日記	日記形式の紙芝居。トン子は自分が書いた日記に毎日書いてくれる先生の批評が好き。それも赤いペンで。ところがある日、批評が青いペンになっていて…。
50	242	しからぬおとうさん	吉成くんは、自分がカメラをこわしても、金(きん)をおとしてもおこらない、笑う顔のおとうさんがだいすき。
50	243	綴方教室	正子が弟と銭湯の前を通ると人だかりができていました。なんだろうと店の中をのぞくと、ばんとうさんとおまわりさんが言い合っていました。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	244	せっちゃん	めぐみさんの家にお手伝いに来た、せっちゃんのお話。せっちゃんは、赤い洋服を着て、背はちいさいけれど、とてもかわいらしい顔をしていて、わたしは嬉しくてしかたがありません。
50	245	ならさんのおばさん	日雇い労働者(ニコヨン)の子として小さい頃いじめられたぼくを、いつもはやさしいおばさんが、泣きながらおこってくれたのを覚えているんだ。
50	246	風のおじさん	船をみたいという弟の希望を叶えるため、わたしは弟と横浜の港へ向かって歩きます。そこへ風船売りが現れて、弟が風船がほしいと言うが、お金がなく買えないで困っていると、軍服姿のおじさんが買って来て・・・。
50	247	山いも	詩集を紙芝居にした作品。貧乏百姓の家の六年生の松三郎は、学校からかえると星がでるまで働き続ける生活をしています。そして、働く自分の中に自分の姿を見つけました。考えたことを紙に詩をかくのが好きだったです。
50	248	ケロヨンの大自動車レース (B5サイズの紙芝居)	かえるのケロヨンとたぬきのギャング・ギロバチの自動車レース。ところが、レース中にケロヨンの車を止めて助けをもとめるおじさんが目の前にあらわれて・・・。ケロヨンはどうするでしょう。
50	249	ケロヨンのぼうけん (B5サイズの紙芝居)	ケロヨンが、自慢のスポーツカーにねずみくんを乗せて走っていると、突然ギロバチが飛び出してきた。おっとあぶない、スイとよけてぶつからずにすんだけど、ギロバチは大げがしたと裁判所に訴えて・・・。
50	250	こぐまのぼうけん (B5サイズの紙芝居)	こぐまは、ごはんを探しにいっているおかあさんを、冬の山の奥でまっています。しかし、さびしくておかあさんのいいつけも守らず、穴から出て景色をながめていると・・・。
50	252	チポリーノのぼうけん(上) (イタリアの童話)	罪もないのに、牢屋に入れられたお父さんに会いにいった帰り道、玉ねぎの小僧チポリーノは、トマト騎士がうらなりかぼちゃのおじいさんに家を立ち退けとおどしているのに出会います。計略で番犬のマスターノを眠らせ・・・。
50	253	チポリーノのぼうけん(下) (イタリアの童話)	チポリーノはもぐらのおばさんに助けられて地下の秘密のほら穴から脱出。一方さくらん坊やは女中のいちごさんの計略でトマト騎士を眠らせ、地下牢の鍵を盗みだしてみんなを逃がします。
50	254	ピッグボーイ ドンちゃん じゃんぐるのまき	ドンちゃんが、ブタのダンプに乗って、じゃんぐるの上を飛んでいると泣き声が・・・。それは迷子の子象でした。いっしょにおかあさんを探しに出かけると、水が飲みたいと子象は動きません(ドンちゃんは、72と同キャラクターです)。
50	255	ピッグボーイ ドンちゃん うちゅうのまき	手製のロケットに乗り込んだドンちゃんとダンプが、宇宙をまっくらに進んでいくと、天の川のあたりで宇宙人の車と正面衝突してしまいました。そこへ、ウー！とサイレンを鳴らして、宇宙の警官がやってきて・・・。
50	256	できないめいじん	だいくさんが、家を建てていると、男の子が来て、自分も何か作りたくなります。まず、食器棚、ところが途中でのこぎりが動かなくなり、つぎにいすを作ろうと釘をうつと、まがったり、うてなかったり・・・。
50	257	せかいー大きなケーキ	ひろ子は十二人きょうだい。お誕生日のケーキはけんかになるから、今年はやめです。みんなで紙のケーキを作りました。その晩、ひろ子が目をさますと、ケーキのにおいがします。紙のケーキが本当のケーキになって・・・。
50	258	ちびごうのついせき	さくらちゃんと赤ちゃんのときから育てた犬のちびごうはとてもなかよし。ある日、園からの帰りをむかえにきたちびごうにさくらちゃんが向かって走りました。するとそこへ自動車走って来て・・・。
50	259	あばれるかぜとおとうさん	NO.66と同じ資料
50	260	おたまたまごろう	池の底に、まるいゼリーのつぶがたくさん。小さい目玉はだんだん大きくなって、しっぽがはえて、つるりとぬけだしました。おたまじゃくしの名前はたまごろうです。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	261	おいしい、おいしい	だだっこのうさちゃん。今朝もごきげんがわるく、顔も洗わないうえに、レタスとにんじんのはいったお皿をはらいのけて、おいしい食べ物さがしにとびだして…。
50	262	まるばんころころ (ロシア民話)	おじいさんとおばあさんが丸パンを焼きました。冷めるのを待っている間に、丸パンは、窓からころげて逃げました。野原をころげていくとうさぎがやってきて、丸パンを食べようとします。そこで丸パンは歌をうたってコロリーンと逃げて。
50	263	だまりやさん	けんちゃんが原っぱであった知らない女の子に「だあれ」っていったらその子、黙ってるの。鐘の音がきこえてきたのでいってみようかっていってもやっぱりだまってるの。でもその女の子ついてきて…。
50	264	うれしいおくりもの	かずお君とよし子ちゃんは、おかあさんに母の日・誕生日の贈り物をあげることにしました。おこづかいを全部持って、おばあちゃんにデパートに連れて行ってもらいました。あれこれ迷ったふたりは…。
50	265	いっしょにとうばん	みつとくんが机をふいていると、なっちゃんがきて「ぞうきんかして」といってきました。みつとくんがことわるとなっちゃんはぞうきんをつかんできて、二人でひっぱりあい。
50	266	けんぎゅうとしょくじょ (七夕の伝説)	みるくのように白くひろく流れているあまのがわ。そこで、しょくじょはおほしさまの着物を織っています。けんぎゅうはうしをひいて、はたけをたがやしています。
50	267	たぐぼーと たるまる (働く船)	タグボートのたるまるは、港で一番の働き者、一番の力持ち。それなのに遊覧船のかもめまるは、たるまるをいつもばかにする。いつのまにか港は一面の霧、船は霧笛をならす…。
50	268	おばあちゃん	ノブちゃんとエリちゃんは、おばあちゃんと遊園地にいきました。だれも乗らないこわれた木馬に、エリちゃんは乗せてもらって大喜び。木馬も大喜び。
50	269	ごんちゃんのえんそく	先生が遠足のバスの中の話をしていると、紙ヒコーキがとんできました。おさるのごんちゃんのいたずらです。遠足のバスの中で、ごんちゃんは下を向いています。ヘンです。
50	270	どうしてかじになったの ひあそび、パウリンちゃんのまき	いたずらっ子のパウリンちゃんは、猫のミーコとニャオコとお留守番をしているうちにマッチをみつけ、猫たちが必死になって止めるのもきかずチュッチュッとすりちらします。さあ大変です。
50	271	ももちゃんのおみせやさん	ももちゃんとうちゃんのおみせやさんごっこ。まりのピンポンの玉をおいかけていったももちゃんは、なにをみたでしょう。ウクーンといってるかわいい赤ちゃん。ももちゃんは、赤ちゃんを買ってといいます。
50	272	ゆきはだれのもの	大雪がふりました。けんちゃんとゆみちゃんが一生懸命つくった雪だるまに、大きな子が雪玉をぶつけます。ふたりがおこると、「雪は誰のものだよ」といいます。
50	273	おふくとおに (節分・伊豆)	ひでりで困ったおとうさんが、「雨をふらせてくれたら娘をやる」といったばかりに、おふくは鬼にさらわれていきました。行く道みち、一粒ずつ落としていった菜種が、春になると咲きました。この花を探しておふくは…。
50	274	なぜなぜなあに	”長い手で板を持って、ぶうらりぶうらりするものなあに？”階段のある坂道をすべるのなあに？”くみちゃんとしてっちゃんはなぜなぜが大好き。きょうも公園であてっこしてますよ。
50	275	ポビーたんてい長	ポビーちゃんが、自分とそっくりのロボットを作ってもらいました。リモコン装置をつかって、どんなことでもできます。ところが、ミーコちゃんのところにいく途中で、ふしぎなことがおこりました。
50	276	母の日のぴんきー	ぴんきーちゃんが、おかあさんのために、一生懸命つくったロボット第1号。名づけて、ロボかあさん。いよいよロボかあさんの大活躍がはじまります。ところが、つぎつぎ予想外のことがおこって…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	277	みの虫のおとしもの	お日様が、ギラギラ照って、みのむしのミーくんは、あつくてたまりません。とうとうミーくんは、みのからはいだしてしまいました。やがて気持ちのよくなったミーくんは、そのままねむってしまいました。
50	278	かぶと虫のかんた	「きょうからぼくも一人前だ」かぶと虫のかんたくんは、うれしくてたまりません。さっそく、友だちを探しにでかけました。最初にてあったのは、ありさんたち。でも、ありさんたちは、忙しそうにはたらいでいて、相手にしてくれません。
50	279	ありのおうち	ありのありきちが、おいしいおかしを見つけました。「こいつは、いいぞ。」ありきちは、おおよるこび。ひとりで一生懸命食べ始めました。もう、まんぷくです。すっかり眠くなってきました。
50	280	ポビーのえんそく	待ちにまった遠足の日がやってきました。ポビーちゃんも、ミーコちゃんもうれしくてたまりません。バスの中では先生がいろいろな注意をしています。でもポビーちゃんとミーコちゃんはふたりでコソコソないしょのはなしをしています。
50	281	おばけになったぴんきー	「ぼく、おばけになって、みんなをおどかしてやろう。」ぴんきーちゃんがおもしろいことを考えさっそくお化け屋敷にでかけました。それでなくとも、気味のわるいお化け屋敷。ところが、ぴんきーちゃん、ふしぎなことにでくわして…。
50	282	ドレミ八合唱隊	ほかほか、よいお天気です。ネコが大きな声できもちよさそうに、うたをうたっていました。そこへ、イヌがやってきました。ニャアニャア、ワンワン、なんだか変です。そこへブタが。
50	283	おくれたお日さま	あれれ、お日さまが寝坊です。雨の小人たちは、一生懸命お日さまを起こします。びっくりして、とびおきたお日さまは、あわてて、顔もあらわずにかけだしました。一年中でいちばん日の短い冬至をユーモラスに描いています。
50	284	雪の日のポビー	さむがりやのポビーは、ものすごい厚着。その上まだ寒いとみえて、ストーブにかじりついたまま、外に出ようとはしません。そこで、みー子と雪だるまは、ある計略を考えつきました。
50	285	まきばのともだち	ある牧場にいろんな過去をもついろんな馬が登場して、じぶんがいちばん立派な馬だといひあいます。そのうちとうとう、けんかがはじまりました。馬の世界を通して、友情と協力の大切さをときます。
50	286	ぴんきーのひなまつり	ぴんきーが幼稚園でおひなさまを作ることになりました。先生に言われた持ち物を持って行かず、みんなと相談しないでおだいりさまを作ると、決めてしまいました。それは、自分がおだいりさまになるということでした。
50	287	とのさまのちゃわん	むかし、ある町に他の物とくらべものにならないほどの焼き物名人がいました。ある日、殿さまの家来が店を訪ね、殿さまのちゃわんを作るよう命じました。薄くて軽い上等なちゃわんができあがって…。
50	288	花とうぐいす	春が来て、おかあさんうぐいすから春の知らせをしてきてほしいと頼まれた子どもとうぐいすは、村からまちへ「ホーホケキョ」とないてみんなに知らせます。
50	289	タカの子ピー子	ピー子は、正男さんが飼っているタカの子どもです。いつも猫のミーと遊んだり、庭の池のコイを守っています。ある日、正男さんがお使いに行き留守の時、大きいタカが池の上を飛んだかと思うとコイをさらって行って…。
50	290	大きな石の顔	ある村に、近くで見ると岩のかたまりにしか見えないが、離れて見るとりっぱな人の顔に見える岩山がありました。そして「いつか、この村にひとりの子どもが生まれ、あの岩山そっくりの顔をした偉い人になる」という言い伝えが…。
50	291	オニタのかいもの	山の奥に住むオニの子どもオニタが、友だちのオニコのところまでバターピーナッツをごちそうになりました。オニタはすっかり気に入って、人間のいるまちのおかしやさんに買い物に行って…。
50	292	りょうしといぬ (シートン動物記より)	森の一軒の小屋にジェフじいさんと犬のハンクが住んでいました。ジェフじいさんが猟にでかけるとき、ハンクはいつもついていくほどなかよしでした。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	293	うそつきのきつね	こぎつねこんたが望遠鏡で森の方をのぞいています。ためきのぼんきちがおいしいそうに食べているおまんじゅうをもらうために、こんたは河原の砂をスペシャルシュガーと偽って交換するために仕組んで…。
50	294	つぼの中の大おとこ (アラビアンナイトより)	正直で働き者の年をとった漁師が、朝早くから海へ出て魚を捕っていました。そこへ、網の中に魚とまじってひとつの茶色い壺が入っていました。漁師が壺のふたを力いっぱい開けてみると…。
50	295	ねことオルガン	のらねこののらおじさんが昼寝をしていると、一匹の子ネコが近寄ってきました。捨てられた子ネコをふびんに思っていると、自分が飼った猫だったときのことを思い出しました。
50	296	ざくろの実	土の中に、子どものいない王さまがさびしく暮らしていました。そのとき、王さまの頭の上からかわいらしい女の子の声が聞こえてきました。もぐら大臣に頼んで、どんな女の子かみてきてもらうと…。
50	297	牛方と山んば	牛方のやたろうは、たくさんの魚を牛のせなかにつんで、山道を歩いていると、目の前に山んばが現れました。魚をくれという山んばにやたろうは一匹ずつ与えてしまい、とうとうなくなってしまっ…。
50	298	めぐりあい	ある村に心やさしい大工夫婦と5歳の息子ジャンが暮らしていました。ある日、ジャンが友だちポールの家に遊びに行ったきり、行方がわからなくなってしまい、サーカスにさらわれたという噂をきいた両親は…。
50	299	かえるの王子	ドボン！大切な金のまりは深い深い池の中へ。王女さまたちは泣きべそ。「友達になってくれたらとってきてあげよう」かえるがいました。なんて醜い姿！そしてその日の夕食の宴に、かえるは大いばりやってきて…。
50	300	ころげたパンケーキ (イギリス民話)	歌をうたいながらフライパンからころがりだしたパンケーキ。7人の子どもと、おかあさんにおいかけられながら、コロコロ…ぶらぶらおじさんも、くいしんぼうのあひるさんでもつかまえられません。
50	301	はなたれ小僧さま (日本民話)	おじいさんがあげた薪のお礼に、竜宮の乙姫さまからつかわされたはなたれ小僧さま。きたない着物を着てはなをだらだら。ところが不思議。小僧さまがチーンと鼻をかむたびに、小判やお米が出てきて…。
50	302	うさぎどんときつねどん (アメリカ民話)	憎らしいうさぎをつかまえようと、きつねは一計を案じました。ベトベトねばつくコールタールのお人形を作ったのです。さて、一体何をするつもりなのでしょう？
50	303	二ひきの子ぐま (ハンガリー民話)	ペコペコおなかの子ぐまの兄弟。野原の真ん中で、大きなカステラパンを見つけておおよろこび。ところが、わけるときになって、おやおや二人はけんかをはじめてしまいました。
50	304	ペニロイヤルのおにたいじ (アメリカ民話)	お城で一番強い王子さまが鬼退治にいても、大砲で射っても駄目。さいごに「それじゃ、ぼく、いってくるよ。」小さくて力の弱いペニロイヤルが、のこのこ出かけていきました。
50	305	ペーチャとセリョージャ (現代ソビエト名作)	顔かたちから姿まで、瓜二つのペーチャとセリョージャ。まちがえられて損したり得したり。ふたりで心を合わせて大きないじめっ子をやっつけたりもします。
50	306	大男とちえくらべ (ノルウェー民話)	「おれの森で木を切るとたたころすぞ」こわいこわい大男です。一番目の息子も二番目の息子も追い返されてしまいました。ところが、三番目の息子は平気で黄色い小さいものをもって出かけて行ったのです。
50	307	ふるやのもり (日本民話)	雨がピチャピチャふっていました。ととったおじいさんとおばあさんはボロ家なので雨もりをしきりに気にしていました。ところが、そのボロ家に向かって、あちらこちらから近づいてくる幾つかの影があります。
50	308	石のスープ (フランス昔話)	おなかペコペコ、三人の兵隊さん、つかれた足をひきずってある村にさしかかりました。ところがそこはたいへんなケチンボ村、なにも食べる物をくれません。さあて、困ってしまいました。でもね、この兵隊さんたちはりこうものでした。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	309	はいいろのこがも (現代ソビエト名作)	かわいそうな灰色の子がもは、きつねにはねを食いちぎられてとべません。みんな南の国へとんでいくのに、ひとりぼっちでのこされました。寒さはだんだんきびしくなり川的面も氷がはってきて、恐ろしいきつねが…。
50	310	カナリヤ・タクシー・たかせ・たかしくん (交通安全シリーズ)	カナリヤタクシーの運転手、たかせ・たかしくんの一日。会社をでると信号が青。ふふ、タイミングいいね！するとお婆さんがヒョコヒョコ危ない！あの横断歩道の女の子、ふざけて渡るのかな？
50	311	おもちゃのまち (交通安全シリーズ)	新しいきれいなおもちゃの街ができました。おもちゃたちは大喜び。ところが車はびゅんびゅん、まったくデタラメに走っていて、たちまち衝突！くまちゃんの足がとんでしまいました。
50	312	雨のトーテム・ポール (交通安全シリーズ)	あきは、のぶ子さんが亡くなった事故の場所に、魔除けのトーテムポールをたててあげようと、友だちとないしょで彫っていました。おかあさんにも秘密です。ところがひどい雨の日、あきは…。
50	313	こんなときどうする？ (交通安全シリーズ)	寝坊したてっちゃん、近道して信号のない大通りを渡ろうとしましたが、考え直して信号のある道へ。忘れ物をしたたけしちゃんは、黄色に信号が変わったのに飛び出して、道の真ん中で立往生。
50	314	まことくんのじてんしゃ (交通安全シリーズ)	やっと、誕生日プレゼントに自転車を買ってもらったまことくんは、たけしくんととおるくんに自転車の乗り方を教えてもらい、乗れるようになりました。そして、学校の運動場で自転車乗りのテストがあり合格して…。
50	315	あぶないあそび (交通安全シリーズ)	仲よし三人組のたけちゃんは、トラックの下に転がったボールを取ろうともぐりこんで、運転手のおじさんにひどく叱られます。遊星仮面ごっこに夢中になったよっちゃんは道路にとびだしたとたん、バイクにはねられて入院してしまい…。
50	316	めちゃくちゃえんそく (交通安全シリーズ)	動物学校の遠足の日。遅刻しそうなぼんたくんはあわてて交差点を渡ろうとして…。その後、みんなで町の中を歩くと、みんなののるのる横断歩道を渡っているのが交差点が大変なことに。
50	317	こがねのいなたば	ある国に、ひとりぐらしのおひゃくしょうさんが年寄り馬を持っていました。いたわって大切に働かせていたのですが、弱ってとうとう病気になってしまいました。ところが…。
50	318	こりすのおかあさん	先生のまねをして話すサルの授業です。今日の内容はおかあさんについて。その話の中で、人間の子どもはおかあさんを大事にしないと聞いた子りすは昨日の自分を思い出して…。
50	319	子ぎるのかげぼうし	いつまでも、どこまでも自分のあとについてくる、まね小僧のかげぼうし。ほとほと閉口する子ぎるの行動がユーモラスに描かれます。かげぼうしってなんだい？なんだか変だな。
50	320	ある島のきつね	のんびりした平和な島の、とぼけたにくめないきつねのお話。和尚さんの留守にお寺へお供え物を食べに行ったきつねは、つんぼでめくらのおばあさんからお経をあげてくれと頼まれました。
50	321	よしのは鳥	ある日、ひろった一羽の小鳥。そして、少年と小鳥との心の交流が始まりました。ふしぎな美しい小鳥でした。その歌のひびきには、どこか人の心を打つ寂しさが感じられるのです。
50	322	ないた赤おに	オニといえば子どもたちはおそろしいものと思っています。ところがここに出てくるオニたちはとても優しいんです。心があったかいんです。人間と友だちになりたかった赤オニと友だちの青オニのお話です。
50	323	ふしぎな山のおじいさん	ある日、山で少年は小りすを助けます。小りすは、お礼にりんどうの花をくれました。このりんどうの花が機縁で、おはなしは意外な方向へ発展します。一つの善意が次の善意をうみだしていく関係をわかりやすく描きます。
50	324	犬と少年	人間が初めて火を得た歓びと感動を、少年と犬を主人公に、力強い語りとドラマティックな構成で、生き生きと描きます。火のありがたさ、尊さを改めて認識させてくれます。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	325	黒いきこりと白いきこり	北国の深い山の中。雪はどんどん降り積もります。黒いきこりの家の戸をとんとたたく音がしたので開けてみるとクマがいたので、きこりが鉄砲で撃つと、次にキツネ、そしてリスも…。
50	326	メッカの花	遠いメッカの町をめざして、少年ソードは旅を続けます。飢えと一人ぼっちの淋しさにたえながら。やっとメッカの町についたソードは、そこで一頭の馬にめぐり合います。つぎつぎ意外な事件が起きて…。
50	327	ちょうちょむすび	ヒョウの子どものペボネにはいつまでたってもひげがはえてきません。これにはとうさんヒョウもかあさんヒョウも大こまりです。でもご本人はいたってのんきです。
50	328	ニセモノばんざい	王さまのところへ、となりの国の王さまから手紙がきました。オートバイで競争しようというのです。でも、王さまはオートバイにのれません…。
50	329	ねずみのハイキング	ねずみはねこに、ねこはブルドッグに、ブルドッグはひょうに、順繰り追われてとうとう…？スリルとサスペンスにとんだ意外なドンデン返しの結末は？
50	330	かっぱのおんがえし	太郎さんのすきをねらって、カッパは太郎さんの馬をぬすみしました。ところがかえって、その馬にひきずられてひどいことに…。
50	331	木の上にベッド	王さまは一ばん高い木の上にベッドをつくれと命じました。でも王さまはとても臆病なんです。ねぞうがわるいんです。さあ、どうなることでしょうか？
50	332	海からきたたまご	ミルじいさんは、やっと長い間の願いがかなって日本の国へ行くことができました。ところが、その帰り大あらしにあい…。
50	333	木まもりの柿	子ども好きの Gond さんは、あぶないので一番上の柿は、子どもたちにとらせません。ところが、山ばの子どもがきてとろうとして、大変なことになりました。
50	334	二つの島のものがたり	まんまる島と三かく島の人々が山を高くする競争を始めました。バナナの木をたおし、畑をつぶして一生懸命！
50	335	町へいった子ギツネ	山のキツネはみな風邪をひいてねています。ひとりぼっちのルーはつまらないので、汽車にのって町へ出てみました。明るくてかわいらしい子ギツネルーの冒険。
50	336	おさとえんとつ	木のぼりコンクールのはじまり、はじまり。おさるやへびやりすや、森の動物たちは一生懸命！ところがちょっとした変なことが起こりました。はて、なにかしら…。
50	337	山のてじなし	おじさんは山から出てきて、町で手品を見ていました。あまりうまいので感心していたのですが、あれあれ？おじさんのポケットからもハトが飛び出しましたよ。
50	338	あかいかさがおちていた	みどりの葉がぬれて光っているジャングルに、眼にも鮮やかな真っ赤なかさ落ちていました。最初にさるたちが見つけて、かさをさして歩いていると、枝やつるにひっかかってめんどくさい！ぼーんとなげたら…。
50	339	一つが二つ	きつねがものすごいキカイを発明しました。なんでも一つが二つになるキカイです。ところが、トラのトラゴロウがこのキカイのため二匹になってしまいました！
50	340	あーんあーん	大変なことになりました。ぼうやがどうしても泣き止みません。おまけにその泣き声の大きなこと！窓ガラスが割れ、大きなビルディングにひびがはいりました。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	341	ゆかいなとらたいじ	いじわるな村長から、トラ退治を命じられたシャクアイはどうしたでしょう。まず最初に、大好きなおじいさんから、トラと友だちになる方法を教えてもらいました。
50	342	けんちゃんあそびましょう	けんちゃんの心の中にいつも住んでるきつね。とぼけていて明るくて、ちょっぴりいじわるなきつねと、けんちゃんたちの運動会が楽しく展開します。
50	343	おばけにおわれて	ヒロユキちゃんがへいに落書きしたおばけが、夕方になって歩き出しました。おいらを消しておくれよ〜と、ヒロユキちゃんを追いかけてきます。ところが…。
50	344	白いぼうしのおか	力じまんの木こりが、悪魔からもらった大おのをふりおろしますと、さあ大変！大地に大きなさげ目ができ、そこから、ニョキニョキと大きなきのこが…。
50	345	大きな大きなぞう	なにしろ大きな象なんです。汽車に乗ればトンネルでつかえるし、トラックに乗ればパンクさせちゃうし。からだが重くてサーカスでは逆立ちもできなくて動物園へいくことに…。
50	346	ふしぎなオルガン	神さまのおぼしめしにかなった時だけひとりでに鳴りだすオルガン。でも意外なことが起こりました。オルガン作りが、人の真実がみえたときすべてがわかりました。
50	347	かいじゅうぜんめつ作戦	大変です。恐ろしいことになりました。富士山めざして宇宙の大怪獣たちがあつまってきます。それを迎え撃って戦う日本子ども遊撃隊の、ゆうかんな活躍！
50	348	ほうびははんぶん	りょうしの若者が海で大きな鯛をとりました。あまり大きいので王さまにさしあげようと、お城にでかけていきましたが、そこに待っていたものは？
50	349	木ぼとけ金ぼとけのすもう	むかし、人に使われている貧乏な男の木ぼとけさまと、その男の主人の金ぼとけさまがすもうをすることになりました。さあ、果たしてどっちのぼとけさまが勝ったのでしょうか…。
50	350	おにはそと	世界中のおにが驚くことをしたいと考えているおにがいます。なにをするんでしょう。最初に思いついたのは、風の強い今夜、デパートに火をつければ町中が火事になること。そこで、おにはデパートにやってきて…。
50	351	おんどりがつくったパン	働き者のおんどりと遊んでばかりの子ネズミ2匹が一緒に住んでいました。おんどりが掃除をしていると、パンをつくる小麦の穂が落ちていました。さっそくパンをつくらうと、おんどりは子ネズミたちを誘いますが断られて…。
50	352	くろいきこりとしろいきこり	NO.325と同じ内容。黒いきこりは、大雪に追われてきた、くま、きつね、りすを無慈悲にも撃ち殺して皮を剥ぎます。三匹の魂が雪の野原をさまよっていると、神様があわれんで白い毛皮をくれました。
50	353	みんなでありがとう	子ねずみが二匹歩いていくと、おや、たいへん向こうから子ねこが二匹。でも、どっちもおかあさんにあげるお花をつみにいくところでした。並んで歩いていくと、子いぬが二匹、子ぶたが二匹。みんな並んで花摘みに。
50	354	チムとはさみ	生まれて初めて、はさみをもったうさぎのチムが、おもしろくて手あたり次第にものを切り、ついに自分の毛まで切りとってしまいます。はさみの扱い方や物事のけじめに気付かせるのに役立ちます。
50	355	はないっぱいになあれ	「花いっぱいになあれ」って、子どもたちが風船に花の種をつけてとばすと、風船の一つは野原まで飛んできました。それを赤い花だと思ったコンは、土の中に根のような風船の先を埋めて、水をやりました。
50	356	どこへいくのかな？	うさこちゃん、どこへいくのかな？ えっさえっさ、ぴょんどこ、ぴょんどこ、大いそぎ。パンやさん？ ちがう。ジュース買いに？ ちがう…。あんまりいそいで、ころんだ！

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	357	おかあさんだいすき	ダニーぼうやは、お母さんの誕生日のお祝いにあげる、すてきな贈り物をさがしにおでかけです。歩いていると、めんどりさんが、うみたてたまごをあげましょって。でもおうちにあるから大丈夫。次に…。
50	358	でぶ・ちびぐるま	仲よしのおんどりとかえるとねずみとはえが、森へ木の実をとりにいくと、輪がみんな違う大きさの車がころがっていました。うさぎはそんなものなんにもならないと馬鹿にしますが、持ち帰ることにしました。
50	360	ひよこちゃん	ちっちゃいくせに「ぼく、うんと大きいよ」と、とくいになって歩いているひよこが、どらねこに追っかけられましたが、とびだしてきたおんどりに助けられました。
50	361	牛のよめいり (日本昔話)	村のお宮で、美しい娘のすずがお祈りをしているのを知った若者の金太は、「金太の嫁になるがよい」と神さまの声をまねてささやきます。さあ、それからというもの、すずは悲しみに沈んで毎日泣いてばかりいました。
50	362	ライオンのめがね 前編 (フランス名作童話)	どうぶつの国の王さま、ライオンが年をとって目が見えなくなりました。それを知ったトラ大臣は嬉しくて嬉しくてたまりません。だって、次の王さまに自分になれるとおもったからです。
50	363	ライオンのめがね 後編 (フランス名作童話)	なくしてしまっためがねを、動物たちで一生懸命さがしましたが見つかりません。いったい、めがねってどんなもの？動物たちはめがねを見た事がないのです。
50	364	ガリバー旅行記 こびとの国の巻 (イギリス名作)	船が難波して、ガリバーはこびとの国に流れ着きました。そこでふしぎないろいろのことに会います。
50	365	ジャックと豆の木 (イギリス民話)	びんぼううちのジャックは、大切な牝牛と一粒の豆を、市場で交換して帰ってきました。おかあさんは、パンにもならないこの豆を窓から投げ捨ててしまいました。ところが、次の日…。
50	366	アリババと四十人のとうぞく (アラビアン・ナイト)	アリババが森で薪を拾っていると、大人数の盗賊が40人やってきて、大きな岩の前に並びました。盗賊のかしらが大きな声で「ひらけ、ごま！」。大きな岩が動いて大きな穴があきました。アリババはこの様子を見てびっくり。
50	367	ながぐつをはいたねこ (フランス名作童話)	おとうさんが死んで、一番末の息子のもらった財産はたったのねこ一匹。ところがそのねこが大活躍！
50	368	タンポポタンちゃん	町工場のすみっこに咲いているタンポポのタンちゃんを見つけてくれた工場のお兄さんが、タンちゃんを息でふ～と吹き飛ばしてくれました。おかげでタンちゃんは広い世界に冒険です。
50	369	うぐいすひめ (日本おとぎばなし)	きこりのおじいさんが、木を切ろうとすると、お姫様が切らないでとお願いするので、切らないよとおじいさんは約束しました。すると、お姫様が自分のお屋敷におじいさんを連れて行き、豪華な料理をふるまってくれました。
50	370	ちょうちょのきょうだい	お姉さんちょうちょのきいちゃんと、妹のしいちゃんは、丘の下にある町にいくという、みつばちのおじさんの後をついて行ってしまいました。そこで人間の男の子につかまりそうになって…。
50	371	たまごはだれのもの	フィリップの家は貧乏だったので、お隣の家からお金を借りたかわりに、フィリップがかわいがっていたたまごをよく生むニワトリをあずけることになりました。泣きながらえさを与え、そしておとなりにニワトリをあずけに行き…。
50	372	どうぶつ三びきうちゅうたんけん	うさぎのピョンくん、ねこのミケくん、おさるのキーくんは、火星には生き物がいるのかと博士にたずねます。そして、博士の作ったロケットで探検しに行くことに…。
50	373	ライオンのおやこ	森の王さまライオンに三匹の赤ちゃんライオンが生まれ、森の動物たちは大喜び。ところが、三匹のうち一匹の赤ちゃんライオンに元気がないのです。その上、ゴリラが森の王になると言い出して…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	374	みんなんぜみのうた	みんなんぜみの子は、8年いた土の中から出て松の木をのぼってきました。すると、緑の林の中に出てきたつもりが町の中に出てきてしまって、みんなんぜみは驚きました。その理由を松の木が話してくれて…。
50	375	あかちゃんのくに	ぼく(おじさん)と車に乗っている大ちゃんが、もっとスピードを出してとわがママを言ってきます。そのとき、カーブを曲がりきれなかったトラックが前からつっこんできたので、ロケットエンジンで回避すると、そこには…。
50	376	くろのはなし	のら犬のクロは、飼育員のおじさんに動物園で飼われています。夜の見回りをしていた園長は知らなかったので、ヒョウと勘違い。事情を知った園長は、一週間で芸を覚えなければどこかへやると言いますが…。
50	377	ふたりのおじさん (原作:トルストイ)	仲のいいふたりのおじさんは、遠いまちエルサレムへ行ってキリストさまにお祈りをしようと旅をしているところです。途中のどがかわいたと一人のおじさんが寄り道をしようとしたので、もう一人のおじさんはイライラ…。
50	378	うばすて山 (敬老の日)	むかし、年寄りのきらいな殿様が、70歳を過ぎた者は島流しにせよという命令をだしました。しかし、親孝行の百姓は母親を島流しにすることはできず、家の近くの丘に横穴を掘って母親をかくして暮らしていました…。
50	379	ばけものとかぼん	たのきゅうという旅の役者が、病気の母親に会うために、大蛇がでるといふ山に登って行きました。そこで、おじさんに化けた大蛇にあい、こわいものはなにかと聞かれたので「小判」と答えて…。
50	380	あの虫なあに (秋の虫)	コオロギの兄弟、コロきちとピョンきちが散歩に出かけると、いろいろな虫に出会いました。弟のピョンきちはまだ小さいのでいろいろなことを教えなくてはいけません。
50	381	三つのたから (原作:芥川龍之介)	姿を隠せる不思議なマント、鉄でも石でも真っ二つに切れる剣、一飛び四千キロ飛べる長ぐつ三つの宝物のとりっこをしているどろぼうが三人いました。そこへ王子が馬に乗って通りかかり…。
50	382	いなくなったラビー	NO.42と同じ資料
50	383	ドングリたろう	ドングリたろうは、木の上で毎日むこうのはげ山をながめては、はげ山に自分の芽をだしてドングリのジャングルにするぞと決心していました。そして、とうとう木枯らしがドングリたろうを地面に落として、旅にでることに…。
50	384	にんじゃの小太郎 (あぶない遊び)	太郎くんは、テレビマンガのにんじゃの小太郎の大ファン。まねをするため、めりけん粉と大工用具のくぎをポケットに入れて、木の枝をどんどんあがっていきます。ところが下をみたらこわくて下りられません…。
50	385	きつねうりとたぬきうり	きつねは、たぬきのふゆごもり用の穴を横取りしようと、たぬきを殺そうと悪たくみを考えつきます。そこでまず、たぬきにうまい話といって人間をだます計画を伝えて…。
50	386	ことしのこびとと、らいねんのこびと (年の初めの決心)	大晦日、ことしのこびとは今年いい子になった子どもたちの名前をノートに書いています。そのノートをらいねんのこびとに渡すのです。にこにこしながら書いていると、外で、子どもの買い物でねだっている声が…。
50	387	天下一の馬	じんべえさんが町で材木を売ってきた山里での帰り道、あくまの子が助けを求めてきました。しっぽをかみきられたので馬のおなかの中で傷を治したいといふのです。そのかわりに、馬を十頭分の力にするといふ…。
50	388	ふしぎな力	NO.43と同じ資料
50	389	やぎのかわ	昔、貧乏なおじさんとおばあさんがいました。ある日おばあさんが病気になり、医者にもみせることもできず死んでしまいました。お金も借りられず、お葬式もあげられず、おばあさんを土に埋めようとおじさんが掘っていると…。
50	390	おひなさまとドレミのこびと	みんなでおひなさまをつくっています。上手にできないからと、チーちゃんは途中でつくるのをやめてしまいました。その夜、シクシク泣く声がします。こねずみのチュウくんが見つけたのは、チーちゃんが捨てたおひなさまでした。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	391	五ひきのやもり	おすのやもりと、めすのやもりが寝ていると、突然おすのやもりに釘がさりました。それは、おじいさんがずれた羽目板を直そうと釘をうちつけたのです。めすのやもりは、おすのやもりのために毎日えさを食べさせました。
50	392	もんきーちゃんのこどもの日	もんきーちゃんは、はじめて、こいのぼりを見ました。元気なところを見せようと、たれさがっているこいのしっぽにつかまりますが、そのときふいてきた強い風に吹き流されて、友だちやおかあさんに心配をかけます。
50	393	ぴんきーのせいくらべ	”せいはい一番高いところではかるものなのよ”うさこちゃんは長いお耳をぴーんとたてました。負けるものかと、ぞうたろうくんはお鼻、ちゅうたろうくんはおひげです。困ったぴんきーちゃんは、そっとズルを。
50	394	はなさかじじい	風が流れて灰が散り、枯木がきれいな花ざかり。アップレみごと花さかじじいであるぞ！
50	395	ももたろう	おばあさんが川でおせんたくしていると、ツンプラツンプラとももがながれて…。
50	396	さるかにがっせん	にぎりめしより柿のタネ、いわれてカニはとりかえましたが…。
50	397	ぶんぶくちゃがま	大へんだ！茶がまがタヌキに化けおったぞ！いやちがったかな？タヌキが茶がまに…。
50	398	したきりすずめ	したを切られたすずめのお宿をたずねておじいさんは行きました…。
50	399	うらしまたろう	たすけたカメに連れられて浦島太郎は竜宮城へ！タイやひらめの舞踊り、サンゴや貝やたからものの美しい絵物語り！
50	400	かたつむりのおんがえし	カエルの郵便屋さんはハガキや手紙を届けるのに大忙し。途中の道端で、迷子になったでんでん虫のぼうやが泣いているのを見つけました。
50	401	くらげのおつかい	ほねなしくらげのおじいさんは、むかしはほねがあったんです。どうしてほねがなくなったのか、お話ししましょう。むかし、海の底の竜宮城のおとひめさまが病気になって…。
50	402	わらしべ長者	貧乏なお百姓さんが、観音さまに、自分はどうして貧乏なのか聞いてみると、「これから都へ行き、最初に手に触れたものを大事に持っていなさい」と告げられました。
50	403	ありのおんがえし	NO.213と同じ資料
50	404	白い馬 (モンゴル民話)	ひつじかいの少年スーホが、白い子馬を家に連れて帰ってきました。その後大きくなった馬と一緒に、スーホは王さまが開催する競馬にでることにしました。一等になった乗り手を王子様にするというのです。
50	405	おしゃべりつばめ	はたらくよりもおしゃべりがすきなつばめがいました。なんと、ある国には千階もの家があり、そこにつばめが巣をつくっているというのです。おまけに泥でなく、コンクリートで巣を作っているって話で…。
50	406	アンデルスのぼうし	NO.237と同じ資料
50	407	小鳥になった木の葉 (インディアン説話)	インディアンぼうやのパウパウはいたずら大好き。お父さんの斧をふりまわして、森の木を切り倒しています。こまった小鳥たちはパウパウを追いかけます。そこでおじいさんから木の葉が小鳥になった昔から伝わる話を聞かれます。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	408	おしゃれなライオン (アメリカ童話)	水に映った自分のすがたにうっとりしていたライオンが寝ていると、サルたちがライオンのたてがみを三つ編みにしておもしろがっています。するとライオンが起きて…。
50	409	ほたるのほうちゃん	ほうちゃんはおかあさんの言いつけを守らず、とんぼのおじさんと一緒に森へ行ってしまいました。そこで、かぶとむしにつかまってしまいます。しかし、なんとか助け出されて…。
50	410	すてきなサーカス	とてもすばらしいサーカスが町にやってきました。子どもたちの夢がいっぱい。
50	411	あたらしいおかあさん	きょうは母の日。みんな赤いカーネーションを胸につけています。でもぜんちゃんだけは…。
50	412	おつかい	可愛らしくておりこうなアコちゃん、おかあさんにたのまれてお使いです。
50	413	おやつのはじかん	おやつに何を食べたらいいか。王さまライオンをはじめ動物大臣たちがいいあいを始めました。
50	414	ねことねずみのふね (アフリカ民話)	ネコとネズミがクルミの木を切って舟を作り、湖を渡って島へ行くことになりましたが…。ネコとネズミの仲が悪くなった理由がわかります。
50	415	風にふかれて	からだがかんたんになって、しまいに小山のようになってしまったバオバブぞうさん。でも…。
50	416	みんなにごちそう	たくさんおいもが掘れたので、ゾウさんはおとなりにおすそわけしました。ところが、そのおいもが…。
50	417	なきむしたろう	おかあさんがいない！ さあ、なきむしたろうがなきだしました。なきだしたらなかなかやみません。
50	418	あるくつぼ	貧しいお百姓のたった一匹の牛ととりかえられることになったヘンなつぼ、さてそのつぼは？
50	419	こいぬのシロちゃん	ある夜のことで、クンクン、しげるの家に、けがをした白い子犬がまよいこんできました。けがが治った犬を町の方へ返した数日後…。
50	420	うみのみずはなぜからい	よくばりな兄さんは、はたらきものの弟が仙人からもらったまほうのうすが、ほしくてなりません。兄さんがうすにたのんだことは…。
50	421	ブンブンだいに	千丸はみなしごだけど、知恵と勇気のある元気な少年。旅の途中におきた面白い話とは…。
50	422	おんぶおばけ	びよんとあっこちゃんのせなかにおんぶしたおんぶおばけ。ひいてもゆすってもなかなかおりません。
50	423	あしたはおてんき	あしたは遠足なのに、お天気がだんだん悪くなってきました。それも弟のせいです。なぜって…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	424	せなかどけいにうでどけい	ぼくは時間を知らせる係りだ。町で腕時計を買ってきたサルくんははたらかないで寝てばかりいます。ところが…。
50	425	とりかえっこ	おじいさんとおばあさんは仕事のとりかえっこをしました。ところがそのため大変なことに…。
50	426	どっちがたかい	山と山が高さくらべをしたり、けんかをしたり、怒って火をふいたり、楽しい日本の山岳伝説のお話。
50	427	きつねのかんざし	心のやさしいごんじいさんは、きつねの願いをこころよくきいてやりました。きつねはお礼に…。
50	428	ももくり三ねんかき八ねん	かきがおいしそうにたくさんなりました。どうぞ食べにいらっしやい。かにかからさるにお手紙です。
50	429	めんどりはどこ？	イコちゃんの不注意からめんどりの白ちゃんが逃げ出しました。さあ大変！皆でさがしましたが…。
50	430	ちいさなクリスマス	クリスマスの前の晩に捨てられた子ネコは、町かどで、まいごのこいぬのチロと出会いました…。しんせつな子ネコをお星さまが見届けています。
50	431	うさぎのしんぶん	朝早く、道で、うさぎは新聞を拾いましたが字がよめません。はあて、だれにあげようかな。(帽子の折り方3種類記載)
50	432	ロボットガムくん	ヒロシくんたちが描いたロケットの絵から飛び出してきたロボット・ガムくん。なんかヘンだな？
50	433	さくらはなとうめのはな	ながい間ならんでたってる桜と梅は、たがいに花の美しさを自慢しあってケンカばかり。そこに、二つの木の間に咲いてるたんぽぽが…。
50	434	すてきなサーカス	NO.410と同じ資料
50	435	あたらしいおかあさん	NO.411と同じ資料
50	436	おつかい	NO.412と同じ資料
50	437	おやつのはな	NO.413と同じ資料
50	438	ねことねずみのふね	NO.414と同じ資料
50	439	風にふかれて	NO.415と同じ資料
50	440	みんなにごちそう	NO.416と同じ資料
50	442	あるくつぼ	NO.418と同じ資料
50	443	こいぬのシロちゃん	NO.419と同じ資料
50	444	うみのみずはなぜからい	NO.420と同じ資料
50	445	ブンブンだいこ	NO.421と同じ資料

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	446	大きなかぶ	大金持ちの兄さん、びんぼうな弟。ところが弟のまいた種から、びっくりするよう大きなカブが生えて…。
50	447	こわいひよっこのはなし	ぼうやが、パパから聞いた、ワンワンとひよっこの、おかしなおかしなお話ですよ。
50	448	テペテペあひる	テペテペあひるはじぶんのことがよくわかりません。なんでもひとのまねばかり。ところが…。
50	449	ことりにまけたくま	くまが、みそさざいのひなどりを馬鹿にしたことから、鳥と獣の大戦争がはじまりました…。
50	450	よるのさんぼ	せいちゃんたちが、塀に描いたへへののもへじ。そのらくがきが夜になると動き出して、さあ、たいへん。
50	451	かにのいたずら (原作:キプリング)	かにのいたずらのため、海があふれて動物たちは大こまり。そこで神さまはかにの甲羅をとりあげました。
50	452	ちぢまったずぼん	タヌキの洋服店では、明日までにトラのズボンを5センチ短くしなければならぬのですが…。
50	453	たからもの	退屈でつまらなくてしょうがない王さまは、世界中の珍しい宝物をあつめさせましたが…。
50	454	サンタクロースのおくりもの	チリリリリン。おほしさまから電話です。サンタのおじいさん、プレゼントの用意できたかな。(サンタの折り方記載)
50	455	にげだしたライオン (原作:ゲーテ)	たいへんだ！サーカス小屋が燃えだした。ゾウも、クマも、こわーいライオンもどんどんにげていく。
50	456	ぼうや、とびこめ (原作:トルストイ)	「あっ、あぶない。」ぼうやがサルを追いかけて高いマストの上に。お父さんの船長は、ぼうやにてっぼうを向けました…。
50	457	はるのでんわ	ぜんちゃんが魔法をかけたら、チューリップの花が赤いテレビ電話になりました。「アリババと四十人の盗賊」「ひらけごま！」のかけ声と、「ウサギとカメ」「カチカチ山」の二つの昔話、タイムマシンがある、と仮定した物語です。
50	458	ちびくるさんぼ	みなみのくのに子どものさんぼは、おかあさんに赤い上着と、青いずぼんをつくってもらい、おとうさんから緑色の傘と、紫色のくつをおみやげにもらいました。うれしくてジャングルに散歩に行くと、トラに会って…。
50	459	ながぐつをはいたねこ	NO.367と同内容。死んだお父さんから、一番末の息子のもらった財産はたったのねこ一匹。ところがそのねこが大活躍！
50	460	七わのからす	七人の男の子のあとに、待望の女の子がうまれました。ところが、おとうさんが息子たちに「いいつけをいってもあそんでばかり。からすでもなってしまう」というと、息子たちはカラスになって飛んで行ってしまいました…。
50	461	ピーターうさぎ	おかあさんとの約束をやぶって、ピーターはマグレガさんの畑に入り込んで野菜を食べておなかいっぱい。でも見つかってしまいました…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	462	やぎさんふとってでんがらどん	三びきのやぎの兄弟は、おいしい草を食べて太ろうと山へ行く途中の橋に来たとき…。
50	463	ほたかのきょうだいぐま (動物記シリーズ)	冬ごもりの穴を出たとたんに、おかあさんぐまはうたれ、何も知らない兄と妹の子ぐまたちは、温泉の旅館にもらわれていきます。子どもと同じように育てられた二匹は…。
50	464	マツとおばあちゃん (動物記シリーズ)	秋田犬の子だというのに、耳も立たず、しっぽも巻かないマツは、あとからもらわれてきた純粋の秋田犬のフキとことごとくに差別をつけられます。しかし、おばあちゃんだけは変わりません。
50	465	かわうそ (動物記シリーズ・原作: 椋鳩十)	かわうそが、氷のはりつめた湖の淵を、スルスルと、気持ちよさそうにすべっています。坊やのかわうそがすべろうとしたら、ズドンと鉄砲の音がしました。坊やはころがって死んだふりをしましたが…。
50	466	おうむのしろちゃん、ねこのしろちゃん (動物記シリーズ・原作: 椋鳩十)	おうむのしろちゃんとねこのしろちゃんは、私の家の人気者です。ある日、そのしろちゃん同志が大ゲンカをして、ねこがおうむをくわえてしまいました。が、おうむは羽一枚もちらさず…。
50	467	たぬきとかあさんうさぎ (動物記シリーズ)	山の木々が美しく色づくころ、動物たちは冬ごもりの支度に大忙しです。たぬきのおじいさんもどんぐりの森に出かけていき、わなにかかかってしまいました。通りかかったかあさんうさぎが…。
50	468	はな子さん (動物記シリーズ)	旭川の動物園の象のはなさんは、かわいそうにくる病にかかって、動物の標本作りの信田さんに売られます。はな子のすがりつくような目を見て、治してやろうと決心した信田さんは…。
50	469	ひとうち七つ (動物記シリーズ)	ちびの仕立屋がパンにむらがる八工をたたくと、ひとうちで七ひきもとれました。とくいになった仕立屋は「ひとうち七つ」と書いたたすきを肩にかけ、旅に出、ふたりの悪者の大男退治を王さまに頼まれ…。
50	470	きんのがちょう (グリム童話)	心のやさしい若者が山であった小人にパンをやると、小人はお礼に金のがちょうをくれました。若者が宿屋へいくと、三人の娘が羽をとろうとして、つぎつぎに、ぴったりくっついてしまい…。
50	471	こびとくつや (グリム童話)	くつやのおじさんは、たいへん貧乏になって、皮も買えません。のこる一足の皮を最後の仕事と思って寝ると、朝、りっぱなくつになっていました。次の朝もその次の朝も…。
50	472	としよりいぬのズルタン (グリム童話)	百姓がズルタンという犬を飼っていましたが、年をとって役立たずになったので殺すことにしました。すっかりしょげたズルタンが狼に話すと、名案を教えてくださいました。
50	473	おいしいおかゆ (グリム童話)	むかし、はりしごとをしている貧乏なおかあさんと女の子がいました。ある日、女の子が森へのいちごをつみに行くと、おばあさんがおいしいおかゆが出てくるおなべをくれました。さっそく家へ持ち帰って、言葉を唱えたと…。
50	474	おにとおひめさま (グリム童話)	人くい鬼の夫婦にとらえられた、王子さまとお姫さまは、人くい鬼の持っていた、一足飛びの靴と、魔法の杖を盗みだして、逃げ出しました。追いかけてきた人くい鬼につかまりそうになったふたりは…。
50	475	ハンスのしあわせ (グリム童話)	ハンスは、七年間せっせと働き、主人から袋いっぱいのお金をもらっていなかへ帰ることになりました。テクテクと歩いていくと、馬に乗った人に出会います。ハンスはうらやましくなると…。
50	476	はしのうえのおおかみ	山奥の谷川の上にせまいので一人しか渡れない一本橋がありました。うさぎが渡っていると、前からおおかみがやってきました。おおかみはおどかして、うさぎに戻るようがいい、そのままおおかみが橋を渡っていると…。
50	477	二羽のつる	日本で冬を過ごすためにシベリヤからつるがやってきました。そして何日かたち、つるたちが飛び立っていく中で、二羽のつるはとびません。それは、一羽がケガをしており、もう一羽は付き添っているのです。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	478	わらったねこ	学校で算数の答案を返してもらった一ちゃんは、一つ があるのを見てがっかりしました。そして、家に帰って○に書き直そうとします。それを見ていたねこのたまが笑ったようにみえて…。
50	479	おだんごころころ	おばあさんが作ったお団子がコロコロおもてへ出ていった。おじいさんがあとをついていくと穴のなかのお地蔵さまの前に着きました。するとお地蔵さまは、おじいさんに自分の頭のうえに上るよう言って…。
50	480	がんばれ土佐っぼ (伝記)	植物学の世界的学者、牧野富太郎博士の伝記です。富太郎に両親はなく、おばあさんと暮していました。草花が友だちで、小学校を2年でやめてから、その後植物の研究をしていました。
50	481	あわれなアフリカぞう	学級文庫の大型の動物図鑑を借りた進は、本の中のアフリカゾウの絵の耳が今にもちぎれそうになっているのを見つけます。最初に借りた時はちょっとだけだったのに…。
50	482	彫刻師グリユッペロ	ドイツにすばらしい彫刻をつくり、弟子もたくさんいるグリユッペロという彫刻師がいました。ある日、公爵の銅像を作ってほしいと使いにたのまれ、作り終ってよいよ除幕式の日に…。
50	483	黒いパン	国一番のお金持ちの銀行家ネルリは、教会も病院も学校も寄付して、町の人から尊敬されていました。ある日、家の前にこじきがいたので、黒いパンを投げ与えます。その日の夜…。
50	484	まほうのふで (中国民話)	絵をかくことが大好きなマーリヤン少年がいました。ところが、家が貧乏なので絵筆を買うことができません。あるとき仙人があらわれて、描いたものが本物になるふしぎな筆をくれました。それを知った王さまは…。
50	485	パー・コーのかいぶつたいじ (ベトナム民話)	むかし、かいぶつにあらされてたいへんこまっている村がありました。その村にすんでいる、パー・コーという若者は、かいぶつを退治しようと思って、村の人たちに助けをもとめますが、誰も助けてくれません。
50	486	とんまなおおかみ (ポーランド民話)	とてもいしんぼうなおおかみがありました。いつでもおなかはペコペコで、食べ物のことばかり考えて、夢にまでみるしまつです。そこでおおかみは、何か食べ物はなにかと牧場へでかけたところ…。
50	487	イワンのばか (ロシア民話・原作:トルストイ)	百姓のイワンには二人の兄さんがいました。軍人のセムヨンとたいに腹のタラスです。この三人に悪魔がとりついて、けんかさせようとたくらみました。兄さんたちは悪魔にとりつかれてしまいます。ところがイワンは…。
50	488	くさずきんのおひめさま (イギリス民話)	父親は三人の娘たちに自分のことをどのくらい好きかと聞きました。ところが末娘の答えが気に入らず家から追い出してしまいます。ドレスが汚れないよう末娘は草でずきんをつくってかぶり…。
50	489	はちかつぎ	優しい両親に育てられた花世の姫は幸せに暮らしていました。ところが病気で母を亡くすと、継母がやってきました。花世の姫が死んだ母のいいつけを守って、おおきなはちをかぶっていると、継母は”はちかつぎ”といじめ…。
50	490	豆っ子太郎	子どもがほしいといつも念じていたじいさまとばあさまに、ある日豆つぶほどの小さな子どもを授かりました。何年たってもちっとも豆っ子太郎はおおきくなりません。豆っ子太郎をみつけた旅人は…。
50	491	いもころがし	ある寺に鼻の悪い和尚さんがいました。なんでもワシのやる通りにせよと言いつけられて小僧さんたちは、ごはん時になって和尚さんがうっかりいもをころがしたのもまねする始末。
50	492	ばけくらべ	きつねとたぬきはどちらもばけるのが自慢。そこでどちらがうまいかをくらべることにしました。嫁入り行列に化けたたぬきがシャラリコシャラリコ歩いていくと、まんじゅうが道にころがって…。
50	493	かわうそときつね	山に住むきつねと里に住むかわうそが、ごちそうに呼び合いっこすることにしました。まずきつねがかわうそにごちそうになりました。次の日、かわうそがきつねのところへ行くと…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	494	天人のよめさま	天人がけし畑でひと休みしていました。その美しさにひかれた長兵衛は、妻にしようと天人のかけていたあやごろもを、けしの花の間に隠してしまいます。天に帰れなくなって困った天人は…。
50	495	ききみみずきん	信心の厚い正平は、ある日氏神様からまっかな頭巾をもらいました。それをかぶると、今までピークピークとしか聞こえなかった鳥の話が、すっかりわかってしまうのです。そしてカラスの話をきいて…。
50	496	とんだちょうじゃどん	ある村にたいへん欲の深い長者がいました。ある日、村人たちに山のわらびを一本残らず、しかも日の暮れぬうちにとれと命じました。そして自分の屋敷にはえたわらびを使用人に命じて、おたがいに競争させて…。
50	497	赤いろうそくと人魚 (小川未明童話紙芝居全集)	子どもの幸福を願って、北の海の人魚は、海岸に子どもを産みます。その子を拾って大切に育てていたろうそく屋の老夫婦は、見世物師がきて、金をつんだりおどかしたりすると、鬼のような心になって娘を売ってしまいます。
50	498	ふきの下の神様	ふきの下にいるアイヌの神様コロボックルは、いたずら好きですが、たいそう情け深い。怠け者のクシベシは、コロボックルにごちそうを恵んでもらったのに、逆につかまえて、かくれみのをはぎとってしまいます。
50	499	りゅうの目のなみだ (浜田広介童話紙芝居全集)	ある国で、人びとはりゅうをたいそう怖がっていました。ところが、ただひとり、りゅうがかわいそうだという男の子があらわれ、母親は心配しますが、山の奥へいってりゅうに会い、誕生日のお祝いに招待しました。
50	500	かたきうちの話 (原作：新美南吉)	兄をうたれたさむらいが、かたきうちの旅に出て、とある宿で一匹のしらみを柱に埋めて帰り、数年後に尋ねると奇跡的に生きているので、血を吸わせ、重病におちいります。医者の手当てで助かりますが…。
50	501	杜子春 (原作：芥川龍之介)	貧しくて死のうかと思っていた杜子春は、仙人に二度も助けられ、大金持ちとなります。しかし、世間の人は金持ちになれば、アリのようによりつき、一文なしになれば相手にしません。
50	502	少年駅伝夫	スエーデンの北部は、海まで凍る寒さ。そりが、駅から駅まで客を運びます。急ぐ客を乗せた少年駅伝夫ラルスは、十二才ですが、じょうずに馬を走らせて、十マイル先のウメヤへと向かいました。
50	503	安寿とずし王(上) (原作：森 鷗外)	四人の旅人が越後路をゆきます。母とふたりの子ども(姉弟)と女中です。はるか筑紫の父を訪ねてゆく途中でした。四人が一夜の宿をもらった男は、人買いで…。
50	504	安寿とずし王(下) (原作：森 鷗外)	不幸な境遇から逃れるために、姉の安寿は弟のずし王を逃がし自殺してしまいます。ずし王は、都へ出て出世し、ついに国守となって丹後へ戻り、どれい解放を行います。それから佐渡へ母を探しに出かけ…。
50	505	はるのうた	大すきな歌を落としてしまったゆみ子さん。かわりにとってもすてきな歌を拾いました。
50	506	白ねずみちゃん	白ねずみちゃんの体はまっ白。みんなとちがうの。でも、そんなことちっとも気にしてません。
50	507	いぬとねこ	ご主人の大切にしている宝の玉をとりもどそうと、犬と猫が一緒にでかけることになりました。
50	508	このつぎなあに	山の一軒家に住むおじいさんのところへ、タヌキがいろんなすがたに化けてあらわれます。
50	509	子ガニのはさみ	ぼくは強いんだ！子ガニは得意になってハサミでチョキン、チョキン。でもいたずらしすぎて…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	510	おいしゃでたんてい	医者になるつもりが、探偵になってしまったお百姓。さて、その腕前は？
50	511	まほうのゆびわ	魔法の指輪は偽物でした。でも、そのおかげで、働き者のお百姓は…。
50	512	口口とミミとキキ	つよい口口と踊りじょうずのミミと歌のうまいキキのなかよしが、けんかをしてバラバラに…。
50	513	おとこのこになりたかった	どうしたんでしょう。あんなにかわいいしずちゃんが男の子みたいな口きいたり、らんぼうしたり…。
50	514	ハナブラ子さんとかるたかい	かるた会によばれたゾウのハナブラ子さん。大きくなってお家に入れません。ハナだけ入れたら、ハークション。
50	515	ともちゃんとうめいにんげん	ともちゃんたら、いたずらをなんでも透明人間のせいにするんで、とうとう本物が…。
50	516	やまのひなまつり	おひなまつりのおきゃくさまはかわいいきょうだい子ぐまです。しろざけのんでお昼寝びなに…。
50	517	タンタラタンタン子ちゃん	きょうから、たのしい幼稚園へ！タン子ちゃんはカスタネット片手に、タンタラタンと楽しそう。
50	518	いきているおにんぎょう	「おちちものめる、かわいいお人形がほしいな。」よし子さんはおかあさんにおねだりしましたが…。
50	519	ひろったはぶらし	歯ブラシをまちがって、鼻につっこんでしまったカバくん。どうしたら、うまくみがけるかなあ。
50	520	おネコさんと金のくつ	ぼんやりのおネコさんがクモの金のクツを買いに。ところが、訳もわからず、引き受けたために…。
50	521	まめとわらとすみ	そらまめには、なぜ黒いすじがあるんでしょう？それはね、昔、わらとすみが…。グリムが語る昔話。
50	522	かしのきホテル	誰でも泊めてくれるかしの木ホテルに、ちょっとした事件がおこりました。そのうえ台風もきて…。
50	523	トムとジムのあかいはね	女学生たちのそばでトムとジムが赤い羽根のついた風船ぶえを「パワーッ」とふくと…。
50	524	かわうそのあかんぼう	赤ん坊をおとしたのはだれのせい？神様は、もぐらをよび、きつつきをよんでときあかします。
50	525	おねえちゃんはしゃしょうさん	「まいどご乗車ありがとうございます。」新米車掌のおねえちゃんのバスがいく。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	526	こどものきれいな大おとこ	大おとこの庭から子どもたちがいなくなると、春になっても花が咲きません。鳥の声もきこえません。
50	527	ごみのすきなとり (公害問題)	へんな鳥がやってきて町の人が捨てるごみを次から次へはこんでゆく。ところが、最後には…。
50	528	ネコちゃんの花	ネコヤナギの花がネコになるかもしれない…。その晩、ゆみちゃんはネコちゃんの話を書きました。
50	529	にげだしたパンツくん	物干し竿からにげだしたパンツくん、風にのってどこまでも。貨物列車だっておいかけます。
50	530	王さまとことりたち	ことりたちをかえして！夜になると変なうなり声がします。王さまはきみが悪くて眠れません。
50	531	うさぎとながぐつ	うさぎはながぐつをかぶって、うれしそう。でも、きつねがみて”ぼうし”ではないというのです。
50	532	おばけのふわり	ぼくはおばけの親分、ばけるのがとてもうまいんだ。さあ、今夜はいたずらっ子を退治するんだ。
50	533	わにのバンポ	なかよしのちどりを、うっかり、のみこんでしまったバンポ。無事に、助けることができるかしら？
50	534	おりがみのくに	きれいなおりがみの国へついた、大ちゃんとゆみちゃん。でも、ゆみちゃんの中から水色の涙が…。
50	535	かきの木のたてふだ	くいしんぼうのサル平は、かきの木に立札を。でもふしぎ。だれが書いたのか、いたずらがきが…。
50	536	マーくんのらくがき	どこまでもつづく線路にのっかって、マーくんをまっていたのは百五十ぴきの、のの字カイジュ。
50	537	おくびょうなうさぎ	”じしんだ！”おくびょうなウサギは走りだしました。つづいて、イノシシもクマもキツネもオオカミも…。
50	538	ひとばんで20ねん	たった一晚森で時間を過ごただけなのに、森から村へ戻るとそこは20年後の村でした…。
50	539	にげだしたおに	きょうは節分。村の子どもたちは豆まきにかん声をあげています。弥助の家はことしも不作なのでした…。
50	540	いじワンのものがたり	ぼくはイヌなのだ。ワン。すこしいじわるなイヌなのだ。でも、だれにでもいじわるなわけじゃないよ。
50	541	そらのまんなかで	海の上のそら、山の上のそら。そらって広いんですね。そらの真ん中に飛んでいってみようかしら？

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	542	けんちゃんのぼうし	おいてきぼりにされたけんちゃんのぼうしは、とってもつまなくなって、ピョンピョンとびだした。
50	543	くまさんのトラック	ガタン、ゴウ。おさるの電車はくまさん一人で満員です。こんどは、くまさんがトラックに。
50	544	ちょうちょむすびくびむすび	二ひきのちょうちょのおどりにさそわれて、あらあら大変！二ひきのきりんがちょうちょむすびに…。
50	545	おふるにいれて	りゅうちゃんがお風呂に入っていると「ぼくもいれて」「わたしもいれて」お風呂はいっぱいです。
50	546	はみがきさん	毎朝、お日さまがでるときに、はみがきさんがやってきます。はい、はぶらしでしゅっしゅっしゅ。
50	547	クリスマス	クリスマスは、楽しいな。だってプレゼントもらえるんだもん。だけど、おばけの子どもはどうかしら？
50	548	はーくしゅい	ルルちゃんが、かぜをひきました。魔法使いもなおせません。ただお医者さまなら、なおせます。
50	549	しんごうきのおじさんなにしているの	子どもたちは信号機のおじさんに教えられて交通信号を知り、安全な道路の渡り方をおぼえました。
50	550	ぴんちゃんのまり	あっ！ころがったマリを追ってぴんちゃんが表へとびだそうとしました。表の通りは自動車が…！
50	551	おててつないで	道路を歩くときは？横断歩道をわたるときは？町へ出かけたアヒルの子どもたちは、おばさんと一緒に考えました。
50	552	うさぎのとびだし	キリンちゃん、モグちゃん、ピョンちゃんは、きょうも広場へ。でも、大通りを渡るとき、どうするんでしょう？
50	553	たけちゃんとしてんしゃ	とまれ、とまるんだ！赤信号なのに、たけちゃんとひかり号はとまりません。一体、どうしたんでしょう？
50	554	きたなひめ	いやがって頭を洗わせないお姫さま。家来は顔をしかめるし、ことりもちょうちょも逃げていく。
50	555	ごみはこわいよ	ピクニックにいて、すこしのゴミも、みんなが捨てるとうんとうに山になって、とてもこわいのよ。
50	556	いたずら	おとうさんと子どもが、おもしろいイタズラをやりだしました。町じゅうに変な花のタネをまきちらしたんです。そのつぼみが花をひらくと、大変！
50	557	ロボットたいちょう	「ぼくはきみのたいちょうだ。」タッチちゃんが道でひろったおもちゃのロボットは変なことをいいましたよ。「早くコーラあめを出せ！」なんて…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	558	にんぎょのゆびわ	にんぎょさんは、王さまから、にじの指輪をいただきました。ところが、いるかさんたちが、指輪をなくしたので大変なことに…。
50	559	くろいいぬ	妹がどこからかひろってきた黒い犬は、からだが真っ黒けて汚く、ちっとも可愛くありません。
50	560	ほしとりきつちむさん	きつちむさんが、村の人をあつめて星を落としてみせるということになりました。
50	561	しくじったまほうつかい	魔法をかけられた森の動物たち。さあ大変！みるみるうちに小さくなってしまいました。
50	562	ごろうちゃんのかびと	おつかいの帰り、ごろうちゃんはおかしな声を聞きました。ふしぎ、ふしぎ、だれの声かな…。
50	563	ねことねずみ	むかし、ねことねずみは友達だったのです。でも、ある日ねずみがねこをだましたので…。
50	564	リコちゃんと5にんの大おとこ	リコちゃんは、やさしくて、とつてもりこうな女の子。5人の大男と力を合わせて頑張ります。
50	565	花のともだち	ポチは番犬、花のみつを取るハチやチョウを追いかけます。でも花は、虫たちを花びらで隠してあげます。
50	566	大きくなあれ	元気でやんちゃなよっちゃんは今年が年長組。年少組の女の子から、「おにいちゃん」と呼ばれてびっくり。
50	567	おさるのこいのぼり	動物園のさる山に紙のこいのぼりをもった一匹のさるがいました。みきおくん達はその訳を考えました。
50	568	ふしぎなきゅうり	ふしぎなんです。おいしいんです。かっぱがくれたきゅうりは、みるみる大きくなってたちまち畑一面になってしまいました。ところがその時…。
50	569	ばけるのって大へんさ	たぬきさんはおかあさんたぬきから化け方を教わりました。さあ、それからは、仲間の動物たちに化けて何かしてあげたくてたまりません。
50	570	はなをおったてんぐ	裏のすぎ山に、天狗さまがでるといって、村人はこわがっています。三太郎は、天狗さまにどこかにいってもらおうと思いました。
50	571	大りき大べえ	大べえはものすごい力もち。それで大りき大べえとアダ名されました。ある日、山で木をきっていて…。
50	572	王さまの耳はロバの耳	ロバの耳をした王さまは、いつもみんなに知られないように帽子をかぶっていました。そこで、とこやさんがお城に呼び出され…。
50	573	おにんぎょさんいっぱい	よし子ちゃんの家は、お人形さんがいっぱい。そこでお父さんは、いいことを考えました。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	574	クマのマックのプレゼント	もうすぐクリスマス。マックさんはプレゼントをもらいたいので、こっちもあげなくてはと、じょうずにテーブルをつくっています。だれにあげようかな？
50	575	ゆきの小うま	「やあ！おまえは…。」起きあがったノロマの前に、きのう雪で作った小馬が生きて動いて…。
50	576	うぐいすのふえ	きこりさん、飛んでごらん。うぐいすは叫びました。きこりが飛んだその瞬間に「あっ。」
50	577	もうすぐーねんせい	「もうすぐ一年生でしょ」すぐにおかあさんは言います。すっかりいやになったおさむ君は？
50	578	りゅうぐうのおよめさん (松谷みよ子民話珠玉選)	むかし、あるところに花を売って母親と暮している貧しい若者がいました。ある日、若者は売れ残った花を海に投げ、竜神に捧げました。すると、カメが出てきて竜宮城へ若者を案内し…。
50	579	うりこひめとあまのじゃく (松谷みよ子民話珠玉選)	むかし、子どものいないさびしいじいさまとばあさまがいました。ある日、ばあさまが川からうりを拾ってきて割ろうとすると、かわいい女の子が生まれました。それで、うりこひめと名づけました。
50	580	うみにしずんだおに (松谷みよ子民話珠玉選)	山奥に、鬼の親子が住んでいました。あるとき、海辺の村のじいさまとまごが、天をあおいで祈っているのに出会います。海が荒れて、村の人たちが、つぎつぎさらわれていくというのです…。
50	581	したきりすずめ (松谷みよ子民話珠玉選)	むかし、じいは山からすずめをつれてきて、ちゃんという名をつけてかわいがっていました。ところが、じいのいない間に、ばあ煮たのりをなめてしまったちゃんは、ばあに舌を切られ、放り出されて…。
50	582	かさじぞう (松谷みよ子民話珠玉選)	むかし、明日のお正月に食べるもちもない貧乏なじいさまが、ばあさまが織った布を売りに町へ出かけましたが、売れません。売れ残った笠売りの笠と布をとりかえて家路につく途中、雪の中に六地藏がじっと立っていて…。
50	583	貝の火 (宮沢賢治童話名作集)	うさぎの子ホモイは、川におぼれたひばりの子を助けて、鳥の王さまから宝珠”貝の火”を贈られます。心おごったホモイは…。
50	584	雪わたり (宮沢賢治童話名作集)	雪がチカチカ青く凍った晩、四郎とかん子は小ぎつね紺三郎からもらった切符で、きつねの幻燈会へいきます。
50	585	セロひきのゴーシュ (宮沢賢治童話名作集)	セロひきのゴーシュはいつも音があわないと楽長に文句をいわれます。水車小屋のうちへ帰ると、はじめの晩はねこ、つぎの晩はかっこう、つぎは…と夜通し練習をさせられ…。
50	586	まつりのばん (宮沢賢治童話名作集)	秋の祭りの晩、亮二は空気獣の見世物小屋で白じまの単衣にへんなみのをきた、金色の目の大男にあいます。その男が茶屋で食べただんごの金が払えないでなぶられているのを見て…。
50	587	注文の多い料理店 (宮沢賢治童話名作集)	獺にきたふたりの紳士が、山奥で道に迷い、お腹をすかしていると、レストラン山ねこ軒があらわれます。大喜びで入ると…。
50	588	グスコブドリの伝記(前編) (宮沢賢治童話名作集)	グスコブドリは、度重なる飢饉で両親を失い、妹のネリとも別れ別れになります。百姓の手伝いをしていて、飢饉をなくす方法はないかと考え、その勉強のためにクーボー博士をたずねました。
50	589	グスコブドリの伝記(後編) (宮沢賢治童話名作集)	ブドリは、クーボー博士の紹介で、火山局のペンネン技師のもとで働き、百姓を助け、妹のネリともめぐり会います。しかし、また飢饉になる前ぶれの寒い夏がきて…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	590	くじらのお正月	くじらの子どもやペンギンの住んでいる南極の海に、日の丸の旗をなびかせたオレンジ色の観測船「ふじ」がやってきました。
50	591	みんなにごちそう	NO.416・NO.446と同じ資料
50	592	みんなでわけっこ	はちみつのはちみつパンが焼き上がるまでくまさんは目覚まし時計をかけたまま眠ってしまいました。目覚まし時計が一生懸命くまさんを起こそうとしますが…。
50	593	あなたはだあれ	NO.220と同じ資料
50	594	いろいろなものいるみち	おかあさんは登園するしょういちくんを玄関まで送りだします。すると、おかあちゃん！という声があったら、しょういちくんは道の真ん中に牛がいるからと家に帰ってきてしまい…。
50	595	かわいいおとしだま	NO.39と同じ資料
50	596	ボビーと救急車	幼稚園に行く途中の大通りで救急車をみたボビーは、みーちゃんが止めるのも聞かず、救急車のまねをして車道にとびだします。そこへ、トラックがきて野を越え、山を越え、とばされて…。
50	597	おにごっこだいすき	NO.41と同じ資料
50	598	おやまとのはらとひろいうみ	NO.193と同じ資料
50	599	けんちゃんあそびましよう	NO.342と同じ資料
50	600	ころげたやしのみ	小人ってどこにいるのかしら？時計の中、鍋の中、花の中。マルセちゃんが考えていると、大きな音がして、路上にやしの実がいっぱい。マルセちゃんはひろうお手伝い。やしの実がコポッコポッと…。
50	601	ぞうさんがんばれ！	きりん博士の予想は、的中しました。動物村に、大きな台風がやってくるのです。力持ちのゾウさんは大活躍。ところが、トラくんは平気な顔で働くゾウさんを見ているだけ。
50	602	たけのぶらんこ	でんでんむしは、竹をゆっくりゆっくりのぼります。すずめがチュンチュンからかいます。でも、でんでんむしは同じペースで、ゆっくりゆっくりのぼります。とうとうてっぺんにつきました。
50	603	小さい白いにわとり (イソップ童話)	一軒のうちに、ぶたとねこと犬と、小さい白いにわとりが一緒に住んでいました。おいしいものが食べたいと話している中、にわとりが何か探しに行こうと提案しますが、みんながいやがるので、にわとりだけが出かけていき…。
50	604	てぶくるをかいに (原作：新美南吉)	ばたん色に変わった子ぎつねの手に、人間のはめる手袋を…。お母さんは、子ぎつねの片方の手を人間の手に変えて「決してこっちの手を出してはいけませんよ。人間はこわいから。」と言いました。
50	605	はまひるがおのちいさなうみ	NO.34と同じ資料
50	606	ほうびははんぶん	NO.348と同じ資料
50	607	ぼうや、とびこめ	NO.456と同じ資料
50	608	ボビーちゃんのおともたち	犬はうれしくてたまりません。こおろぎとひよことねこと三人も家来がいるのです。大いばりで歩いていくと、ボビーちゃんにあいました。「よーし、ボビーちゃんも家来にしよう」ところが…。
50	609	ポケットくらべ	人間の町を見物してきたヤマネコのみやげ話。「人間のつかっているもので、一つちょっとびり感心したのは…」エプロンのポケットを指さして言うと、聞いていた動物たちも気に入って…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	610	もみじのトンネル	お山の奥の谷川に、きれいなもみじのトンネルがかりました。みんなに見せてあげたいわと、小リスとくまは、頭をひねっていいこと思いつきました。
50	611	にげだしたライオン	NO.455と同じ資料
50	612	はるのでんわ	NO.457と同じ資料
50	613	そんごくう きんとうんの巻	NO.143と同じ資料
50	614	そんごくう にょいぼうの巻	NO.144と同じ資料
50	615	そんごくう 三本の毛の巻	NO.145と同じ資料
50	616	そんごくう とても強い相手の巻	NO.146と同じ資料
50	617	うさぎとぞうの王さま (インドの童話)	ぞうの王さまを先頭に、たくさんのぞうたちが、ものすごい地ひびきをたててかけてきます。うさぎたちはあわてて逃げます。けがをするものも続出してこのままでは大変です。
50	618	きんのとりに (スペイン民話)	NO.40と同じ資料
50	619	ことりにまけたくま	NO.449と同じ資料
50	620	てっぺんのもみの木 (北欧民話)	NO.59と同じ資料
50	621	ぴんきーのがっしょうたい	ドレミファソラシド みんな仲良く合唱のおけいこ。ところがとつぜん「ストップ、ストップ」と、ちゅうたろうくんが叫びました。ぞうたろうくんの声が大きすぎるし、ぴんきーちゃんはおんちみたい…？
50	622	ぼくしんぶんきしゃです	動物村の新聞社に月からきた王女が行方不明と電話が入りました。モー記者もワン記者もあわてて飛び出したのに、ニャンニャン記者は居眠りしてて…。
50	623	ポピーちゃんのえかきやさん	お空は真っ青。噴水がシュー。ポピーちゃんとみー子ちゃんが公園で絵をかいています。さあ、どんな絵ができるでしょう。
50	624	ポピーのおそうじやさん	「だめよ、おかたづけしなければ。」ママが注意しても、ごきげんの悪いポピーちゃんは知らん顔、ぶらりとお池へ散歩に行きました。すると、汚い池を掃除しているおじさんがいます…。
50	625	よるのさんぽ	NO.450と同じ資料
50	626	やぎのかわ	NO.389と同じ資料
50	627	うさぎのしんぶん	NO.431と同じ資料
50	628	たろうのバケツ	たろうが幼稚園から、バケツをつくってきました。ヨットの絵を描いた、とってもきれいなバケツです。ねこのミーヤ、にわたりのコッコ、あひるのガアコ…みんな次々バケツを借りにきて…。
50	629	どうしてお水をのもうかな	ヒヨコのおちびちゃんは、おかあさんのいう通りに、うまく水を飲むことができません。そこで、ほかの動物たちにうまい水の飲み方を教えてもらいにでかけました。
50	630	りゅうの目のなみだ (浜田広介童話紙芝居全集)	NO.499と同じ内容。山奥に大きなりゅうが、かくれていると、人々は噂していました。おとなも子どもも恐れ近づく者はいません。それなのに、ある少年は、りゅうに会いたくて…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	631	春がくるまで	つばさを痛めた子つばめは、たぬきといっしょにひと冬過ごすことになりました。でも、おとうさん、おかあさんがいる南の島へ飛んでいきたい、ある日子つばめは…。
		(浜田広介童話紙芝居全集)	
50	632	花びらのたび	こんにちは、私は花びら。そう、桜のみなさんに、私の春のウララかな、いく日かの旅を、ぜひ聞いていただきたいの。なぜって、やさしかった友達を思い出したから…。
		(浜田広介童話紙芝居全集)	
50	633	子ざるのぶらんこ	ブランコ大好き、山の子ザルは、ある日山火事に、さあ大変とブランコしょって一目散！ところが、「あっ谷川だ。橋がない！」そこで子ザルは、とってもいいこと考えた。
		(浜田広介童話紙芝居全集)	
50	634	むく鳥のゆめ	かさこそ、かさこそ…「あっ、おかあさんだ！」むく鳥の子は、思わず叫びました。でもそれは、風に吹かれる枯葉の音。かあさんを慕う、むく鳥の子の見るゆめでした。
		(浜田広介童話紙芝居全集)	
50	635	ひかりの星	天の川に水をくみにいった三つの星。一つは青、一つは赤、あとの一つは、一番小さくて、よわいひかりの星でした。帰り道、三つの星は、たおれているカササギをみつけます。
		(浜田広介童話紙芝居全集)	
50	636	おたまじゃくしのおとうさん	おたまじゃくしのきょうだいは、池の中で、だれを探しているのでしょうか？そうです、おとうさんです。でも、なかなか見つからなくてがっかりしていると、なますが…。
		(浜田広介童話紙芝居全集)	
50	637	赤いポケット	ちくちく、ちくちく、うさぎさんは、大いそがし。だって、大きなぞうさんの洋服を作っているんですもの。さあ、できあがりました。おや？胸ポケットがありませんよ！
		(浜田広介童話紙芝居全集)	
50	638	よぶこどり	山のリスは、畑でみつけた小さなタマゴを、たいそう大事にそだてましたが、ある日ヒナは突然姿を消します。あけてもくれてもヒナを探すリスの声が、野山に悲しくひびいて…。
		(浜田広介童話紙芝居全集)	
50	639	一つのねがい	街灯には、ささやかなたった一つの願いがありました。それは、一生に一度でいいから、「星のようだ、星のように明るいなあ！」そう、思われたかったです。
		(浜田広介童話紙芝居全集)	
50	640	おこりんぼのおーちゃん	おーちゃんはおかあさんと買い物にきて、おかあさんに叱られてブンブンおこって飛び出したおーちゃん。
		(交通安全)	
50	641	でんしゃにちゅうい	雨が降りそうです。てるおはおかあさんに頼まれて、おとうさんに傘をもっていこうとして…。
		(交通安全)	
50	642	あぶないところにはいかないで	お日さまが、線路道、空き地、道路、工事現場などあぶないところで遊ばないように語りかけています。
		(交通安全)	
50	643	ブルルのしっぱい	動物アパートのネコさんはとても寒がり、部屋の中はストーブをどんとたいて夏のよう。そこへ風の子ブルルが窓から入って…。
		(避難訓練)	
50	644	きいろいはた	としおくんには、2年前までかわいい弟のおさむちゃんがいました。今は信号機がついていますが、当時はついていなかった、必ず黄色い旗を手に持って渡っていました…。
		(交通安全)	
50	645	コロとボール	ぼくはトラック。ぼくの前に急にボールがころがってきました。キーッ！ぼくは、ボールの前で止まれたけど、ぼくのタイヤは、ボールよりおおきい何かをはね飛ばしていました。
		(交通安全)	
50	646	スクラップになるのはいや！	スクラップ工場では、事故をおこして壊れた車が泣いています。自動車たちのように、人間も事故をおこしてケガをしたりしたら大変です。加害者側からの危険な状況を浮き彫りにしています。
		(交通安全)	

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	647	まさちゃんのじてんしゃ (交通安全)	なかよしのまさちゃんの自転車を借りてけんちゃんは道路へ…。まさちゃんのおとうさんから事故をおこさないように教えてもらったことを忘れて…。
50	648	てんぐとかっぱとかみなりどん	すみやきとうべえが山にのぼっていくと、かっぱとてんぐとかみなりが、次々に現れて、息子のおしりとほっぺたとおへそを、明日の昼までにもってこいと言います。とうべえはしょんぼりして…。
50	649	チョコレートカステラだいじけん	古いお寺に、おいしそうな大きなチョコレートカステラが落ちていました。ありんこのちいちゃんはびっくり。仲よしのお友だちをつれてきますが、何だかわかりません。救急車も警察カーも呼んで…。
50	650	ひよこのろくちゃん	うまれたばかりの、かわいいひよこが6わ、かあさんどりにつれられて、朝のさんぽ。「さあ、みんな、ちゃんとならんで歩くのよ。」でも、みんな、いたずらが大好き。
50	651	かるかやバレーがっこう	虫のくにのバレー学校で、うまおいのチーコちゃんが、主役のおひめさまのおどりを練習して帰りかけると、とつぜん、草のかげから、ヤクザカマキリがあらわれて、チーコちゃんをつかまえて…。
50	652	わっしょいわっしょいぶんぶんぶん	だれもが音楽好きの、楽しい町がありました。毎日、広場に集まって、音楽を楽しんでいましたが、ある晚いじわるなアクマが魔法をつかって、楽器を全部盗んでしまい…。
50	653	りっぱなつののしか	きれいな泉がありました。しかが水面をみると、自分の姿がうつっていました。なんてりっぱなつのなんだろう。それにくらべ、足はなんて細くたよりないんだろう。そのとき、ライオンが…。
50	654	おひさまときたかぜ	ある日、お日さまと北風が、いったいどちらがつかいかと、力自慢をしていました。「わたしのほうがつかい」と、ふたりはいいはって、とうとうケンカになってしまいました。そこへ一人の旅人が…。
50	655	のねずみとまのねずみ	まちのねずみのさんたらうが、のねずみちゅうすけの家へ、遊びにきました。ちゅうすけは大喜びで、ありったけのごちそうをしましたが、さんたらうは喜びません。
50	656	しろいからす	ともだちのカラスは、食べ物を探しにいったのに、一わだけ、まだ木の上ののこっています。おやおや、ハトのえさをねらっているのですね。でも真っ黒じゃ、すぐ追い出されてしまいます…。
50	657	ばんくがえるべちゃんこがえる(二話)	(ばんくがえる)子がえるが、池で遊んでいると、大きな怪物が現れました。びっくりして家に帰り、父がえるに告げると、このくらいか？とお腹をふくらませ…。(べちゃんこがえる)「池の中では、高く飛ぶことができないや。」と、一匹の子がえるが、道に出てはねていると…。
50	658	よくばりわんくん	おなかのぺこぺこのわんくんは、肉屋の店先から、肉を一切れくわえて逃げだします。わんくんは逃げて逃げて橋の上でほっと一息。ふと、川を見下ろすとおなじような犬がにくくわえていて…。
50	659	みんないるかな？	ある日、みっちゃんはのりちゃんが迎えにきてくれたのに、なぜか幼稚園へ行きません。みっちゃんは、自分も“みんな”の中のひとりだっていうことがよくわからなかったんです。
50	660	おかあさんのなまえ	リツコちゃんの大すきなおかあさん。となりのサチコちゃんが遊びにきて「おばちゃん」と呼んでも「はい」。八百屋のおばさんは「おくさん、おくさん」。おかあさんっていっぱい名前があるのね。
50	661	はなしのかばちゃん	テレビのコマーシャルがだいすきなかばちゃんは、コマーシャルといっしょにラーメンをたべたりコーラを飲むのもだいすき。毎日テレビのそばで食べたりしてたら目がかすんできて足がよろよろ…。
50	662	にゅうどうぐも	お母さんから新しいかさと長ぐつを買ってもらったみこちゃんは、使いたくてたまりません。やっと郵便局へいく用事ができたのですが…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	663	かいぞくせんがぼがぼまる	海賊船(がぼがぼまる)にのる、海賊(がぼがぼまる)は、悪いことのしほうだい。そこへ、勇気ある少年が、大活躍。さあ、少年と海賊の一騎打ちがはじまります。
50	664	たいふうともぐらごう	もぐら号は、海と山にはさまれた線路を走る電車。台風がやってきて、風の吹き荒れるどしゃ降りの中を、トンネルをくぐりながら、一生懸命走っていく。トンネルをでるとすぐ、山から大きな石が落ちて…。
50	665	みんな一とうしょう	明日は楽しみにしていた運動会。あーくんはどきどき。みんなもどきどき。犬のムクムクの心配はおやつのこと。みんな分けてくれるかなあ。ムクムクは特別製スピードはねを子どもたちに渡して…。
50	666	はるのおきゃくさん	まついさんの車にのったお母さんと5人の子ども。行き先は園です。5人の子どもは、園の子どもの歌声に合わせてブルブルンとしっぽをふっています。あら、たいへん。
50	667	おかえりつばめさん	あきらちゃんは、駅でつばめの巣を見つけ、ひよこが大きくなるのを、楽しみに待っていると、ひよこは、空にとびたって、ひとりで餌をとるようになりました。ところがいつのまにか、つばめが見えなくなり…。
50	668	すじぐるルルのぼうけん	なずなの葉っぱを食べて大きくなった、すじぐるのルルは、土手のすかんぼにのぼって、そこでさなぎになりました。目をあけてみると隣に自分と同じようなチョウがいます。
50	669	あかちゃんはどこ？	なぜか、森の動物たちがみんな、大いそぎに走っていきます。なおちゃんが花輪を作って「ねえ、きれいでしょ。」って見せるのに…。いったい、どこにいくのかしら。
50	670	むかでたいじ	むかし山を七巻き半もまきつけるほどの大むかでがいて、美しい竜宮は荒れほうだいに荒らされていました。姫を人質に渡すわけにもいかず、困りきった人々は…。
50	671	てんからおだんご	おばあさんが、きれいな月を見えています。あれ、お月様のようなまーいお皿が天からおりてきて、おばあさんの前にストン。つづいて、くしとおいしそうなお団子が三つおりてきて…。
50	672	かちかちやま	昔おじいさんの畑を荒らす悪いたぬきがいました。おじいさんがやっとなつかまえ、たぬきじるにしようとしっぽをおいたら、たぬきはまんまと、おばあさんをだましてころし、逃げてしまいました…。
50	673	おかあさんのかお	森の動物学校です。ハリネズミがおかあさんの絵をかくと、それにネコがひげを、ウサギが耳を、ラクダがせなかのこぶを、ネズミがしっぽをかきわえてしまい、おばけのようになったといって泣き出して…。
50	674	天のくーるく	だーれもない海辺で赤ん坊の泣き声が聞こえてきたら…そして、その子が天からやってきた子だったらどうしますか？赤ん坊は美しい女の子になり、名前を天のむすめ、くーるくといいます。
50	675	おつきみのおだんご	かずちゃんは、園で、お月見をして、帰りにもらったおだんごを、ころがして犬に食べられてしまいました。泣いていると、飼い主のおばあさんが出てきて、「作ってあげるから、おかあさんに聞いてらっしゃい」といわれ…。
50	676	モモちゃんとかた目のプー	ある朝、どうしたことが、ネコのプーの片目があきません。モモちゃんが目薬をさそうとする、プーは、モモちゃんをひっかいて逃げ出しました。パパもママも出てきてプーは、モモちゃんにごめんなさいをしました。
50	677	トボンとプクンのクリスマス	きょうはクリスマス。山のくまちゃんトボンは、町のなかよしプクンへ、プレゼントをすることにしました。それは雪だるまです。町のプクンも、山のトボンへ、あったかいスープを作ってもっていくことにしました。
50	678	ちゅうしゃにいったモモちゃん	NO.23と同じ資料

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	679	くもくんがんばる (公害問題)	NO.21と同じ資料
50	680	みんなでおでかけ	今日から、動物の子どもたちの園が始まります。ワンくんたら、まだ門がしまっているのに、もう来てますよ。おさるのモンちゃんは三輪車にのってくるし、ニャンコちゃんは、お母さんにおぶさってますね。
50	681	けんかなかなかできないさん	たかしくんが、つみきでロケットをつくっていたら、はるちゃんが自分勝手につみきをいじってしまいました。つまらないから砂場でおだんごを作っていると、今度はけんじくんが、おだんごを爆撃してきます。たかしくんは何も言えません。
50	682	ねしょんべんものがたり	けんちゃんは、ねしょんべんばかりするので、タオルケットをしかさされましたが、それでもダメ。ある日、お母さんが盲腸の手術で入院したので、けんちゃんは、おばさんの家に預けられました。けんちゃんはねしょんべんのが心配…。
50	683	ぼくちゃんてだあれ	入園したばかりの”ぼくちゃん”は、自分の名前を呼ばれてもハイと答えられません。だれもかれも、花も動物もそれぞれ名前を持っているのですから、自分のことをぼくちゃんなどと言わないようにしましょう。
50	684	やさしいおともだち	お百姓さんのうちの馬小屋に、一匹の馬がおりました。馬小屋にはねずみたちも住んでいて、仲良くくらしていました。ある晩のことお百姓さんのうちが火事になり、火は馬小屋までせまってきました。ところが…。
50	686	どろんこぐつやーい	けんちゃんは、元気いばうやですが、おかたづけが大きらい。いつも、クレヨンを出しっぱなし、どろんこぐつはぬぎっぱなし、お弁当もたべっぱなし。そのけんちゃんの靴がなくなって大さわぎ。
50	687	ケーキだほいほい	ケーキ屋さんが特製ケーキをつくって、箱に入れて、きれいなリボンを結んでいますよ。どこへ持って行くのかな？ぼくにちょうだい。リスくんが木の上からいきました。だめだめ、これは大事なケーキ。
50	688	たのしいみち	すすむとよし子が遊んでいると、おじさんがやってきて「花の木団地に行く道知ってる？」と聞きました。「うん知ってるよ。金魚屋さんの前を曲がってね、それから…」とすすむがいうと、「あら、ちがうわよ…」よし子が言います。
50	689	ぼくできないや	みんなが元気に外で遊んでいるのに、トオルくんは、いつも「ぼくできないや。」ある日、まゆみちゃんにさそわれて、つなひきをしたら、手もえるように熱くなりました。熱い手で、鉄棒をやってみました。やっぱりうまくいきません。
50	690	かぜをひいたこぐま	シロクマのぼうやが風邪をひきました。お母さんのいうことをきかずに、雪の中をはねまわったり、水の中で泳いだりしていましたが、せきがでてきました。それをみて、友だちは逃げていってしまいました。
50	691	プリンキーとかえる	NO.22と同じ資料
50	692	おやつ	うさぎの子ども達は、三時のおやつにおかあさんから、みかんをもらいました。一郎兄さんが、みんなに一つずつ配ると、一つ余ってしまいました。さあ、みんなは「ぼくにちょうだい。」「わたしにちょうだい。」と大さわぎ。
50	693	みずべのサラー	野原のはずれの池の中にいたヤゴのサラーは、ある日シオカラトンボに生まれ変わりました。シオカラトンボのサラーはいたずらもので、ツユムシやテントウムシをびっくりさせて、クモの巣にひっかかったり…。
50	694	はなのおともだち	みのるちゃんは、けんちゃんとふたりで、園にひみつの「たんぼぼかだん」を作っていました。ところが楽しい遠足の日、みのるちゃんは盲腸炎にかかって入院してしまいました。けんちゃんはみのるちゃんのことを思い…。
50	695	ありのちっぷ	夏のある日、ありのちっぷはエサを探しに出かけました。タンポポの実にかじりついたとき、大風が吹いてきて、ちっぷは飛ばされてしまいました。ところが落ちたところに、すばらしく大きなアオムシがいたのです！

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	696	あおむしぼうやのぼうけん	キャベツの葉っぱの上で生まれた、あおむしぼうや。「おめでとう」ってお祝いにきた、にいさんの鼻にガブリッ。にいさんもねえさんもプリプリ怒って行ってしまいました。ひとりぼっちのあおむしぼうやは…。
50	697	みんなあつまれ	おさるのお母さんが呼んでいます。「キータ、クータ、チータ、フランスパンとガムをあげるからいらっしやい。」みんなはフランスパンをひとつずつもらいました。つぎはガム、みんなひとつずつもらえたかしら？
50	698	やっちゃんのおめん	やっちゃんは、真っ赤な鬼のお面をかぶったやっちゃんは、大あばれ。犬をけとばし、猫に乱暴し、女の子をいじめます。ところが、「わるい赤鬼やっつけろー」とおしかけてきてみんなに取り囲まれたやっちゃんは…。
50	699	くたびれたコンピューター	コンピューターのターちゃんは、数や情報を頭に集め、それをどんどん整理していく働き者です。すばらしい機械だということで、会社の入口に置かれ、「さあなんでも聞いて」と得意です。ところが…。
50	700	おきていたこりす	秋、りすのお母さんは、冬に寝るための木の実をあつめるよう子どもたちに話します。でも、ラスティだけはなぜ冬にねむらなきやいけないうのか不思議でした。冬になり、ラスティは楽しいことがないか確かめることに…。
50	701	あめのひののぶちゃん	毎日、雨ばかり。お母さんも郵便屋さんも、となりのお姉ちゃんも「雨はいやだ」と言います。でも、のぶちゃんが外に出てみると、雨はほんとにいい気持ち。お花もカタツムリも、うれしそう。
50	702	まる・しかく・さんかくさんのかくれんぼ	仲よし三人組のまる・しかく・さんかくさんのかくれんぼ。かくれていたのは、ぐにゃぐにゃのへんなもの。三人はびっくり。そのぐにゃぐにゃが仲間に入れてくれということです。
50	703	いってまいりまーす	カンガルーのかんちゃんは、甘えん坊で恥ずかしがり屋。他の子どもたちは、みんな仲良く遊んでいるのに、かんちゃんは、お母さんのそばから離れません。園に入ったらお友だちができる、と考えたお母さんは…。
50	704	ふうちゃんのおたんじょうび	ふうちゃんのお誕生日によばれたこぶたちゃん。ピカピカにおしゃれすると、プレゼントをさがしにでかけました。おいしそうなキャベツをみつけて大喜び。とって帰ろうとすると、キャベツがコロコロ転がって…。
50	705	にんじゃからず	むかし、ぬれば山という高い高い山がありました。その山には、悪い黒オニがが住んでいて、ふもとの村へおりてきては、大あばれをするので、村人はたいへん困っていました。それを見たカラスの子どもは…。
50	706	みんなでたなばた	もうすぐ七夕。園では、七夕の劇をすることになりました。織姫さまになりたかったあや子は、かささぎの役が嫌でたまりません。園へ行くのも嫌になってしまいます。ところが…。
50	707	せみとくまのこ	暑いあつい夏です。くまの子だいちゃんは、遊び友達を探しに原っぱへ行きましたが、友達みんな昼寝です。しかたなく、だいちゃんも大きな木の下で昼寝をしました。ところが、せみがジージー鳴いてうるさくて…。
50	708	つきよのはくちょう (原作:アンデルセン)	空を飛んでいる一群れの白鳥の中から、一羽が海の上へ落ち、しょんぼりさみしく浮きました。目を閉じゆっくり眠った白鳥。東の空から夜明けが始まりお日さまがはげましてくれているよう。そしてまた仲間をめざして…。
50	709	うまいものやま	にんじんはきらい、味噌汁はきらい、あまいものばかり食べたがる”もさく”という若者がいた。困り果てたおやじとおっかは、相談して殿さまだけしか召し上がらないあけびとマツタケの出るうまいもの山へと連れ出し…。
50	710	すてきなまち	てっちゃんが留守番をしていると、クモが糸のブランコにのってきた。てっちゃんもブランコに乗せてもらおうと、あっアパートがつぶれちゃったんだ。アパートに住んでた男の子も女の子も怒って、新しいアパートを作ろうとして…。
50	711	どうぶつ山のクリスマス	どうぶつ山に雪が降って、今年もまたどうぶつたちのツリー競争が始まりました。さるやきつねたちが、はりきってツリー飾りをやっているのに、子ぐまのクータは、食べ物を探しに行ったまま帰らないおとうさんとおかあさんが心配で…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	712	ひらけ・ごま 前編	むかし、ペルシアにふたりの兄弟がいて、兄さんはお金持ち、弟のアリ・ババは貧乏。山で木を切っていると、突如現れた四十人の泥棒。「ひらけ、ごま」と唱えると、ふしぎや、岩の扉が開き、中は宝の山。
50	713	ひらけ・ごま 後編	四十人の泥棒のかしらは、かめの中に子分をかくし、アリ・ババの家へとやってきます。アリ・ババの命危うし。ところが、アリ・ババが近頃雇った女の子ムルジャーナ、賢いこの子は…。
50	714	かずこと、のぼるのひなまつり	きょうは三月三日、ひなまつりです。のぼるのうちには女の子がいないので、ひなまつりはやりません。でも、のぼるはかずこといいことを思いつきました。おもちゃ箱からいろんなものをだして…。
50	715	つよくなれなれ	一郎君とケンジ君はいつも竹の林を通過して幼稚園に行きます。「ぼく、見つけたぞ！」一郎君は、にこっと笑いました。いったい何をみつけたのでしょうか？
50	716	トンネルくぐって	「もうはじまりますよ」と先生の声。砂遊びをしていたしげる君たちはつまらなそう。するとトンネルの奥の方から「こっちへいらっしゃい。」不思議な声！
50	717	どうぞのいす	山の広場で“どうぞ”のいすをみつけたろばさん。いすにどんぐりを置くと、眠ってしまいました。そこへやってきたくまさんは、いすの上のどんぐりをみて…。
50	718	はさみでじょきじょき	青い海を泳いでいたクジラやマグロ。急に象さんが現れたので大慌て。みほちゃんが絵本の青い海を、切り抜いたのです。ぶつぶつ言うと、象さんも切り抜いて…。
50	719	ながぐつだいすき	雨の日トキコちゃんが窓をあけて「アメ」というと、おとなりのタネコちゃんは「メダカ」-「カメ」「メダカ」おやおや？しりとり遊びがはじまりましたよ。
50	720	なきむしくん	森に散歩に行ったなきむしくん。ところが、さあ大変！迷子になってしまいました。「あーん あーん」と泣いていると、大きなトラがやってきて…。
50	721	あんぱん	「ひとつ ちょうだいな。」子どもや子犬がいました。でも、よくばりくんは誰にもあんぱんをあげません。あっ！石につまづいた拍子に、あんぱんは…。
50	722	めのみえないちょうちょ	草むらから小さな声、「私をふまないでね。目が見えないから。」子馬はびっくり。目の見えないちょうちょは、どうやってお花畑まで蜜を吸いに行くのでしょうか。
50	723	みつばちマーヤのぼうけん前編	生まれてはじめて空を飛んだ、みつばちマーヤ。見るもの聞くもの、みんなめずらしいものばかり。あっ大変！虹に見とれていたマーヤはクモの巣に…。
50	724	みつばちマーヤのぼうけん後編	「あしたの朝早く、みつばちをおそうのだよ。」くまばちの女王が命令を下しています。た、たいへん！マーヤは卒を抜け出して仲間にしらせなければと必死！
50	725	なかよくおなじに	黒人の召し使いをいじめていたお姫さまがとなりの国へお嫁に行くことになりました。途中とても暑かったので水浴びをすると、あら不思議！体の色が変わって…。
50	726	おぼれたカッパ	カッパが、川原に集まってワイワイ騒いでいます。お皿の水も、川の水も少なくなってきました。そこでたろうカッパとじろうカッパは、かみなりさまに会いに…。
50	727	てっきょうとこいぬ	一郎君が止めるのも聞かずタケちゃんたちは、鉄橋の下にぶらさがりました。その時、電車がゴー ゴットンゴーと渡ってきたのです。あっあぶない！

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	728	トムとジム	トムとジムは、いつも”まけるもんか”とっていました。ところが、トムがハーモニカをふき、ジムが木琴を鳴らしていると、いつのまにか二人の歌は…。
50	729	石のライオン	石のライオンの口から、吐き出された金によって金持ちになった正直な弟、兄は自分もと、ライオンに頼みますが、あまり欲張りすぎて大変なことになります。
50	730	王さまとタカ	狩りにやってきた王さまが、岩山からしたたりおちる水を飲もうとした時、突然タカが大きな翼を広げてコップを払い落としました。カンカンにおこった王さまは…。
50	731	いっちゃんのクリスマス	いっちゃんは、おとうさんやおばあちゃんから、クリスマスにプレゼントしてもらうものを、自分から決めてしまいます。そこで、おねえちゃんは、いっちゃんに…。
50	732	なりだしたくろいかがみ	新しい家に住みついたねずみのチータは、ちょろちょろとひとまわり。すると、ピカピカ光った黒いかがみが、歯をむき出しにしてこちらを見えています。ぶるぶるふるえたチータは…。
50	733	きつねとかわうそ	NO.493と同じ内容。ある日、キツネとカワウソは、ご馳走のしあいっこをする約束をします。ところが、カワウソの家でご馳走になったキツネは、嘘を言ってお返しをしません。
50	734	タオルがこおってさむいばん	お風呂の帰り、ぜんちゃんは道ばたで寒さにふるえている小犬を見つけました。「かわいそうに」でもぜんちゃんの家では飼えません。その晩、小犬の夢を見ました。
50	735	においのおねだん	ジュウジュウと肉焼く、欲張り肉屋のおじさんは、二階の下宿人がちっとも焼肉を買いに来ないので、不思議に思い、お部屋をのぞきます。すると、おやおや…。
50	736	かいじゅうドットセイ	島の動物に、怪獣とまちがえられて大弱りのオットセイ。こんどは、頭に海草をのせ、口ひげにリボンを結んで、シャアナリシャアナリ近づいていきましたが…。
50	737	おもちゃのおふね	「おもちゃのおふねよ、この川を下って海まで、いはいえアメリカまで行っておくれ。」子どもが願って流したおふね。果たしてアメリカまでいけるでしょうか…。
50	738	ハムスターのパピーちゃん	テディくんはハムスターを買ってもらいました。手のひらにのるとてもかわいいハムスター。でも、あんまり食べ物あげたので、どんどん大きくなってしまいました。
50	739	こざるのぶらんこ	NO.633と同じ内容。お山のこざるは、おとうさんの作ってくれたぶらんこが大好き。山火事がおこり、みんなで逃げる時、こざるは大事なぶらんこを持ってかけだします。
50	740	ハーメルンのふえふき 前編	むかし、ドイツのハーメルンの町が、ねずみの大群におそわれました。旅の笛吹き男が、市長さんに頼まれて笛を吹くと、町中のねずみが集まってきて、一匹残らず川の中へ飛び込みます。ところが、市長が約束をやぶって…。
50	741	ハーメルンのふえふき 後編	ねずみがすっかりいなくなったハーメルンの町では、みんな大喜び。ところが、笛吹き男の楽しい笛の音にさそわれて、町中の子どもたちが飛びだしました。子どもたちは、笛吹き男といっしょに山の中へ入って…。
50	742	こぶたのまーち	こぶたのるーには、いやなことがひとつありました。それはラッパのおけいこです。とうさんのラッパが鳴ったら、るーは、とうさんのところへ行かねばなりません。ある日、るーはとうさんのラッパが鳴らないように…。
50	743	なかよしきかんしゃ	ぼくの名前は、ホップノップ。がんばりやのかわいい機関車です。今日も、遊園地へ向かってシュッシュポッポーと走っていくと、こひつじさんが「乗せて」と、こひつじさんを乗せて走っていくと、犬さん、猫さん、あひるさん…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	744	あかいぼうし	たっちゃん、一歳のお誕生日にもらった赤い帽子が大好きです。お部屋の中でいつもかぶっています。お母さんと買い物に出た時、その帽子が風に飛ばされてしまいました。さあ、たいへん！
50	745	すべってころんで	今日は楽しいそり遊び。新しいそりがうれしくてたまらないたっちゃんは、よっちゃんの古いそりをバカにします。でも、よっちゃんはそりに乗るのがとっても上手。たっちゃんも負けずにすべるのですが…。
50	746	まめろくとおに	へそまがりのまめろくのすんでいる村に、二匹の大きな鬼がやってきました。おなかをすかした鬼たちは、村人たちの差し出すものを全部平らげてしまいました。食べ物が無くなってしまうと、今度は娘を差し出せと…。
50	747	ねずみのせつぶん (節分)	夜になると「福はーうち、鬼はーそと」と豆まきの声が聞こえてきます。今日は節分。家の中も外も、もう豆でいっぱいです。みんなが寝静まった後で、ねずみたちが、外にまかれた豆をとりこしてケンカ。そこへ鬼がきて…。
50	748	ひなのやまかご (ひなまつり)	なっちゃんは、もものお節句なのに風邪をひいてしまいました。それを見ていたおひなさまは、春の野菜をたくさん食べて、なっちゃんに早く治してもらおうとみんなと相談しています。そこで、足の早いやっこさんが…。
50	749	人魚ひめ (画:いわさき ちひろ)	十五才になった人魚の娘は、ようやく海の上へあがることをゆるされます。はじめて見る世界の、なんと美しいこと！人魚は夕焼け空の下を走る船のすがたに目を見張り、近づいていきます…。
50	750	お月さまいくつ (画:いわさき ちひろ)	明るいきれいなお月さま。お月さまは夜になると、高い空からみんなを見えています。ですから、お月さまはなんでも知っています。妹が生まれたポールが、どんなに喜んだかも…。
50	751	雪の女王 (画:いわさき ちひろ)	友だちとそり遊びをしていたカイは、雪の女王に遠いどこかの国へさらわれていってしまいました。なかよしのゲルダは、カイを探して森をさまよっているうちに、山賊の娘に助けられます。
50	752	のみのかわでつくれた王さまのながぐつ (画:いわさき ちひろ)	ものずきな王さまが、自分の長ぐつは、何の皮で作ってあるか当てた者に王女を嫁にやるというおふれを出しました。誰一人当てるものはなかったのですが、森の奥から鬼がやってきて…。
50	753	たんぱりんじゃじゃん	じゅんちゃんが園のホールでタンバリンをひろいました。ジャジャンで鳴らしたら、おやおや、りすさんがカステネットをもって現れました。二人で合奏したら、今度は、うさぎさんがトライアングルをもってきて合奏。すると次に…。
50	754	こうしちゃん	もう、おかあさんのおっぱいだけ飲んでるのが恥ずかしくなった、こうしちゃん。とことこ出かけて、うさぎさんがにんじんを食べているのを見たり、なんでもごちゃまぜに食べているこぶたちゃんに出会ったり…。
50	755	とおせんぼだあれ	うさぎのおかあさんがおつかいに行くと、途中で困った顔をしたくまのおかあさんに会いました。くまさんの前にやぎさんがいて、そのまた前にはぶたさんやろばさん、ぞうの奥さん。
50	756	あかいめあおいめ	みんな、寝静まった夜です。ちいちゃんのおもちゃたちが、原っぱへ遊びに出かけることになりました。ところが、くまさんは、目がとれて歩くことができません。「こまった、こまったなあ。」心配顔のおもちゃたち。
50	757	ぬいぐるみになったころちゃん	クロくまのころちゃんは、白くまちゃんが、みんなと遊んでいるのを見て、うらやましくてたまりません。そこで、洋服屋さんへ行って、頭のてっぺんから足の先まで、まっ白な洋服をつくってもらいました。
50	758	いたずらかにくん	かにたろうはいたずらっこ。友達をいじめたり、きれいに咲いていた花をちょんぎったり…。ある日、昼寝をしていたネコのひげをちょんぎったら、子ネコのお父さんが怒ってやってきて…。
50	759	おおきなおおきなき	ルルちゃんは、汗びっしょり。でも、大きな大きな木の下で一涼み。そこへ、ねこちゃん、わんちゃん、うさちゃん、りすさん、ことりさんもやってきて、仲間入り。みんなとても涼しそう。ところが、あついお日様が…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	760	かずこと、のぼるのひなまつり	NO.714と同じ資料
50	761	ばけばけ5 (みんなそろってのまき)	こぼと園の卒園式におばけたちがやってきて、みんなで、おばけの園へ卒園旅行にでかけることになりました。いろいろなおばけにあって、交通事故にあって、みんなが驚くことばかり。
50	762	おひさまとゆきだるま	毎日、毎日雪が降り続く北の国。四人の雪だるまが楽しく踊っています。でも春になれば、暖かいお日さまの光に照らされてとけてしまう…。お日さまに來ないでくださいと頼みにいくことにしました。
50	763	できないちゃんへのおてがみ	「できないちゃんへ」という手紙を持って、郵便屋さんが、宛名の子どもを探しています。お茶碗をたたいている子、お人形をふりまわしている子…。いろいろな子の家にいきましたが、みんな違いました。
50	764	はるかぜぷーさん	まあちゃんが、子犬のゴローとお池を目指して走っていると、いっしょに前になったり後ろになったりするものが…。そう、きたかぜぼうやです。寒いのはいやだから、はるかぜさんと呼ぶことにしよう！
50	765	あけましてこんにち	きれいなドアを、かえるのぎょろくんが開けました。するとお花がいっぱい。次のドアを開けると今度は夕焼け空のような部屋がありました。緑色のしゃれたドアを見てぎょろくんは、きつと原っぱがあるんだなと思いましたが…。
50	766	しょうぼうていミニー (働く船)	消防艇のミニーは、港のパトロール。働き者のタグボートタグくんは、ミニーを怠け者だと、ばかにしています。ところがある夜、タンカーの火事。ここでミニーが大活躍！
50	767	みっちゃんのかかし	みっちゃんの家は、山の中にあります。山の中には、みっちゃんがかかしをかいた、かかしが立っています。みっちゃんは、そのかかしが大好き。秋がきて、刈入れが終わると、かかしは山の中に一人ぼっちで残されて…。
50	768	うれしいおくりもの	NO.264と同じ資料
50	769	ミミちゃんのおにはそと	ミミちゃんが節分の豆まきをしようとする、豆の小人のマメタロが持って行ってしまいました。だいたが原で、豆づくり名人の発表会があるんですって。ミミちゃんとマメタロがかけつくと…。
50	770	できないめいじん	NO.256と同じ資料
50	771	ちくたくてくさん	ちくたくてくは三つ子の子ぶた。どこまでもよく似ているので、一年生になったとき、おかあさんはしっぽに色の違うリボンをつけてくれました。てくは赤、ちくは青、たくは黄です。
50	772	サムのカンブ	こぶたのサム・ビル・トム兄弟とアンは、仲よしのあなぐまブロックさんが作ってくれたテントでキャンプ。夜、寝ていると大ふくろうに驚かされて、こわくて逃げてしまいます。次の日の晩…。
50	773	たぐぼーと たるまる	NO.267と同じ資料
50	774	いってまいりまーす	NO.703と同じ資料
50	775	あおだよ、ごー	うさぎのピョンちゃんと、こぶたのプーちゃんが、横断歩道を渡ります。あわてんぼうのピョンちゃんは、信号が青になるまで待ちきれなくて、ピョンピョン飛び出してしまいます。
50	776	とつてもとつてもなりたいな	ブランコによりかかって、けんちゃんは友達が鬼ごっこをしているのを見えています。おや、けんちゃんってみんなに呼ばれている子がいます。でも、その子はけんちゃんより、とつても大きい子でした。
50	777	はっぱであそぼう	秋も深まって園の庭にも落ち葉が散っています。赤や黄に色づいて、とつてもきれいな。さなちゃんたちは、洋服や髪にかざって、お姫さまみたい。デコレーションケーキもできました。今度は何をつくっているのかな？

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	778	ももたろう	昔、あるところに、おじいさんとおばあさんがおりました。ある日、川に洗濯にいったおばあさんが、大きな桃をひろって帰ってきました。おじいさんが、桃を割ろうとすると、ぱくりっとひとりでに割れて、中から赤ん坊が…。
50	779	うらしまたろう	昔、美しい浜辺の近くの村に、浦島太郎という名の漁師が、年寄りの父母と住んでいました。ある日、太郎が浜辺を歩いているとわんぱく小僧たちが、一匹の亀をいじめていました。
50	780	はなさかじい	むかし、とても優しいおじいさんとおばあさんが子犬を拾ってきてかわいがっていました。ある日、庭でワンワンほえるので、おじいさんが掘ってみると小判がざくざく出てきて…。
50	781	したきりすずめ	むかし、山で拾った子すずめを大事に育てているおじいさんがいました。ある日、おじいさんとおばあさんの留守中に、おなかのすいた子すずめは、しろいのりを全部食べてしまいました。それを見つけたおばあさんは…。
50	782	さるかにばなし	むかし、ある山のふもとにおなかのすいたお母さんガニが、食べ物を探して歩いていると、おむすびが一つ落ちているのを見つけました。それを見ていたサルは、そのおむすびをカニから奪い取って食べてしまい…。
50	783	うみからきたちからもち	むかし、デンマークのある村にいる貧しい鍛冶屋が、海で岩にぶつかった船を助けに行こうとしたとき嵐がおき、自分がひっくり返ってしまいました。村人たちは葬式をあげたが、二十一日たって、ひょっこり鍛冶屋は帰ってきて…。
50	784	おむすびころりん	山道をころころころがって、穴の中に落ちたおむすび。おじいさんが中をのぞくと、おやおや、楽しい歌声が聞こえてきました。
50	785	かくやひめ	竹取りのおじいさんが、いつものとおり、竹を取りに竹やぶに行きますと、おやお不思議！根本の光っている竹が一本あります。
50	787	かちかちやま	じいさん豆のタネをまく、そばからタヌキがからかいます。怒ったじいさん考えて、とうとうタヌキをつかまえます。ところが…。
50	788	いっすんぼうし	お椀の舟の箸の櫂、小さな身体に大きな望みを持った一寸法師は、勇んで京の都に上って行きました。都での大活躍や如何に…。
50	789	つるのおんがえし	罌にかかったツルを助けてやったおじいさんの家にある晩、色白の美しい娘が訪ねてきました。その娘はふしぎなことに…。
50	790	こぶとりじいさん	山で木を切っていると雨が降ってきました。おじいさんは、近くのお堂で雨宿りをしているうちにこっくり。目が覚めると…。
50	791	ふにゃふにゃなーに	まーるいものなーに？しかくいものは、さんかくは、では、ふにゃふにゃは？2・3歳児はなーにがお得意、紙芝居が楽しく答えます。
50	792	ちいさなおばけ	「あーん。ママがいないよう。」「ぼくが遊んであげるからね」小さなおばけ、やさしいおばけ、もっと小さなうさちゃんをなだめます。
50	793	ねずみのしっぽ	かわいいにんじんさんはある晩、ねずみに変装して、大喜び。やさいさん達に向って、「チュー」ところが大変！ねこが「ニャオ」
50	794	くださいな	町のくだもの屋さん大忙し。動物のお客様がやってくるのです。「いちごくださいな。」おや、小さな手、誰の手かな？

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	795	そらのさんぽ	気球は風に吹かれて、ゆらりゆらり。にゃんこ、うさぎ、くまおはいい気持ち。でも、心配になってきました…。
50	796	あんあんふうせん	ポチがじゃれついたので、クーちゃんは風船をはなしてしまいました。風船はお空にどんどんあがっていき、それを追った童心の行方は？
50	797	まねっこざる	旅のおじさん木の下で、気持ちよさそにこっくりこ。「しめた」とばかりまねっこざる、おじさんの帽子をかぶりくつはいて…大得意！
50	798	こいぬのシロちゃん	NO.419と同じ資料
50	799	さくらはなとうめのはな	NO.433と同じ資料
50	800	ぴんきーのせいくらべ	NO.393と同じ資料
50	801	めんどりはどこ？	NO.429と同じ資料
50	802	一本の木から・わしをきどったからす・ かけあらそい・きつねのちえ	NO.124と同じ資料
50	803	たからもの	NO.453と同じ資料
50	804	みっちーの漂流記・ねずみ騒動	NO.138と同じ資料
50	805	トボンとプクンのクリスマス	NO.677と同じ資料
50	806	みんなでたなばた	NO.706と同じ資料
50	807	どうぶつ山のクリスマス	NO.711と同じ資料
50	808	かずこと、のぼるのひなまつり	NO.714と同じ資料
50	809	やまのひなまつり	NO.516と同じ資料
50	810	いっちゃんのクリスマス	NO.731と同じ資料
50	811	おりひめとひこぼし	NO.54と同じ資料
50	812	みぎのくつ・ひだりのくつ	夜暗くなってから、くつ屋のお店の棚に並んだくつ達が、騒ぎ始めました。下駄やスリッパは、同じ形のものが並んでいるのに、なぜくつだけが右、左が違う形なのか…。
50	813	すてきなまち	NO.710と同じ資料
50	814	いちにのさっちゃん	三人の子どもが、じゃんけんで鬼を決め、鬼ごっこをします。鬼になったいっちゃんは、なかなか二人をつかまえないので泣き出します。次はかくれんぼ。鬼になったにのちゃんが泣き出して…。
50	815	せみとくまのこ	NO.707と同じ資料
50	816	かぶとむしのぼうけん	林のそばのつみごえの中。そっと隠れてるとキャッ、おそってくるモグラ。でもがんばって、ほら幼虫がヨロイカブトに身を固めた、強いカブト虫になったよ。おやおや、クワガタがいじわるしてるぞ。
50	817	くじらのクー	くじらの子のクーが風邪をひいてしまいました。クーは大きいのでたいへんです。真っ赤になって寝ていました。お見舞いに来たペンギンのペンとギンが波の上でワルツを踊ると、治ったクーはすごいシャボン玉を噴き上げて…。
50	818	くれよんさんのけんか	せっちゃんのくれよん箱から飛び出した、赤いくれよん、いばって「ぼくは、おいしいりんごが描けるんだぞ」黄色いくれよんも負けずに飛び出してきて「ぼくはバナナが描けるんだい。」赤と黄色のけんかがはじまって…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	819	三びきのくま	NO.24と同じ資料
		(原作:トルストイ)	
50	820	三びきのこねこ	黒、白、みけの三匹の子ねこがいました。ねずみの後を追って、小麦粉の缶に入ると、出てきた子ねこは三匹ともまっ白…。庭のかえるを追って、煙突をくぐっていったら…。
50	821	ちからもちユンタ	大男のユンタは、大木をぐいっつとひっこぬくほどの力持ち。あばれ牛なんか、ひょいと投げ飛ばします。ある日、海をうめたてる工事が始まりました。村人たちは、せっせと働き、ユンタをあてにしません。
		(沖縄の民話)	
50	822	ジャングルジムのじゃんぐる	アイちゃんの幼稚園の庭には、ゾウやカバやヘビや、いろんな動物たちの遊び台があるんです。アイちゃんと動物たちはとても仲良しだけど、ライオンだけはいばっていたから、寄り付きませんでした。ライオンはうらやましくて…。
50	823	こぶたのとことこ	こぶたちゃんは、うまれてから、まだ一度も外に出たことがありません。お母さんにせがんで出かけると、めんどりや小犬やからすが大丈夫かと心配してくれます。こぶたちゃんは、こわい橋をわたって…。
50	824	つきよのはくちょう	NO.708と同じ資料
50	825	うまいものやま	NO.709と同じ資料
50	826	あかんぼばあさん	じいさが山へ薪をとりにいったが、どうしたわけか、いい薪がとれん。のどはかわくし、疲れもひどい。すると、チョロチョロと水の音。じいさは大喜びで水をたんと飲んだ。元気になったじいさが家に帰ると…。
50	827	ピッグボーイ ドンちゃんうみへいく	はないきジェットのはたダンブにのって、海の上を散歩していたドンちゃんは、海坊主の子どもにばったり…。ところが、この海坊主は弱虫で、台風おこしの名人だといばっていたのに…。
50	828	ねずみちょうじゃ	おべんとうのおにぎりを、ねずみにわけてあげた心の優しいおじいさんは、ねずみ御殿に招かれ、つきたてのおもちや、ねずみおどりで歓迎されて、おみやげに宝の小槌をいただきました。家に帰って小槌をふると…。
50	829	ぼうをもったきつね	お百姓に泊めてほしいとお願いをした、棒を持ったきつねは、翌朝ペチカ(暖炉)に棒を投げ込みます。お百姓に棒がなくなったと訴え、代わりにニワトリをもらっていきます。次に他のお百姓に泊めてとお願いしたきつねは…。
		(ロシア民話)	
50	830	こがものだいりょこう	お母さんがもはたったひとりで、十個のたまごと、枯草でこしらえた巣を、たくさんの敵から守らなければなりません。ところが、池の水がなくなってきて、たまごから孵ったこがもが飲む水がありません。そこでお母さんがもは…。
		(シートン動物記より)	
50	831	ヤンとおじか	若い狩人ヤンは、シカの足跡をみつけると、うさぎやとりには目もくれず、それ以来ずっとシカのことを考えていました。そしてとうとう、ヤンはおじかとめじかの二頭に出会い鉄砲を構えるのを忘れて見とれ…。
		(シートン動物記より)	
50	832	スプリングフィールドのきつね	むかし、カナダのスプリングフィールドに「きずつつら」というあだ名の年寄りぎつねがいました。「きずつつら」にはヴィクスという女房ぎつねと4匹のこどもがいました。そのころ、人間たちはニワトリや干し肉をぬすまれ…。
		(シートン動物記より)	
50	833	のらねこキティ	ニューヨークの裏町で、肉をくわえた野良の母ネコが子ネコたちの待っているゴミ捨て場の箱の中へ行くと、留守の間に黒猫が子ネコたちを殺していました。その中で生き残っているのはキティというメスの子ネコだけ…。
		(シートン動物記より)	
50	834	なんにかわるかな？	つみ木箱の中から、男の子と女の子が出てきて、次々とつみ木で何かを作っていきます。みんなで何を作るかをあてながら読み進めていく紙芝居です。
50	835	コロンブス	「世界は丸い。だから西へ西へと進めば東洋に着き、もっと進めば一周して元に戻るはずだ。」こう考えたコロンブスは…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	836	リンカーン	「人間を売り買いすることは許されない。」「奴隷がいなくては農業がやっていけない。」「南北の対立はますます激しくなり…。
50	837	ナイチンゲール	けがをした犬は、熱心な看病のおかげで歩けるようになりました。この犬がナイチンゲールの最初の患者だったのです。
50	838	アムンゼン	「やった！とうとう南極点に着いたぞ。」「アムンゼンたちは大喜び。ところがイギリスのスコットたちは吹雪にあい…。
50	839	エジソン	「息子さんは脳が腐っています。」「先生に言われてお母さんは自分でエジソンに勉強を教えました。するとどうでしょう。
50	840	ベーブ・ルース	「あっ、しまった！」バントするよう先生に言われたのに大きくバットを振ったら、たまは相手チームのグローブの中に…。
50	841	ヘレンケラー	「わかった、これが水なんだわ」サリバン先生に手に水をかけられ、ヘレンはものにはみな名前があることを知ったのです。
50	842	こんなのできた空とぶライリン	僕はライリン。箱でできてるんだ。ライオンとキリンのあいのこさ。ある晩空を飛んで草原にいったんだ。そしていろいろな動物たちに話しかけようとするんだが…。
50	843	あっぷっぷー	むかし、むかしのおはなしですよ。庄屋の一人娘のおちよさんが、笑いを忘れてしまいました。お医者さまもおせません。そこで、とんちのきく、ひこいちがよばれ…。
50	844	ふとっちょプリオのプレゼント ～くまさんにきいてごらん～	心のこもったプレゼントとは、どういうものでしょう。優しいふとっちょのプリオが、お母さんの誕生日にと、動物たちと一緒に、プレゼントをさがしまいります。
50	845	たべてよたべてよ	あしたからおべんとうがはじまります。としちゃんは、うれしくてなかなか眠れません。すると、窓をトントン。小人さんが、手になにかをもってやってきました。
50	846	マジックボンボン	「歌や踊りが上手になる薬だよ。」「そう言って薬屋さんがメリーさんに渡した魔法のボンボンは、ひょんな事から、とんでもない人の口に入ってしまいます。さあ大変！
50	847	けんぼうとちゅうしゃ	年長組のボールをとったり、へびを振り回したり、怖いもの知らずのけん坊も、注射と聞いただけで青くなってしまいます。針もささないうちに悲鳴をあげて…。
50	848	おばけのカチンくん	スススス、ピッタン！「あら、僕どうなっちゃったの。」「磁石を飲み込んだばかりに、おばけのカチンくんは、いろいろな物を吸いつけてしまいます。三輪車までも。
50	849	ぺろぺろん	わたしはヘビの女の子、ぺろちゃんです。ぺろぺろーんとしたを出して歩くと、「キャー」とにげる子どもたち。つまんない。わたしはお友達になりたいのに…。
50	850	海をみたあり	「海なんて、大きな池の様なものだろう。」「そう、たかを括っていたいばりん坊のありは、広大な海を見る事によって、その素晴らしさと、小さな自分を知ります。
50	851	よくばり王さま	「もっともっと金貨がほしい。」「ぴかぴか光る宝物をながめて王さまはつぶやきました。その願いどおり、なんでもさわると金になる力をもらった王さま。ところが…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	852	びっくりうさぎ	人間を知らない子うさぎは、動物たちに「あれが、人間さ」と、教えられますが、魚や蛇、はたまた鳥のようだったり、幼いうさぎには、人間が何の仲間か少しもわかりません。
50	853	おいしいゆめ	夢を食べるのが仕事のばくさんの所へ、森の動物がやってきました。みんなこわくてまずい夢をもって、どうしたらおいしい夢になるかばくさんは考えます。
50	854	とんではして	運動の苦手なメイ子ちゃん。走ろうとするとおなかが痛くなります。そこでラビちゃんにつれられて馬のおじさん、カエルのおばさんの所で猛練習。さて、運動会の日。
50	855	いものきょうだい	「クウクウ…」妹いも弟いも、お話を聞いているうちに眠ってしまいました。その時、ねずみが！でも兄さんいもはどうすることもできません。
50	856	にんぎょひめをたすけよう	南の海の人魚姫、きれいな声で歌います。この歌声を独り占めにしようと、大ガニが姫を高い塔に閉じ込めてしまいました。そこで魚たちは…。
50	857	山をせおった大おとこ	村の人たちは、らんぼう者の大男にいつも食べる物をとられてこまっていました。すると、小さな男の子が「いい考えがあるよ」さて、その方法とは？
50	858	北風がくれたテーブルかけ	北風がくれたふしぎなテーブルかけ。広げるだけでごちそうが並びます。でも、持って帰る途中立ち寄った宿屋でニセモノとすりかえられてしまいました。そこで…。
50	859	えほんのパーティ	クリスマスの夜のことで。絵本の中から飛び出した浦島太郎やシンデレラ…みんな集って楽しいパーティです。おや、桃太郎さんがケガをしていますよ。
50	860	うさぎのゆうびん	山のうさぎが郵便局で働くことになりました。年の暮れで年賀状がたくさんあるので大忙し。さて、年が明けてうさぎは年賀状でふくらんだ鞆を持って山に向かいます。
50	861	鬼がら	むかし、ひゅうがの国によすけという若者がおった。ある日、山で昼寝をしていると日はとっぴりくれてしまった。目が覚めたよすけの前には月に照らされた鬼が！
50	862	ジョンのゆめ	働き者のジョンはいつも貧乏。ある夜の夢で「ロンドンの橋の上に立つといいことがあるよ。」そこで決心してロンドンに。さてジョンをまっていた『いいこと』とは？
50	863	アラジンとふしぎなランプ 前編	魔法使いのおじさんとも知らず、さびしい山の中についていったアラジン。そこでランプをとりに行くように言いつけられ穴の中へ。でも、穴の中は真っ暗…。
50	864	アラジンとふしぎなランプ 後編	ふしぎなランプのおかげで、幸福になれたアラジン。それを知った魔法使いは、ランプを取り戻そうとアラジンの家へ。何も知らないお姫さまはランプをわたして…。
50	865	どちらがえらい	ゾウさんとおサルさんが、どちらがえらいかで言い争いをしました。すると、森のフクロウ博士は、「川の向こうの大きな木から、赤い実をとって来た方がえらい！」と。
50	866	しんごうきのおじさんなにしているの	NO.549と同じ資料
50	867	ぴんちゃんのまり	NO.550と同じ資料
50	868	おててつないで	NO.551と同じ資料
50	869	うさぎのとびだし	NO.552と同じ資料

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	870	たけちゃんとしてんしゃ	NO.553と同じ資料
50	871	どうしてあのと (交通安全)	友だちと約束した場所へ急ぐひろしくん。頭の中は福引のことでいっぱい！ ぱっと、大通りへ飛び出して…。
50	872	じてんしゃのじゅんちゃん (交通安全)	みんなは自転車に乗って表通りへ。じゅんちゃんも行きたくになりました。でも、 この時パパとの約束を思い出して…。
50	873	うまいけるかな (交通安全)	スーちゃんはもうすぐ一年生。今日はおかあさんと学校までの道を歩いてみる ことにしました。うまく行けるかな？
50	874	おじさんあぶないよ (交通安全)	「おじさん、あぶないよ！」一郎ちゃんは、思わず声をかけました。だって、横 断歩道の信号はまだ赤なのに…。
50	875	おててやあんよは売ってない (交通安全)	キー！するどく車のきしむ音。みんなはこわごわ通りの方を見ました。する と、ミミが道の真ん中に…。
50	876	わんちゃんびよんちゃん (交通安全)	海を見に行くことになった、わんちゃんとびよんちゃん。でも、たくさんの交通 規則にびよんちゃんはびっくり。
50	877	ひかれたボール (交通安全)	キャッチボールに夢中のハジメとタロー。ハジメの投げたボールが遠くにのび て、タローは後ずさり、その時…。
50	878	くうくのみちあんない (交通安全)	道案内をすると、はりきっていたくうくん。でも、かこちゃんに教えられてばか り。てれくさくてなりません。
50	879	たんぱりんじゃじゃん	NO.753と同じ資料
50	880	こうしちゃん	NO.754と同じ資料
50	881	とおせんぼだあれ	NO.755と同じ資料
50	882	あかいめあおいめ	NO.756と同じ資料
50	883	ぬいぐるみになったころちゃん	NO.757と同じ資料
50	884	いたずらかにくん	NO.758と同じ資料
50	885	おおきなおおきなき	NO.759と同じ資料
50	886	しろいからす	NO.656と同じ資料
50	887	りっぱなつののしか	NO.653と同じ資料
50	888	ばんくがえる・べちゃんこがえる (二話)	NO.657と同じ資料
50	889	おひさまときたかぜ	NO.654と同じ資料
50	890	よくばりわんくん	NO.658と同じ資料
50	891	のねずみとまちのねずみ	NO.655と同じ資料
50	892	かっこととみいのだいぼうけん	男勝りの女の子、かっこととみいと女の子みたいな男の子、とみいくんは三輪 車に乗ってマーケットへ出発進行！道の真ん中をぶっとばす、かっこととみい。 とみいくんは後からのろのろ。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	893	おにいちゃんのひこうき	お兄ちゃんと一緒に、模型飛行機を飛ばしに行ったじゅんちゃんは、自分で飛ばしてみたくてたまりません。でもお兄ちゃんはケチンボ。だから川の土手にひっかかった飛行機をみつけてもじゅんちゃんは知らんぷり。
50	894	みよちゃんとバイキン	庭で遊んでいたやっちゃんのみよちゃんは、石をどけた穴につまずいてケガをしまいます。穴で暮らしていたバイキンたちは大さわぎながらキズの中へ引っ越し。やっちゃんは痛くてがまんできず、先生に薬をつけてもらいます。
50	895	じしんだたいへん	ここは、森の中の動物の園です。りすやうさぎ、きつね、くまの子たちが一生懸命に絵を描いているところですが、そろそろみんなは、お絵かきに飽きてきました。すると、ガッタンガタガタとイスが音を立て始めて…。
50	896	はなびであそぼう	かずひろくんと妹のちかちゃんは、お父さんやお母さんのいないところで花火をはじめました。二人が夢中になっているうちに、ろうそくの火が、ちかちゃんの帯に燃えうつってしまいました。さあ、たいへん。
50	897	しょくどうは8かい	くまのクーちゃんとマーちゃんは、おかあさんと一緒にデパートに行きました。二人はおもちゃ売場でミニカーとボールを買ってもらい、楽しみにしていた食堂へ行こうとエスカレーターに乗ると、ボールを落としてしまい…。
50	898	いなむらの火 - 浜口儀兵衛 - (日本人の力)	小高い丘の上に住んでいる儀兵衛は、夕方稲を見回っていると大きな地震が起きました。海岸のほうへ目を移すと津波が今にも迫ってくる。ふもとの村では祭りの支度、津波のことは夢にも知らぬよう。どう知らせるか…。
50	899	稲の恩人 並河成資 (日本人の力)	冷害に悩む北の地方では、子どもの身売りや奉公に出すことが多かったの、寒さに負けないでグングン育つ新しい稲の品種を作ろうと並河さんは自分に言い聞かせました。
50	900	雨ニモマケズ 宮沢賢治 (日本人の力)	赤シャツを着てきた男の子がいじめられているのを見た、子どもの頃の賢治は、「自分も明日赤シャツを着てくるから、その子をいじめないでくれ」と言うほどの優しい心を持っていました。
50	901	伝染病菌とのたたかい 北里柴三郎 (日本人の力)	柴三郎は、父の希望で大きらいな医者になる学校に入ることになりました。熱心に勉強し、物覚えもよく成績のよい生徒でしたが、大きな夢を抱きオランダ語の砲術の本を読んでいました。そんな時、人間の組織を顕微鏡で見て…。
50	902	箱根用水 友野与右衛門 (日本人の力)	昔、芦の湖の水を、山をくり抜いて向こう側へ落とし、水に悩む二十九の村々を救おうと立ち上がった二人の男がいました。一人は江戸の町人、農法算法の科学技術者友野と、日本一貧乏村の庄屋、大庭源之丞です。
50	903	青の洞門 禅海 (日本人の力)	村人がお坊さんと呼んでお経をよんでほしいといい、見ると、むしろを被せた亡がらは谷川に落ちたらしくおかみさんと子どもがとりすがって泣いています。この道は崖の淵の鎖渡しという掛橋を行き来する危ない道でした。
50	904	威臨丸太平洋横断 福沢諭吉 勝麟太郎 (日本人の力)	ペリーと和親条約を結んだあと通商条約の調印はアメリカに出向くことになりましたが、日本の船は一度も太平洋を越えたことはありません。そこで勝麟太郎と新しい世界にあこがれていた福沢諭吉たちが出発することになり…。
50	905	火のとり(前編・後編)	むかし、金色の実をつけるりんごが自慢の王さまがいました。しかし夜中に、明るく燃えるような赤い鳥がそのりんごをくわえて高く逃げて行きました。王さまは三人の王子を呼び、火のとりを捕まえたら跡継ぎにすると…。
50	906	ハーメルンのふえふき (前編・後編) (ドイツ伝説)	むかし、ドイツのハーメルンの町が、ねずみの大群におそわれました。旅の笛吹き男が、市長さんに頼まれて笛を吹くと、町中のねずみが集まってきて、一匹残らず川の中へ飛び込みます。ところが、市長が約束をやぶって…。
50	907	ちびちゃん・ぶたのいつつご・に こにことぶんぶん (高橋五山集)	(にこにことぶんぶん)二匹のおさるが山からおりてきてかかしをみて、本物の人かと思ってビックリ。ぶんぶんおさるは、ぶんつく怒りました。にこにこおさるは、にこにこ笑いました。みなさんはどっちかな？
50	908	ピーター・パン(前編・後編)	ピーター・パンがウェンディ、ジョン、マイケルのもとにきて、ネバーランドへ行こうと誘います。鳥のように飛んであっという間にたどり着くと、海賊船もあり、人魚もいてインディアンのテントもあります。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	909	ロボット・カミイ ちびぞうのまき	空き箱を捨てに来たたけしとようこは、その箱でロボットを作ることになりました。名前は、紙の箱で作ったロボットだからカミイにしました。カミイは早速外に飛び出して、原っぱにいた女の子のちびぞうをとってしまい…。
50	910	ロボット・カミイ げきあそびのまき	たけしとようこはカミイを園へ連れて行くことにしました。初日、どの組もみんな劇をすることになっていました。カミイは見物する約束でしたが、劇の方がおもしろそうだと言った舞台裏へ飛び込んで…。
50	911	ロボット・カミイ おみせやさんごっこのまき	みんながつみ木で遊んでいると、カミイが「ちょっとかしてね」はこのつくった家の柱をひきぬいてガッシャー。家がこわれてはるこが泣いても、カミイは夢中で気がつきません。自分勝手のカミイをみんなは…。
50	912	ロボット・カミイ ロボットのくにへかえるのまき	ももぐみのみんなは野原に行くことになりました。カミイもみんなの一番後ろについて行きます。大きな道を青信号になったので渡っていると、あぶない！左からブレーキの壊れたダンプカーが走ってきました。その時カミイが…。
50	913	やまたのおろち(前編・後編)	昔、大きな河に沿って若者が歩いていると、おじいさんとおばあさんが、一人の娘を中にして泣き崩れているので理由と聞くと、八つの頭と八つのしっぽを持ったおろちのいけにえに娘を差し出さなければいけないと言い…。
50	914	はくちょう(前編・後編) (原作:アンデルセン)	エリサというお姫様には十一人のお兄さんがいて幸せに暮らしていましたが、新しくきたお妃はたいへん悪い魔法使いで、その十一人のお兄さんを白鳥にしまいました。エリサはいなくなったお兄さんたちを探し始めて…。
50	915	太郎熊・次郎熊(前編・後編)	山奥に二匹の子ぐまの兄さん熊の太郎ぐま、弟ぐまの次郎ぐまの、仲の良い兄弟熊がすんでいました。自分たちが川でとった魚より大きい魚を、いたずらもののブーぐまが食べているのを見てうらやましくなり…。
50	916	たつのこたろう(前編・後編) (国際アンデルセン賞受賞童話)	おとうさんもおかあさんもない、たつのこたろうはのんきもの。ある日、一緒に暮らしていたばあさまが、たつのこたろうのおかあさんは生きていと話し始め、北の湖まで探しに行くことに…。
50	917	赤いろうそくと人魚 (小川未明童話紙芝居全集)	NO.497と同じ内容。北の、寒い暗い海に住んで、人魚は淋しく悲しい思いをしました。そこでせめて子どもだけはあたたかな人間の里で育ててもらおうと…。
50	918	春風と王さま (小川未明童話紙芝居全集)	毎日毎日、退屈で仕方のない王さまに、山や野の美しさ、花や鳥のやさしさを教えた旅のおじいさんは、また、子どもたちの胸に春風のあたたかさややさしさを教えます。
50	919	魚と白鳥 (小川未明童話紙芝居全集)	寒い寒い冬です。お魚の子どもはお母さんの魚にいました。「いつまでもこんな水の底にじっとしているのいやだな。」春を待ちながら育ちゆく子どもの心を描いています。
50	920	ねずみとバケツのはなし (小川未明童話紙芝居全集)	町の裏を流れている小さな川に巣をつくっているネズミがいました。他のネズミは人の家の天井裏や縁の下に巣をつくるのに、このネズミだけはどうしたことなのでしょう…？
50	921	ねむい町 (小川未明童話紙芝居全集)	その町へ入ると、誰も皆眠くなってぐーぐー眠ってしまう不思議な町がありました。そこでケーは「よし、私がおその町へ行って探検してやる。私は絶対にねむらないぞ…。」
50	922	どこかに生きながら (小川未明童話紙芝居全集)	何処へ行っても追い払われて住む家のあてのない猫。せめて子猫だけでも飼ってもらえたら…と、親猫は子猫を連れてあちこちさまよいます。そして、ある家の屋根に来たとき…。
50	923	天下一品 (小川未明童話紙芝居全集)	ある村のある男がふと、働くことがつまらなくなりました。小判のどっさり入った壺でも掘りだしたら大金持ちになれるのに…。そんなことを考えながら寝転んでいると…。
50	924	千代紙の春 (小川未明童話紙芝居全集)	鯉売りのおじいさんからもらった千代紙で美代子さんは美しい花やいろいろな形に切って庭にまきました。風に吹かれて流れ、細やかになった千代紙は美しく散っていきました。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	925	かわいいパンダちゃん	パンダに赤ちゃんが生まれました。どんなにかわいいだろう。動物たちは楽しみにしていました。ところが、赤ちゃんはお母さんには似ても似つかない姿です。
50	926	おさかなへんだよ	森の動物たちが人間の村で見たものは、なんとひもでしばられて空を泳ぐ大きなお魚です。さるは、ひもをほどいて助けようとして食べられてしまいました。
50	927	ガラスの中のおばけ	ぼくはおりこうな犬のペスです。ある日、たろうくん連れられて床屋さんに行きました。そこでぼくはおばけを見たのです。そいつは、ガラスの中で細長い体で…。
50	928	ぼくはくろねこくん	しずかないなか町のアパートで暮らしていたくろねこ君。ご主人が急に引っ越すことになり、一人残されてしまったくろねこ君は、大変さびしそう。
50	929	ブーくんのおみせやさん	暑い夏です。子ぶたのブーくんが森に、アイスクリームのお店を出しました。ところが、お客さんがくるたびに目がキョロキョロ。さあブーくん、どうしたのかな？
50	930	デンデン山のあまいかき	兄弟ぎるのモンちゃんとキイちゃんが、小川で大きなかきを拾いました。「よし、デンデン山へかきをとりに行こう。」途中二人が出会ったのは、くまの親子です。
50	931	がんばったおいも	「おいもが食べたい。おいもが食べたい。」「ぬけたらあげるよ。」「よーし。」「三匹の動物とおいもたちは、力比べです。」「よいしょ、よいしょ。」「あっ。」
50	932	はりねずみハンフのぼうけん	ハンフが夜の森を歩いていると、「やい、ちびすけどこへ行く？」山ねこです。ハンフはかあさんの言葉を思い出して、くるとまるくなりました。その言葉は…。
50	933	やっとかどっこい赤おにさん	いばりや自慢の赤おにくん。「わしの山ほど高い山はない。日本一じゃ。」と。ところがもっとも高いお山が…。さあ、赤おにくん、どうしたかな？
50	934	空とぶ千里のくつ	「あーん、あーん」いたずらばかりして親のいうことをきかなかった兄弟は、ある日、山に捨てられてしまったのです。ところがその山には人食い鬼の家がありました。
50	935	ごへいとてっぽう	てっぽううちの名人、ごへいに山のボスの大ダヌキが戦いを挑みます。「さあ、ごへい。てっぽうをすてて勝負しろ。」木のかげからは動物たちが応援しています。
50	936	キツネのまほう	食べ物をさがしに子ギツネが村里までおりてきました。ほんやらどうでおいしいモチを見つけて、キツネは大喜びです。コンコンコロリン、ムニヤムニヤコン。
50	937	ちゅうちゅうハッケヨイ (秋田の民話)	デッカショ、デッカショとおかしな声。おじいさんがそばへ行くと、おやおや、二匹のねずみが相撲をとっていたんですね。おや、土俵入りもしてますよ。
50	938	おにさんこちら (節分)	「おにさんこちら、手のなる方へ」子どもたちの歌に誘われて、おにの子が出てきました。自分と呼んでいると思ったからです。それなのに、いたずらっ子たちは…。
50	939	一ねんに一どは (ひなまつり)	引っ越しで去年はかざってもらえなかったおひな様たち。今年こそはと思っていたのに、今度は押入れの奥にしまい忘れられたのです。すると、一匹のねずみが…。
50	940	六三じぞう	お人よしのごん太は、いつもお地藏様にお参りしてから働きます。「お地藏様、うちのばあさまがいつまでも元気で暮らせますように…。」ところが…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	941	カメレオンの王さま	動物たちはかけっこで王さまを決めることになりました。ヨーイ、ドン！ウサギはたちまちトップ。おや、ウサギのしっぽにだれかがみついていますよ。はて？
50	942	トロイのもくば	ギリシャもトロイも同じくらいに強くて勝負がつきません。でもどうしたのでしょうか。ギリシャ軍はひきあげてしまいました。あとに残ったのは大きな大きな木馬です。
50	943	おくつがどんぶりこ	遊び疲れたみよこちゃん。お母さんの背中でごっこ。おやおや片方のおくつが草むらにポトンと。お母さんは何も知らずに歩いて行きます。
50	944	かいぞくでぶっちゃん	ドッカーン！でぶっちゃんはびっくり箱のネコにもあきたので、大砲に入ってジャングルへ飛んできました。でも、あたりには誰もいません。そこへトラが…。
50	945	雨の日はやさしく	たくちゃんの傘は少し大きめ。だから傘をさすと大男になったようで、雨の日はやさしい気持ちになるんです。でも傘には大きな穴。これにはわけがあるのです。
50	946	きんいろのクレヨン	「あっ、しまった！」ノボルちゃんは、トミ子ちゃんの大切にしている金色のクレヨンを折ってしまいました。でも、トミ子ちゃんはゆるしてくれたのです。それは…。
50	947	オズのまほうつかい 前編	竜巻に家ごと魔法の国へ運ばれてしまったドロシー。帰る道を教えてもらおうと大魔法使いのオズに会いにでかけます。途中、かかしとブリキの木こりと…。
50	948	オズのまほうつかい 後編	西の悪い魔法使いをやっつけてオズのお城へ戻ると、ドロシーたちを待っていたオズは頭のはげたおじいさん。「本当は、わしは魔法使いじゃないんだよ。」
50	949	てんぐとかっぱとかみなりどん	NO.648と同じ資料
50	950	チョコレートカステラだいじけん	NO.649と同じ資料 (状態悪い)
50	951	ひよこのろくちゃん	NO.650と同じ資料
50	952	かるかやバレーがっこう	NO.651と同じ資料
50	953	わっしょいわっしょいわんぶんぶん	NO.652と同じ資料
50	954	はいいろくびののがも	冬が来る前に、お母さんたちと南の国へ渡るはいいろくびの野がもは、うさぎのピョンちゃんにお別れを告げます。ところが、帰る途中でキツネのギャン公におそわれ…。
50	955	ごんたさんのうなぎとり	魚つりの大好きなごんたさんは、おおうなぎをつりあげて、びっくり仰天。つかまってはたいへんと、おおうなぎは、山のむこうまでひとつとびに、逃げてしまいました。
50	956	おさるさんのふえ	山のこざるたちは、ふもとの村のおまつりで売っているピーピーがえがほしくてたまりません。せがまれたお母さんざるは、お金を持っていないので困ってしまいました。そこでお母さんはみんなで集めた木の実を…。
50	957	こがにのかんちゃん	広い砂浜で、こがにのかんちゃんは高い岩の上に赤い花を見つけました。かんちゃんはその花のそばに、ほら穴があるのも知らずに上がって行って、はさみでチョコキン！と花をきったとたん、あーっ。(さしこみ手作り紙芝居)
50	958	母をたずねて 前編	遠い南アメリカのアルゼンチンへ出稼ぎに行ったお母さんから、何の便りもないので、男の子のマルコは一人で旅に出ます。はるばる大西洋を越えて、船はブエノスアイレスの港につきます。「お母さんに会える！」

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	959	母をたずねて 中編	ロザリオの駅で、切符を買うお金がなくて困っているとき、船で親切にしてくれたおじいさんに偶然出会いました。おじいさんはマルコを酒場へ連れて行き、出稼ぎのイタリア人からお金を集めてくれ…。
50	960	母をたずねて 後編	途中まで乗せてくれた運送屋たちと別れて、ツクマンの町へと歩き続けるマルコ。ひとりぼっちで、おそろしい森をぬけて、ようやくメキーンさんの家へたどりつきます。そのころ、マルコのお母さんが重病に苦しみ…。
50	961	おおえやまのおに 前編	昔、京の都は荒れ果てて、泥棒や人さらいが暴れまわり、悪い病気が流行ったりで、人びとは大変困っていました。聞くと、夜もふける頃、大江山から悪い鬼どもがやってきて都を荒らしまわるといって…。
50	962	おおえやまのおに 中編	一条戻橋で、渡辺綱は大格闘の末ついに鬼の腕を切り落としました。鬼は、仕返しを誓って大江山へ逃げ帰ってしまいました。切り落とされた鬼の腕は、渡辺綱の主人源頼光の屋敷の奥深くにしまいこまれたのですが…。
50	963	おおえやまのおに 後編	鬼に腕をうばい返された源頼光は、鬼のたたり病も癒え、鬼退治に大江山へ出かけようと決心しました。山また山奥、道なき道を進む、山伏姿に身を変えた頼光たち一行の前に三人の不思議な老人が現れ…。
50	964	ありのぼうけん	はたらきアリは、アブラムシからおいしいミツをもらったり、おかしのかけらを集めたり、一生懸命働いています。ところが突然どろぼうアリが現れて、ごちそうをとられてしまいました。
50	965	せみがおとなになるとき	せみの子どもは、長いこと土の中からはいだして、木に登っていきました。そして、かたい着物を脱いで、おとなのせみになったのです。せみは、新しい羽をひろげて、力いっぱい飛び立ちました。ミーンミーン歌いながら。
50	966	あおむしだれのこ	春の野原のからたちの葉の上を、小さな青虫の赤ちゃんが歩いています。青虫は、お母さんがだれか知りません。ハチが飛んできました。からだにしまがあるので、お母さんかと思って尋ねますが…。
50	967	おたまじゃくしの101ちゃん	春のいちべいぬま。おたまじゃくしの101ぴきの子どもたちが大騒ぎするので、お母さんがえるは、毎日目が回りそう。今日も子どもたちの数をかぞえる、元気な声が聞こえてきます。ところがある日、遠足の途中で…。
50	968	かめさんのふゆごもり	冬が近づきました。池のカメさんは、冬ごもりをする場所をさがしているうちに、広い道に出てしまいました。車の通る道では、よいところがなかなか見つかりません。そこへちょうどおりかかったひろちゃんのお父さんに拾われて…。
50	969	あさがおアパート	あさがおの種たちは、種まきされる前の晩、水のお風呂に入ってふとっちょ種になりました。子どもたちが土に穴をあけて作ってくれたあさがおアパートに一粒ずつ入った種は、元気に働いたり、根っこのストローから水を吸ったり…。
50	970	ももたろう	昔、あるところに、おじいさんとおばあさんがおりました。ある日、川に洗濯にいったおばあさんが、大きな桃をひろって帰ってきました。おじいさんが、桃を割ろうとすると、ぱくりとひとりでに割れて、中から赤ん坊が…。
50	971	鬼のよめさん (節分)	お嫁さんが欲しくて仕方のない鬼と、鬼に見染められるおふくちゃん、そしておふくちゃんの賢い両親が、登場人物です。「鬼は外、福は内」と豆をまく節分の行事はこの民話のもとといわれています。
50	972	おくびょううさぎ	一匹のおくびょううさぎが、やしの実が一つ落ちたのを地震だと勘違いしたばかりに、島中がテンヤワンヤの大騒ぎになってしまいます。インドのジャングルの雰囲気、色落ち着いた和紙のはり紙が伝わってきます。
50	973	さるじぞう	お地蔵さまと間違われたお陰で、さるのお供えをたらふくごちそうになるおじいさん。それをマネして失敗する隣のおじいさん。ワンパクでいたずらで、純真なサルは元気な子どもたちかもしれないね。
50	974	ブレーメンのおんがくたい	家を追われたロバと犬とネコとおんどの出会いではじまるおなじみの童話です。普通ならば敵同士になってしまうはずの動物たちが、ここでは友情を分かち合い、仲良く音楽隊をつくるのです。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	975	しらゆきひめ	あどけないおかっぱの女の子、それが白雪姫です。白雪姫をねたむ継母、姫を殺せといわれても殺せない家来、七人の小人、そして白馬に乗った王子さまと多彩な登場人物が魅力です。
50	976	11ぴきのねこ	いつもおなかをすかしている"11ぴきのねこ"。やっとの思いで見つけた大怪魚を、腹ペコのねこたちは、どうやって捕まえるのでしょうか…。話の中味は子ども向けとは思えない現実性があります。
50	977	これなんだろう	カメラのファインダーを小さな穴にたとえて、その穴からのぞく動物のヒントに、その動物をあてる遊びですが、それだけにとどまらず、動物に対する観察力も併せて身につけてほしいです。
50	978	いっすんぼうし	自分を育ててくれたやさしい夫婦のもとを離れ、おわんの舟でひとり都にのぼる一寸法師。鬼を退治して、美しいお姫さまと結ばれる姿は、こどもたちのこれからの人生を表現しているのでしょうか。
50	979	つるの恩がえし	ぼたん雪の降りしきる冬の日、わなにかかっていた一羽の鶴が、貧しい老人に助けられその恩返しとして、美しい布を織る…。鳥取地方に伝わる有名な民話です。
50	980	ねずみのすもう	NO.937と同内容。デンカショウ、デンカショウとおかしな声。おじいさんがそばへ行って見ると、二匹のねずみが相撲をとっています。やせたねずみはおじいさん家のねずみ、太った方は長者のとこのねずみです。
50	981	にんぎょひめ	十五才になった人魚の娘は、ようやく海の上へあがることをゆるされます。はじめて見る世界の、なんと美しいこと！情趣豊かな画とアンデルセンのやさしい心が、子どもたちの胸に染み入ります。
50	982	アラジンとまほうのランプ	ランプをこすると大男があらわれ、何でもいうことを聞いてくれる。子どもにとって空想のお話は大きな魅力の一つです。いつの世も変わらない夢と冒険の憧れが、画面にスケール大きく展開されます。
50	983	三びきのこぶた	こぶたと、おおかみの知恵くらべがスリリングに展開するイギリス昔話。画は「子どもたちに大きな夢と、こせこせしない広い心を持ってほしい」という願いをこめてカラーペーパーを駆使し、メルヘン調のはり絵で仕上げられています。
50	984	11ぴきのねことあほうどり	毎日、コロケ攻めにあっていた11匹のねこたちの所へ、腹ペコのあほう鳥が迷い込みます。表面は親切にごちそうしながら内心は鳥のまる焼きを想像して、11匹全員あほう鳥へさっそうと出かけますが…。
50	985	ごはんですよ	子どもたちにとって食事時間は楽しいひと時です。それは動物たちにとっても同じこと。でも、動物たちはいったい何を食べるんでしょうね。あれれ、とてもお行儀の悪い食べ方をしているのは誰かな…？
50	986	かぐやひめ	光る竹の中から生まれ、貧しい老夫婦に育てられたかぐや姫、次々と登場する求婚者にもなぜか首を横に振るばかり…。そして、満月の夜の老夫婦とのかなしい別れ。
50	987	へっぴり女房	一日一回おならをするへっぴり娘がお嫁に行くことになりました。嫁ぎ先ではおならは我慢すると両親と約束をしましたが、やはりおならをしたくなった娘をみて、おむこさんは遠慮しないでいいと言いますが…。
50	988	ふるやのもり	NO.307と同内容。ふるやのもりが雨漏りだと気づかない臆病なおおかみとのんきでまぬけな泥棒が起こすユーモラスなお話。勘違いのおかしさをたっぷり織り込んだこの話は、さるのしっぽはなぜ短いかというオチまでついています。
50	989	ジャックと豆の木	びんぼうなうちのジャックは、大切な牛と一粒の豆を、市場で交換して帰ってきました。おかあさんは、パンにもならないこの豆を窓から投げ捨ててしまいました。ところが、次の日…。
50	990	はだかのおうさま	目に見えない洋服などあろうはずもないのに、体裁ばかりをとりつくりう大人たち。そこにメスをいれたのはちょうどこの紙芝居を見ている幼児と同じ年頃の子どものだったのです。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	991	金のおのと銀のおの	働き者のおじさんが誤って木を切っていたおのを川に落としてしまいました。困っていると神様が川からあらわれ、「おまえの落としたおのはこの金と銀のおのですか？」と聞いたので正直にこたえたと…。
50	992	トラゴロウとふしぎなほこ	トラゴロウという名のトラがいました。ある日、助けた猟師から思い通りのものが出てくる箱の鍵をもらいましたが、さて出てきたものは…？動物の本性をありのままに描き、動物と人間を仲よしにさせていない点がユニーク。
50	993	たまごとたまご	アゲハ蝶と青ガエルのたまごからの”変身”と”成長”の過程を楽しく描いたオリジナル作品です。画面を「タテ長」に使用する手法を用いています。
50	994	さるかにかっせん	カニが拾ったおむすびを、さるはもう一つ落ちていないかと探していると柿のタネが落ちていたので、カニにおむすびと取り替えてほしいと頼みます。
50	995	えすがた女房	貧乏で頭の足りないごんべえという男に、やっと念願のお嫁さんがきました。ところがこのお嫁さんが大変かわいい。あまりかわいいので、殿さまに連れていかれてしまいます。
50	996	だいくとおにろく	昔、何べん橋をかけても流されてしまう流れのはやい川がありました。村人たちは一番腕がいいと評判の大工に頼むことにし、大工は川を見にいけますがいい案が思いつきません。そんな時、川の中からオニが出てきて…。
50	997	そんごう 大あばれのまき	とおい、とおい昔、岩山から一匹の石ザルが生まれました。たちまち遊び暮していた石ザルはりっぱなサルになる為に、術をならいに仙人の居る場所へ向かい数年後、「孫悟空」という名前をもらい天国のお役人になりました。
50	998	そんごう 金かく銀かくのまき	いったん事があると何にでも姿を変え、敵をやっつける孫悟空。天竺への旅を続ける孫悟空ら一行と、いく手を邪魔する金かく銀かくという怪物との知恵くらべ・腕くらべです。
50	999	きつねみちは天のみち	ある雨の降る日、主人公の少女がきつねの小学校に紛れ込むという、とっても不思議でいかにもありそうなお話です。なにしろ主人公のともこちゃん、お家の前のポストのところで”きつねみち”に入ってしまうのですから…。
50	1000	しんはつめいじどうちらかしき	世の中は科学がさらに進歩し、すべて自動化されて”自動かたづけ機”なるものの登場で、ぶんきち君たちはもう何もすることがありません。そこで、今度は”自動ちらかし機”を買い、家の中をちらかし、にぎやかに暮らそうと…。
50	1001	あぶない	主人公のサルのモンタンは、上野動物園のガールフレンドに会いにやってきて、いろんな危険に出会います。そんなモンタンを通して、あぶないことを避ける感覚を子どもたちに身につけさせることができれば…。
50	1002	花さかじいさん	正直じいさんのしたことを、すぐにマネする意地悪じいさん。だけど必ず失敗してしまいます。同じことをしているのにどうしてちがってくるのでしょうか？言葉の繰り返しの面白さに子どもたちはこの話をすぐに覚えるでしょう。
50	1003	なしとりきょうだい	病気の母親が食べたいという梨を取りに順番に山へ出かける兄弟たちの話。地方の方言がふんだんに使われ、物語のイメージをいっそう膨らませています。
50	1004	ねずみのまえばはなぜ2ほん	おなかのすいた気弱ないたちと、ちょっとずる賢いねずみが二匹で畑を作り始めます。ところが…。話の進展と共にねずみの前歯はなぜ2本なのかわかってきます。
50	1005	ガリバーのぼうけん	見知らぬ小人国を勇敢に旅する船医・ガリバーの冒険は、子どもたちの幼心に「旅をしてみたい」という願望を初めて芽生えさせるかもしれません。
50	1006	こわいことをならうために旅する男	このお話の主人公、こわいということを知りません。「一度でいいから、ぞっとしてみたいな」なんてヘンですね。こわいものを求めて旅を続ける男が得たものは…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1007	へんなおてんき	空の上に一匹のあまがえるがいて、じょうろで雨を降らしたり、雲の冷蔵庫から雪を出してまいたり、霧吹きで虹をかけたたりしているのです。かえるのケロちゃんが体験する小さな冒険です。
50	1008	ふうせん山に春がきて	ふうせん山に春がきて、ふんわりふわふわ...かえるやいたちも、の～んびり。そこへ見慣れぬつちのこや鳥の大群がやってきたからさあ大変です！子どもたちの大好きな動物たちが登場。
50	1009	いろいろいる	日常生活の中で、物事を逆にしたり、がらりと状況を変えてみると、かえってそれがはっきりわかってくるといことがあります。身の回りをみつめようというのがこのお話です。
50	1010	うらしまたろう	ある日、うらしまたろうはカメを助けたことから海底の夢の世界竜宮城からの歓待を受け、ふと我にかえって地上に舞い戻ったときはもう知る人ぞなく、ただ白い煙が…。
50	1011	かさじぞう	お正月の支度をしに町へ出たおじいさんですが、雪にまみれたお地蔵さまを見過ごすわけにはいかず、商売ものの”かさ”を全部かぶせてあげたのです。その夜、お地蔵さまがおじいさんの家へお礼にやってきました…。
50	1012	きっちょむさん	とんちとおとぼけで、強い者をへこませるきっちょむさんの活躍話で、きっちょむさんは三百年ほど前に実在した人物がモデルの、九州は大分県地方に「吉四六話」という民話のもとになっています。
50	1013	にげだしたライオン	ある夜、火事が起こってサーカスから、ライオンが逃げ出しました。でも、どうしてライオンは逃げ出したんでしょう？やさしい笛の響きは猛獣使いのムチよりも強かった 美しいものは乱暴なものよりも強いというねらいです。
50	1014	マッチ売りの少女	一本のマッチを燃やして、それが燃え尽きるまでのさやかな幸せを夢見るヒロイン。見終わった後、哀れで美しい一人の少女の死は、恵まれている現代の子どもたちにどう残るでしょうか。
50	1015	カンガルーのルーおばさん	カンガルーのルーおばさんは、子どもが成長して、お腹の袋が空いたので何か仕事をしようと考えました。そこで、思いついたのが「預かり屋」さん。お腹の袋を利用して何でも預かることにしたのですが…。
50	1016	おばけをてんぷらにしたたべた兄弟	力持ちで怖いものなしのダイジャンと、臆病で弱虫のチイジャン兄弟が肝だめしに出掛けました。兄のダイジャンは次々登場するおばけがおかしくて仕方なく、とうとう天ぷらにして食べてしまいます。
50	1017	ぼーん	「ぼーん」とけたた小石が、モグラ、ネコとあたって弾んでいく空想への入口、それは帽子から、旗の列、高い塔から地球を、宇宙へ飛ばす力にふくらんでいきます。
50	1018	おともだちいっぱい (入園式)	かおりちゃんは4歳のかわいい女の子。昨日入園式を済ませて、今日から元気に登園です。でもはじめての園は、かおりちゃんの知らない子ばかりです。
50	1019	どうしてこいのぼりあげるの	けい子ちゃんはどうれしくてしょうがありません。なぜって、もうすぐ赤ちゃんが生まれ、おねえさんになれるからです。そして近づくこどもの日には赤ちゃんに…。
50	1020	さっちゃんのカーネーション	おかあさんが急病で入院しました。さっちゃんは大忙し。だって、おかあさんの代わりにする仕事は、とてもたくさんあるんです。そして母の日、さっちゃんは…。
50	1021	はぶらしシュシュシュ	歯を磨くのにあきたゆみちゃん。はぶらしさんは、ある夜ゆみちゃんにさよならを言いました。すると、黒い小人がたくさんやってきて、みんなでゆみちゃんの歯を…。
50	1022	たなばたのおはなし	ある日、男の人が海の近くを歩いていると、とてもきれいな着物が松の木にかかっていた。あまりにきれいなので男の人はその着物がほしくてたまらず…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1023	おつきさまとうさぎ (十五夜)	きれいな十五夜です。ケンちゃんたち、なかよし三人は、お話のおばあちゃんの家でお月様の話をじっと聞いています。「むかし、むかしインドという国に…」
50	1024	やまんばの木	人間と友だちになろうとしたやまんばは、山のふもとのもすけの小屋に出かけます。でももすけは怖がって近づいてくれません。大あらしの日、やまんばはもすけの一家を救うために竜と戦い、死んでしまい…。
50	1025	さるじぞう	さるたちがおにぎりを食べてしまいました。でも、おじいさんは、さるを驚かすまいと、じっと立っていました。すると、さるたちにお地藏さまと間違えられ、川を渡り、お堂の中へおさめられて、宝物をもらいます。
50	1026	みんなでつくったつちのやま	こうじとごろうが、新しいシャベルとバケツを持っておいなり山に遊びに行きました。土の山を作っていると、きつねがやってきて、葉っぱを頭にのせて、ブルドーザーに早変わり。あっという間に大きな土の山を作ってしまい…。
50	1027	ふなのこぴょんた	川の中で、ふなのおかあさんが、子どもたちに飛ぶ練習をさせています。でも、ぴょんた一人とべません。そんな時、魚つりの人が来て、ぴょんたは釣り上げられてしまいます。バケツの中でぴょんたは…。
50	1028	おばあさんとペリカン	おばあさんが湖から拾ったたまごからペリカンが生まれました。ペリカンのユリーは、おばあさんのピアノにあわせてダンスを踊るようになり、めずらしいので大評判になります。ところがそんなある日…。
50	1029	やっpegらん	こうさぎのラビちゃんがおかあさんとピクニックにきました。木に飛びついたり大きな木の根っこを飛び越えたり、ピョンピョン飛んで大喜び。次に小川を飛び越えようとして、もう少しのところまでポチャン！ラビちゃんにお母さんは…。
50	1030	ひとりぼっちのゆきだるま	おじさんが作っておいた小さな雪だるまは、夜になるとさびしくてたまりません。友だちを探して歩いていると大きな雪だるまたちが集まって楽しそうに歌ったり踊ったり。ところが小さな雪だるまは仲間に入れてもらえません。
50	1031	かいぶつねんどこ	おじいさんの作ったねんどの人形が突然動きだし、おじいさんとおばあさんを飲み込んでしまいます。ガッポガッポと外に歩いていくと、二人の若い娘が歩いています。「やいやい、おれはねんどこさまだぞ！」
50	1032	ふきだせ みず！ (モンゴル民話)	水に困っている砂漠に近い村。その村人のために、おじいさんは井戸を掘り始めますが、うまく掘ることができません。やがて、その仕事はお父さん、子どものタヤンに受け継がれていきます。そしてタヤンの代になって…。
50	1033	はるをみつけた	冬の日のこと、臆病者の年寄りうさぎのげんじいは、川に落ちた子うさぎを助け出します。ところが弱ってしまった子うさぎは、春の来る前に死んでしまうというのです。げんじいは子うさぎのために勇気を奮い起こして…。
50	1034	なくなかわいのおさとちゃん 前編	おさとちゃんが小さい時、城づくりにかり出されたおとうは、土砂崩れで死んでしまい、おかあは殿様の家来にさらわれてしまいました。ひとりぼっちになったおさとちゃんは、おかあとおとうをお城まで探しにいきますが…。
50	1035	なくなかわいのおさとちゃん 後編	なんということか！おさとちゃんを助けた男の人は、死んだはずのおとうだったのです。おさとちゃんとおとうは、おかあと村人たちのかたきをうとうと、殿さま目がけて力強く矢を放ったが…。
50	1036	はずかしがりやの だまりんちゃん	入園したばかりのまりちゃんは、とてもはずかしがりや。お友達と遊びたくても、仲間に入ることができません。大勢の子どもたちの中で、とまどっているおとなしいまりちゃんを、みんなはだまりんちゃんと呼びます。
50	1037	こいのぼりのぼうけん	ひかり組の子どもたちは、こいのぼりを作りました。お空にあげると、あっ！風に飛ばされてしまいました。こいのぼりは、雲の中をとって遊園地へ、そして車がたくさん通る大都会につきました。
50	1038	はのいたいおまわりさん	おまわりさんの吉田さんは、朝、目を覚ますと歯が痛くてしかたありません。そのおっそろしい顔！バイクに乗ってスピードを出していたお兄さんも、登園中の子どもたちも、吉田さんの顔を見ると「キャー！」

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1039	てんとうむしのなかまさがし	仲間たちにおいてきぼりにされた、一匹のテントウムシは、仲間たちののいを頼りにあとを追います。途中、出会ったキリギリスやミノムシに仲間たちの行先を尋ねますが、みんな知らん顔。
50	1040	わたしのちいさなはたけ	庭の片隅に作った小さな畑。土を耕し種をまくと、小さな芽が出ました。水をやったり、世話をつづけると大きくのびて、やがて豆がたくさんになりました。豆を茹でるいいにおいにつられた動物たちは…。
50	1041	ごめんねだまりんちゃん	あしたは運動会。ロボットの入場門もできあがりしました。みんなのいないホールで、まりちゃんが赤組ロボットにバッジをつけていると、それを横取りしたてっちゃんは、ロボットを倒してしまいます。
50	1042	もぐらのモック	もぐらのぼうやモックは、おかあさんの元を離れて一人だち。土の中を体中をシャベルのようにして掘り進みながら、えさを探します。「あっ人間の子にみつかりそう！」
50	1043	右むけホイ 左むけホイ	おじさんの作ったロボットは、話もできるし、自由に歩き回ります。ところが交通規則を守らないので、飛び出しをして、車にひかれてしまいました。ぺちゃんこになってしまったロボットのかわりに第2号を作って…。
50	1044	サンタさんはおおいそがし	サンタクロースのおじいさんは、世界中の子どもたちにあげるクリスマスプレゼントを作るのに、一年中大忙しです。いよいよクリスマスが近づいたとき、また赤ちゃんが生まれて、プレゼントを考えて…。
50	1045	つるのねんがじょう	寒くなる前に南の国へ渡ろうとしたつるさんは、耳の短いうさぎさんから、年賀状を頼まれました。仲間から遅れてしまったつるさんが、一生懸命飛んでいくと、突然ワシがあらわれて追いかけてしま…。
50	1046	だまりんちゃんだいかつやく	山の上で凧揚げ大会の日、みんなは先を争ってのぼります。そんな時、いつでもどりになるのは、まりちゃんです。でも、てっちゃんの大失敗を助けたり、転んだようこちゃんをなぐさめたり、優しい心遣いで大活躍。
50	1047	なきむし三にんぐみ	入園したばかりの頃、泣いてばかりいたやすお、かつゆき、あきこの三人組。三月になって、新入園児のためにみんなで大掃除をします。涙のしみのついた引き出しを見ながら思い出話をするうち、三人はなにやら相談しはじめ…。
50	1048	みんなでつくったおひなさま	幼稚園のあきらくんの組では、みんなおひなさまを作っています。もうすぐ卒園なので、他の組の人も呼んで、みんな一緒におひなまつりをする準備です。
50	1049	むかしむかしおにがきた	ずーっと、昔のお話です。京都の山奥に、こわーい鬼が住んでいました。この鬼は町へ出てきて大あばれして、人びとを困らせていました。そこで…。
50	1050	うんどうかいってたのしいな	明日は運動会です。跳び箱、マット、フォークダンスとみんなそれぞれ一生懸命練習しています。おやおや、一人、つまらなそうに見ている子がいますね。
50	1051	いちばんはじめのサンタクロース	ずっと昔、遠い北国の森で、年とったきつねが、サンタ・ニコラスに会いました。この人はトナカイの引くそりに乗って、貧しい人たちに贈り物を届けていたのです。
50	1052	七五三おめでとう	今日は七五三。五才になったタンちゃんは、うれしくてしかたがありません。きれいな着物を着て歩いていると…「ウェーン」おや、泣き声が聞こえてきました。
50	1053	コロちゃんのえんそく大さわぎ	クマのコロちゃんは、幼稚園の遠足で梨もぎに来ました。でも、コロちゃんは八チの巣をとろうとしていますよ。おこった八チが追いかけてきて、みんな大さわぎ。
50	1054	ふくろうのそめものや	カラスはなぜ真っ黒なのか、ふくろうはどうして夜起きているのか。物語は、染め物屋のふくろうとおしゃれなカラスの歯切れのいいかけあいを中心にリズムカルなテンポで展開していきます。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1056	空とぶカバン	一文なしの若者をかわいそうに思った人がカバンをくれました。若者は入れるものがないので自分が入って寝ることにしました。そこで、ふたを閉めようと錠にさわると若者を乗せたままカバンは空を飛び始めました。
50	1057	赤ずきんちゃん	「おばあさんの耳、いつもよりずっと大きいわ」「これはお前の声をよく聞くためさ」おばあさんに化けたおおかみと、赤ずきんちゃんのやりとりの場面では、おおかみになったつもりで演じてみてください。
50	1058	きんいろきつねのきんたちちゃん	幼くして母親が人間に撃ち殺された金色子ぎつねが、のどかな住みかをも人間に奪われ、その人間に飼われたある日、懐かしい母親のニオイをかぐ。そして、そこで出会ったのはなんと人間の首に巻かれた母の姿でした。
50	1059	はのいたいモモちゃん	甘いお菓子を食べすぎて虫歯になったモモちゃん。虫歯はどうしてできるのか、歯医者さんはこわいところじゃありませんよといったことをさりげなく教えてくれています。
50	1060	チョコレートせんそう	あきらくんとこういちくんが商店街のケーキ屋のショーウィンドウにあるチョコレートのお城をのぞいていると、突然目の前のガラスが砕け散りました。思わず逃げようとした二人を店員が捕まえて…。
50	1061	あらまあおばさんのかさ	「雨はどうして降るのかな?」「降った後、どこへ行くんだろう?」あらまあおばさんが魔法の傘をぴゅんとふって、大きくなったり、小さくなったりしながら雨を追いかけていきますが…。
50	1062	したきりすずめ	むかし、山で拾った子すずめを大事に育てているおじいさんがいました。ある日、おじいさんとおばあさんの留守中に、おなかのすいた子すずめは、しろいのりを全部食べてしまいました。それを見つけたおばあさんは…。
50	1063	たまむしひめ	両親と死に別れた孤独なたまむし姫を主人公に、小さな虫たちの世界を舞台に繰り広げられる、とてもさびしくてとてもやさしくて、そして最後は心ほのぼのとする物語です。
50	1064	うしかたとやまんば	牛のせなかにたくさんの塩じゃけをつんだうしかたが山道を歩いていると、目の前に山んばが現れました。魚をくれという山んばに一匹ずつ与えてしまい、とうとうなくなってしまっ…。
50	1065	ふしぎのくにのアリス	川のそばの草原におねえさんと座っていたアリスは、急に眠くなりました。すると、目の前に白いウサギがあらわれました。アリスはおもしろくなってウサギの後を追います。
50	1066	みにくいアヒルの子	姿がみにくいばかりに母親からも嫌われるアヒルの子。やがて自分が美しい白鳥になっていることを知るという結末は、子どもたちの心に希望を持つことの大切さを教えます。
50	1067	おばけのゆらとねこのにゃあ	おばけとねこ、ずいぶん変な取り合わせですが、このふたり(二匹?)は大の仲良し。人間社会へ冒険に出かけて最後にはめでたく結ばれ、かわいいふたごの赤ちゃんまで生まれるのです。
50	1068	あり	さっさっさっ…ありが地面を掘っています。おやおや、何をしているのかな? おうちを作ってるんだって。登場するのは小さなありが一匹だけ。このありくん、意外なところでお家を作っているのです。
50	1069	コンちゃんのおかしな一日	穴から絵の一部分をのぞくのは、視点の集中というねらいです。時計の示す時刻は朝から夕刻まではっきりとしています。その画面は何やら謎めいています。誕生日だったという一日の謎解きの過程を楽しめます。
50	1070	かもとりごんべ	「ごんべはどれだけ獲物をとりましたか」紙芝居が終わったら聞いて、声を出して一緒に数えてみてください。貧乏なごんべの”ついで”一日。そのラッキーぶりを単純に喜んでください。
50	1071	ゆきおんな	おじいさんの”もさく”と若者の”みのきち”という二人の木こりは、山へ仕事に行った帰り道、すごい吹雪におそわれました。二人は川岸の小屋で一晩過ごすことにしました。眠っていると真っ白い着物を着た女の人があられ…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1072	ききみみずきん	正直者で働き者の貧乏な若者が、氏神さまから鳥の言葉がわかる”ききみみずきん”という赤いずきんをもらいました。さっそくうるさく鳴いているカラスの言葉を聞くと…。
50	1073	おおかみとひつじかい	毎日おなじことをして飽きてきた羊飼いの少年はみんなをびっくりさせるようなことをしたいと考え、遠くにいるお百姓にオオカミが出たとウソをつくことを思いつきます。
50	1074	ながぐつをはいたねこ	死んだお父さんから、一番末の息子のもらった財産はたったのねこ一匹。ところがそのねこが大活躍！
50	1075	バナナのかわですべったら	もしも…という仮定を次第にエスカレートさせていく想像遊びです。さるのモンキッキがバナナの皮をふんずけてべたん！モンキッキは考えました。バナナの皮を捨てていたらどうなっちゃうのかな…。
50	1076	おちていたレンズ	森のはずれの坂道にキラキラ輝きながらレンズが落ちていました。でも、きつねもさるもこれがレンズだとは知らないのです。「氷だろう」「いやいや、おせんべいだよ」と集まってきた森の動物たちは大さわぎ。
50	1077	しっぽのほし	夜空にはたくさんの星が輝いていますが、そんな星の世界を舞台にした楽しいお話。ひとりの女の子がライオン座のしっぽの星を捨てたことから物語は夢の世界へ…。
50	1078	はちかつぎひめ	病気で母を亡くした姫は死んだ母のいいつけを守って、おおきなはちをかぶっていました。新しくきた継母ははちをかぶっている姫をいやがりいじめます。姫は悲しくてお母さんのお墓に行き泣いていると…。
50	1079	びんぼう神	仲の良いおむこさんとお嫁さん。一生懸命働いてもちっともお金持ちになれません。なぜって、二人の家には”貧乏神”が住みついていたからです。でも、優しい二人は貧乏神を追い出すなんてことはしないどころか、なんと…。
50	1080	さるのおむこさん	山の畑にごぼうをぬきに行ったおじいさん。しかしなかなかぬけないので、思わず「このごぼうをぬいてくれた者に娘を嫁にやる」と言ってしまいます。するとそこへサルがあらわれて…。
50	1081	アリババと40人のとうぞく (アラビアン・ナイト)	アリババはもうもうと砂煙のあがるのをみて、その近くの木のかげにかくれていると、大きな岩の前に大人数の盗賊が40人やってきて、盗賊のかしらを大きな声で「ひらけ、ごま！！」というと、大きな岩が動いて…。
50	1082	かえるの旅行家	「大空を飛んでみたい！」と夢みる一匹のかえる君が、飛行機ならぬ二羽の鴨と一本の棒きれでその大空へ処女飛行を！ところが初めて飛んだ得意な気持ちと、自分の思いつきを誇りたくなる気持ちがあまりにも強すぎて…。
50	1083	つくえのうえのうんどうかい	夜、みんなが寝てしまった後、棚の人形やおもちゃが動き出し、しゃべったりかけっこしたら…？ぬいぐるみのイヌ、セルロイドのカップ、粘土のタヌキ。子どもたちに親しみある人形たちの活躍です。
50	1084	しあわせごうごーごー	「しあわせって何だろう？」一言では言い表せられない難しい問題です。物語の主人公のあっちゃん”は”しあわせ村”へ向かって旅をはじめます。ところが思いもかけない大事件に巻き込まれてしまいます…。
50	1085	○まる さんかく しかく	このお話は、一種の”形遊び”です。主人公は子どもたちの大好きなつみ木。つみきがはいっているつみ木箱とそれにいたずらネズミがからんで…。
50	1086	まるめてのばして	赤と黄色と青の、大きな三つのねんど山がありました。おやっ、その山から、青ねんどと黄色ねんどが飛び出してきて、キュッキュッと混ざりはじめましたよ。緑色になったねんどは、ケロケロうたうたカエルにさんになって…。
50	1087	こびとのエノッグ 造形教育	ケンちゃんが、大きな白い画用紙に、絵具で何か書こうとしています。ポタ、ポタ、ポタ…筆のしずくがたれると、おやおや、絵具の精の小人、エノッグがあらわれました…。 えのぐ遊び

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1088	そらとぶてがみ	山に春がきたので、山の仲間パーティーの招待状を書いて、紙ひこうきにして飛ばします。最初に読んだねこさんは、また別の紙ひこうきをつくって飛ばします。紙ひこうきはいろいろに形に変えて…。 紙ひこうき
		造形教育	
50	1089	なにになるのかな	七色の色紙が勢ぞろい。赤い紙と黄色い紙がちぎれてリングができました。空からちぎり紙の雨が降ってくると、リングはまたちぎれて、カサになりました。 ちぎり紙
		造形教育	
50	1090	ぼうしでへんしん	お留守番をしていたサヤちゃんにお兄ちゃんが、新聞紙でいろいろな帽子を作ってくれました。最初は消防士の帽子、次は看護婦さんの帽子。そこで二人は消防士と看護婦になって遊びます。 新聞紙の折紙
		造形教育	
50	1091	バックさんチューブくん	ひまわり通りのとこやさんには、空っぽになったバックさんたちがやってきます。納豆のバックさんが、カメさんに変身しましたよ。卵のバックさんもバスになってお客をたくさん乗せて走っています。 廃品利用
		造形教育	
50	1092	みんなってなあに あつまれってなあに	こぐまのプーちゃんやこざるのキッキちゃん、こりすのチョコちゃんたちが白くま保育園に入園しました。白くま先生が「さあ、みんな集まって」と呼びます。ところがみんな知らん顔。「先生、みんなってなあに？」
50	1093	ことりとうばん	ピーコとチーコは、がくちゃんたち、やぎ組の小鳥です。みんなで順番に世話をしているのですが、大勢いるので、なかなか当番が回ってきません。小鳥の大好きながくちゃんは、ようやく明日が小鳥当番なので、大喜び。
50	1094	だってだってさん	好きな物しか食べないし、運動するのが嫌いなひさしくんは、誰よりも大きくて太っています。ブランコもシーソーも、ひさしくんが重すぎてうまく動きません…。
50	1095	たなばたものがたり	高い空の上の天の川の兩岸に、布を織る織姫と、牛を飼う彦星がいました。天の神様の勧めで二人は結婚しますが、仲が良すぎて遊んでばかりいます。そこで神さまは怒って二人を別れさせ…。
50	1096	ざりがにマッカチン	保育園のお友達は近くの池へ、ザリガニ取りに出かけました。アミでは釣れませんが、そこで次の日、さきいかやパンを釣り竿につけると、かわいいザリガニがとれました。元気なまことは、杭の上を歩いていると…。
50	1097	そらをとんだはさみ	日曜日の保育園では、道具たちが働いています。クレヨンがひまわりを書く、はさみがそれを切り抜きました。本物と見分けがつかないくらい、上手にできました。外に出ると、トンボがクモの巣にひっかかって…。
50	1098	コボンちゃんのうたどけい	トントコ山に住んでいる、たぬきのコボンちゃんが、村の秋祭りに出かけました。花火に見とれているうちに、おさるのタンタ、きつねのポーポとはぐれてしまいます。まいごになったコボンちゃんは…。
50	1099	ちいさなトーイングカー	ちいさなトーイングカ のルルくんは、毎日飛行場でお客さんの荷物を運ぶ仕事ばかり。体が大きい仲間のプル君は飛行機を引いているので、うらやましくてたまりません。
50	1100	ゆきむすめ (ロシア民話)	子どものいないおじいさんとおばあさんは、雪で娘をつくりました。可愛い元気な女の子です。ところが冬が過ぎ、春が来て、お日さまが輝き始めると、急に元気をなくしてしまいました。
50	1101	ねぼすけこびと	ねぼすけこびとが4人。眠ってばかりいるので誰かが起こしにきました。はじめに来たのは太鼓くん。ドーンドン大きな音で起きたこびとはたった1人。次にはおばけが時計を持ってきて…。
50	1102	いろのふしぎ	何にでも色がありますね。だけど、暗くなるときれいな色はなくなります。それは、なぜでしょう？あなたは、夕立の後、七色に輝いている虹を見たことはありませんね。なぜ、虹はできるのでしょうか。
50	1103	きんちゃんのたね	卒園の記念に、きんちゃんの園では、花の種を風船につけて、飛ばしました。春、早い時に種をまいて、夏に花が咲くように、街中が花いっぱいになるように、と一斉に風船を飛ばします。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1104	アカネちゃんとマコトちゃん	今日はアカネちゃんのお誕生日です。ママがアカネちゃんを抱こうとすると、「ママきらい、マコトちゃんすき」って、アカネちゃんは言いました。ママはびっくり、さっそくマコトちゃんを見にくまさんと園にでかけます。
50	1105	ぶたさんおでかけ	ぶたコンクールで優勝したぶたさんが、ビッグスキー王の招待でホランダア国へ。無事ホランダア国へ着くのですが、どうも様子がおかしい。実は、王様には他のねらいがあったのです…。
50	1106	ふるやのもり	NO.307同内容。子馬を飼っている家に、おおかみと馬泥棒が忍び込み、子馬を盗みだそうと息をひそめていました。するとじいさまとばあさまの話し声が聞えてきて「この世で一番怖いものはふるやのもりだ」といいます。
50	1107	コアジサシのおやこ	海岸の荒地にコアジサシという水鳥がやってきました。コアジサシは砂地に穴を掘って、たまごを三個産みました。二十日ほど、母鳥はたまごを温めつづけました。すると小さなヒナがうまれました。
50	1108	うみのはなし	海の水をなめてみると、とても塩辛いですね。それは、なぜでしょう？地球の四分の三も占める、広くて大きな海。そしてさまざまな生き物が住んでいる海。とても不思議な不思議な海のお話です。
50	1109	なぞなぞむこどん	長者どんには美しいひとり娘がいて、三つのなぞなぞがとけた者を、婿に選ぶことにしていました。ある日、一人の若者がきました。若者がむずかしいなぞにゆきづまっていると、ヒントをあたえる子守唄が…。
50	1110	くじらのしま (原作：新美南吉)	小さな島に貧しい村がありました。ある日、沖に親子のくじらがあらわれ、久しぶりの漁に村中がわき立ちました。幸吉のお父うは、うち手の先頭に立ってくじらとたたかい、大きな獲物とひきかえに波間に消えてしまい…。
50	1111	がんばれモグラン	小さなかわいい、怪獣モグランは、じめじめとした土の中で暮らしていましたが、ある日の事、土の中の生活がいやでたまらなくなったモグランは、風と星のある地上の生活を夢見て冒険に出かけました。
50	1112	マッチうりのしょうじょ	貧しいマッチ売りの少女は、クリスマスの夜、あたたかな光のもれる窓の外で寒さにふるえ、売れ残ったマッチに火をつけました。すると、炎の中におばあさんがあらわれ…。
50	1113	きんのとりのうた(前編)	昔、戦好きのひどい王さまがいました。税のかわりに、まずしい母子が大切にしていた「きんのとりのうた」を奪い、母子を城へ連れて行く途中で、子を捨ててしまいました。まだ赤ん坊の子どもは、きんのとりの不思議な力で…。
50	1114	きんのとりのうた(後編)	若者になったトウリンは、きんのとりにのって城へしのびこみます。牢屋の母を助け出しますが、兵に見つかってしまいます。火矢が空を焼き、きんのとりにのった母子にも迫りますが…。
50	1115	はるよこい	山も森も一面の銀世界です。ある日、りすとうさぎときつねとくまは、春を呼びました。すると、お日さまが顔を出し、雪がとけて、草の芽が顔を出しました。動物たちは大喜びです。でも、やっぱりまだ冬です。
50	1116	はなさかじい	NO.394と同じ資料
50	1117	ももたろう	NO.395と同じ資料
50	1118	さるかにがっせん	NO.396と同じ資料
50	1119	ぶんぶくちやがま	NO.397と同じ資料
50	1120	うらしまたろう	NO.399と同じ資料
50	1121	したきりすずめ	NO.398と同じ資料
50	1122	おむすびころりん	NO.784と同じ資料
50	1123	かぐやひめ	NO.785と同じ資料

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1124	かさじぞう	じょいさ、じょいさ、じょいさ。何か重いものを運ぶような声がします。おじいさんとおばあさんが雨戸をあけると、なんと！
50	1125	かちかちやま	NO.787と同じ資料
50	1126	いっすんぼうし	NO.788と同じ資料
50	1127	つるのおんがえし	NO.789と同じ資料
50	1128	こぶとりじいさん	NO.790と同じ資料
50	1129	だらしのない子ちゃん	NO.51と同じ資料
50	1130	こいのぼりのえんそく	NO.52と同じ資料
50	1131	パンやと王さま	NO.53と同じ資料
50	1132	おりひめとひこぼし	NO.54と同じ資料
50	1133	タンタラタンタン子ちゃん	NO.517と同じ資料
50	1134	にげだしたパンツくん	NO.529と同じ資料
50	1135	王さまとことりたち	NO.530と同じ資料
50	1136	うさぎとながぐつ	NO.531と同じ資料
50	1137	おばけのふわり	NO.532と同じ資料
50	1138	おさるのこいのぼり	NO.567と同じ資料
50	1139	おたまじゃくしの101ちゃん	NO.967と同じ資料
50	1140	かめさんのふゆごもり	NO.968と同じ資料
50	1141	あさがおアパート	NO.969と同じ資料
50	1142	ありのぼうけん	NO.964と同じ資料
50	1143	せみがおとなになるとき	NO.965と同じ資料
50	1144	あおむしだれのこ	NO.966と同じ資料
50	1145	三日目のかやの実	NO.44と同じ資料
50	1146	ほしのおひめさま	NO.45と同じ資料
50	1147	少年と子だぬき	NO.46と同じ資料
50	1148	へんでもわらいっこなし	NO.47と同じ資料
50	1149	ねむらぬくに	NO.48と同じ資料
50	1150	おかあさんのはなし	NO.49と同じ資料
50	1151	とけいの3じくん	NO.50と同じ資料
50	1152	つるのおんがえし	NO.173と同じ資料
50	1153	ますとおじいさん	NO.174と同じ資料
50	1154	あらそい	NO.175と同じ資料

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1155	のぼら	NO.176と同じ資料
50	1156	たぬき学校	NO.177と同じ資料
50	1157	おくびょうなうさぎ	NO.168と同じ資料
50	1158	しょうじきなきこり	NO.169と同じ資料
50	1159	みにくいあひるのこ	NO.170と同じ資料
50	1160	ななつのほし	NO.171と同じ資料
50	1161	きんいろのさかな	NO.172と同じ資料
50	1162	うさぎのぼうや	うさぎのぼうやは、友だちのおたまじゃくしがカエルになったのを見てびっくり。ぼうは、大きくなると何になるのだろうと、不思議に思ったぼうやは、森や野原を駆けまわりいろいろな動物に聞きます。
50	1163	おにいちゃんってなんだろう	年長組になった大ちゃんは、家でも妹のくみちゃんが生まれて、おにいちゃんになったと、はりきっています。自分の布団を敷いたり、はじめはよかったのですが、園で年少組のこうちゃんのお世話を、さあ大変。
50	1164	けんちゃんなかよしになろう	けんちゃんは足の悪い男の子です。小さい時に高熱が出て、足が思うように動かなくなってしまいました。すぐ転んで泣いてしまいます。だから「泣き虫けんちゃん、だいさい」と、しんじくんからいじめられていて…。
50	1165	かにかいっぱい	潮が引いて、海辺に干潟ができました。ヤマトオサガニのやっちゃんは、穴から出て食事をとると、散歩にでかけます。コメツキガニ、チゴガニ、シオマネキなど、いろいろなカニの仲間に出会って…。
50	1166	あやちゃんのなつまつり	今日は楽しい園の夏祭りです。盆踊りに、夜店ではとうもろこし、おでん、わたあめ…。あやちゃんとゆたかくんは、すっかりいい気持ちです。でも、いよいよお化け屋敷のはじまりです。
50	1167	おにいちゃんちからもち	今日は待ちに待った秋の大運動会。年長組の大ちゃんたちは、段ボール箱で作ったキリンやゾウなどの動物を運んで組み立てるのです。ところが、おなかにいれた砂が重たくて、どうしても持ち上がりません。
50	1168	みつけたみつけた	お山のでっぺんでブドウ摘みをしていたもんちゃんは、ハッとびっくり、たちまちかけだしました。たぬきのぼんちゃんも一緒です。ところが川の橋がおちていたり、坂をころんだり大さわぎ。やっと二人が見たのは…？
50	1169	もう、まてないくん	マーくんは一人で留守番です。買い物に行ったおかあさんがなかなか帰ってこないで、学校から帰ってきたお姉ちゃんは、昨日のおでんの残りを見つけて食べ始めました。
50	1170	わすれんぼうのサンタさん	忘れんぼうのサンタさんは、最近特に忘れ物が多くて困っています。クリスマスの日、メモを片手にトナカイを連れて子どもたちにプレゼントを贈りに出かけますが、さあ大変！
50	1171	からだのたんけん	頭とおなか痛くなったタンちゃんは、病院で先生に診てもらいましたが、悪いところがみつかりません。そこで、タンちゃんと先生はタンちゃんの体の中を調べることにしました。
50	1172	おにとふくのかみ (節分)	昔、二つの山にはさまれた、ちいさな村がありました。寒い日が続くと、村人は春山のふくのかみに、暖かい風を頼みます。すると、ほわほわ…。これで仕事ができます。ところが北山の鬼が来て…。
50	1173	やっぱりおにいちゃん	年長組の大ちゃんは、もうすぐ一年生。すっかりお兄ちゃんらしくなりました。園で陣取り遊びをするときも、敵と味方がわかりやすいように赤白帽子をかぶることを考えだしました。ところが、大きな泣き声が…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1174	ちくたくてくのやまのぼり	ちく、たく、てくは、みつごのぶたです。ある日、ちく、たく、てくは山のぼりにでかけました。途中、三人のリュックを一人で背負い、バスが来たら代わる約束をしました。ちくが三つしょうとすぐバスが来ました。
50	1175	けがをしたくじらのクー	遊園地に遊びに出かけた、くじらのクーは、あまり重たいのでブランコからドスン。おなかをすりむいてしまいました。友達がタクシーを呼んでくれましたが、とても乗れません。
50	1176	きりのまちのかいじゅうくん	霧の朝、タローとアッコはねこのクロを連れて、探険に出かけました。霧の朝は、まるで魔法の国のようです。ところが、ギィ、ギィと奇妙なうなり声が聞こえます。声の方へ行くと…。
50	1177	おばけとやっちゃん	臨海保育へ出かけたやっちゃんは、おねしょのくせが心配です。一方、子どもたちの宿では、おばけのぼうやが、人間を驚かす練習をはじめようとするところでした。やっちゃんとおばけぼうやは、トイレでばったり出会い…。
50	1178	つんぶくだるま	子どもたちが、川へ流しただるまさん。とうとう海まで流されて、もう少しのところまで、ゆらゆら波にゆられて、眉も目だまもなくなってしまうところでした。ちょうど釣りに来た里のおじいさん、かわいそうなだるまさんを拾い上げ…。
50	1179	にじになったきつね	きつねのごろざえもんは、おなかですいたのでお地蔵さんに化けることにしました。子どもたちがお供えをあげると、我慢しきれなくなって、パクリ！子どもたちに追われて村はずれの家までくると、病気のおじいさんが…。
50	1180	かわをわたったあり	ありのターぼうとブンにいちゃんの巣が突然、ブルドーザーにくずされてしまいました。ありたちは行列を作って逃げ出しますが、その前に川がおせんぼです。もう前に進めなくなったブンにいちゃんたちは相談して…。
50	1181	おおきなだいこん	おじいさんが畑の大きな大根を抜こうとしますが一人では抜けません。そこで、おばあさんを読んで二人でひっぱりますが、抜けません。おばあさんが子どもを呼びました。でも、抜けません。子どもが犬を呼び…。
50	1182	らいねんは、なにどし	昔、中国の王さまが年ごとに動物の名をつけることにしました。知恵者の仙人はまず12匹の動物を選び、次に順番を決めるために競争させました。途中までは、誰もが予想した通りの順番でしたが…。
50	1183	とうちゃんとりものちょう 前編 かんすけしっばいのまき	かんすけのとうちゃんは、のんびりやおかっぱき。ある日、ふらりとパトロールに出た後、かんすけは道で酔っ払いにぶつかります。その男が落とした財布に、怪しげな絵地図が入っていて…。
50	1184	とうちゃんとりものちょう 後編 とうちゃんおおてがらのまき	かんすけを、空き家に閉じ込めた酔っ払いは、お尋ね者の海賊の一味でした。かんすけを探し回っているとうちゃんは、ふとしたことから、海賊の親分たちに出会います。
50	1185	たまごがいっぱいゆめいっぱい (原作:アンデルセン)	女の子は、たまごを持って町に出かけます。たまごを売ってにわとりかって、それからアヒルも、ひつじも、牛も、ブタも、そしてわたしは…と夢がいっぱいにひろがるのですが…。
50	1186	このつぎなあに	NO.508と同じ資料
50	1187	おとこのこになりたかった	NO.513と同じ資料
50	1188	ハナブラ子さんとかるたかい	NO.514と同じ資料
50	1189	おネコさんと金のくつ	NO.520と同じ資料
50	1190	かしのきホテル	NO.522と同じ資料
50	1191	トムとジムのあかいはね	NO.523と同じ資料
50	1192	かわうそのあかんぼう	NO.524と同じ資料
50	1193	おねえちゃんはやししょうさん	NO.525と同じ資料

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1194	こどものきらいな大おとこ	NO.526と同じ資料
50	1195	ネコちゃんの花	NO.528と同じ資料
50	1196	ともちゃんとうめいにんげん	NO.515と同じ資料
50	1197	やまのひなまつり	NO.516と同じ資料
50	1198	ひろったはぶらし	NO.519と同じ資料
50	1199	ロボットたいちょう	NO.557と同じ資料
50	1200	にんぎょのゆびわ	NO.558と同じ資料
50	1201	ほしとりきच्चよむさん	NO.560と同じ資料
50	1202	ごろうちゃんのかびと	NO.562と同じ資料
50	1203	ねことねずみ	NO.563と同じ資料
50	1204	リコちゃんと5にんの大おとこ	NO.564と同じ資料
50	1205	花のともだち	NO.565と同じ資料
50	1206	おくびょうなうさぎ	NO.537と同じ資料
50	1207	こいのぼりのえんそく	NO.52と同じ資料
50	1208	パンやと王さま	NO.53と同じ資料
50	1209	おりひめとひこぼし	NO.54と同じ資料
50	1210	タンタラタンタン子ちゃん	NO.517と同じ資料
50	1211	にげだしたパンツくん	NO.529と同じ資料
50	1212	王さまとことりたち	NO.530と同じ資料
50	1213	うさぎとながぐつ	NO.531と同じ資料
50	1214	おばけのふわり	NO.532と同じ資料
50	1215	おさるのこいのぼり	NO.567と同じ資料
50	1216	そらのいろはなぜあおい	NO.55と同じ資料
50	1217	しっぽのはみだし	NO.58と同じ資料
50	1218	おりがみのくに	NO.534と同じ資料
50	1219	ふしぎなきゅうり	NO.568と同じ資料
50	1220	はなをおったてんぐ	NO.570と同じ資料
50	1221	大りき大べえ	NO.571と同じ資料
50	1222	王さまの耳はロバの耳	NO.572と同じ資料
50	1223	ゆきの小うま	NO.575と同じ資料
50	1224	うぐいすのふえ	NO.576と同じ資料
50	1225	もうすぐーねんせい	NO.577と同じ資料

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1226	きいろいぼうし	たっちゃん、黄色い帽子が大好き。いつだってかぶっています。たっちゃんが森を歩いていると、動物たちが後ろにぞろぞろついてきます。帽子のせいかな？
50	1227	いいきもち	「のぶちゃんの口、いいにおい。ちょっとなめさせて。」ごはん食べても口をきれいにふかないのぶちゃんが外を歩くと、ねこや小鳥がやってきます。そのうちに犬まで…。
50	1228	ぱんをぱくぱく	こぶたのころすけ、いつも食べるぶたぱんのかわりに、うさぎぱんを買ってみた。ぱくぱく、ごくん、そのとたん、「あれえ？」ころすけ、うさぎになっちゃった。それなら…。
50	1229	おべんとうこわい	かっちゃんは、なんでも食べる元気な子。今日もお弁当の歌をうたいながら園に行きます。ところが途中の杉の木にかみなりどんが待っていて、「こらーっ！」
50	1230	かみなりさまとくわのき	買ってきたナスの苗を源五郎が植えると、あら不思議！一晩で天まで届いちゃったよ。するする登っていくと雲の上には親切なおじいさん。でも実はカミナリさまで…。
50	1231	シャボン玉ゆらゆら	大きなシャボン玉、ゆらゆら野原へ飛んでった。「ごちそうかな？」ウシさんが大きな口をあけると、鼻先でパチン。今度はもっと大きなシャボン玉、ゾウさんのところへ…。
50	1232	ねずみのよめいり	「この世で一番えらいのは誰だろう？」ねずみの親たちは、娘のチュウ子のおむこさんさがし。お日様は、「わたしより雲さんの方がえらいよ。」雲は「いやいや風さんさ。」
50	1233	ポタンこびと	ろんちゃんが町を歩いている公園にいっても、家に帰ってきてても、誰かが後をついてきます。でも、後ろをふり帰ると、だあれもいない。おかしいなあ…。
50	1234	きつねのおきゃくさま	ひとりぼっちで森に住んでいるおばあさんは、孫のみかちゃんが遊びにきてくれるのが一番の楽しみ。ある日、きつねのコンタも、それを見て、「ようし、ぼくも…。」
50	1235	こうのとりになった王さま 前編	「わっはっは。あっ、しまった！」あわてて口を押さえてももう遅い。王さまと大臣は魔法の粉でこうのとりに化けたのですが、変身中に笑うと人間に戻れなくなるのです。
50	1236	こうのとりになった王さま 後編	人間に戻る方法をさがす王さまと大臣は、古城でふくろうから、今夜魔法使いが集まると知らされます。こっそりのぞくと、魔法の粉を買った物売りがいるではないですか。
50	1237	あなの中のライオン	「ガオーッ、おまえを食べてやる。」「待ってくれ、ライオンくん。ぼくは君を、穴から助け出した恩人じゃないか。」旅人は大あわて。通りがかりのきつねはこれを聞いて…。
50	1238	コンスケくんのおたんじょうかい	「ぼくはプレゼントにいなりずしを20個持ってきたのに、ミミコちゃんはずっとの10個なんて、けちななあ。」タヌキちゃんに言われてミミコはしょんぼり。すると…。
50	1239	ホットケーキをたべに	どんぐり森に、赤いポストが一つあるんですよ。郵便のマークもちゃんとしています。動物たちはみんな、喜んで手紙を出しにくるんです。でも…。
50	1240	なまえをください	ひとりぼっちの野ねずみには、まだ名前がありません。野ねずみに名前なんぞいるものか、といって誰もつけてくれなかったのです。でも、野ねずみは名前がほしい。
50	1241	いたずらこがに	今日もこがには海の中で、はさみを振り回していたずらです。くらげをはさもうとして反対に刺されたり、たこに墨をふきかけられたり。ところが、そこへさめが…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1242	むしのびょういん	体が弱っているシオカラトンボを助けてやったら、夢の中で、虫の王様カブトムシがお礼を言ったよ。だからぼく、うれしくなって、虫の病院を作ることにしたんだ。
50	1243	三つのねがい	「こんなソーセージなんか、鼻の下にぶらさがるのがいい！」せっかく小人に叶えてもらえる二つ目のねがいは、こんな使い方では終わってしまいました。さあ、残るは一つ…。
50	1244	がんばれきかんしゃ	おじさんが、切った木を集めています。「僕たちも手伝ってあげるよ。でも、こんなにたくさんのお木を何に使うの？」こぶたのトンちゃんたちは聞きました。
50	1245	ペコペコおおかみ	おなかがペコペコのおおかみくん、食べようとしたカラスに「ほら、足元、足元。」言われて見ると、穴からねずみのしっぽがチョロチョロ。でもせっかく捕まえたのに…。
50	1246	くいしんぼうのカバ	カバの子のピボはお日さまが食べたくなくなりました。けれども、高い木に登っても、もっと高い山に登ってもお日さまには届きません。そこでピボは、谷底でお日さまを…。
50	1247	しりとりごっこおにごっこ	森の動物たちが町の遊園地へ遊びに行きました。魔法の家でくまがびっくり、大声をあげました。「あれ？これはなんだ？何かの魔法かい？」ねずみが笑って…。
50	1248	とけたゆきだるま	「さむがりやのネコさんも元気出して、みんなで雪だるまコンクールをやろう。」天使のポポが言いました。みんなは、一生懸命雪だるまを作ったのですが…。
50	1249	ノロさんとオムレツ	おなかぺこぺこのノロさん、「オムレツをつくらう」と、フライパンを火にかけます。ところがあつたはずのタマゴがありません。その時、ヘビがおなかをふくらませ…。
50	1250	やっとみつけた	やっとチョウになれたばかりのあげはちゃんは、おなかがすいていました。何を食べてもよいのかしらと、てんとう虫やモンシロチョウの後にくっついていきますが…。
50	1251	タポちゃんのたび	タンポポのタポちゃんは、やっと風に吹かれて空に飛び立つことができました。さあ、いよいよこれから独りで生きていかなければなりません。うまくやれるでしょうか…。
50	1252	かぶとむしのぶんた	「どけどけ。この木の汁はオレ様が飲むんだ。」かぶとむしのぶんたは大いばり。でも、あばれもののくわがたをやっつけると、他の虫たちに感謝されて少し照れくさそう。
50	1253	うみべのおともだち	海へ泳ぎに来たさるくんですが、水が冷たいといって砂場に寝転んでしまいました。すると、砂の中からカニくんが出てきて、自慢のはさみでチクリ、チクリと…。
50	1254	ピカリ、ゴロゴロ	「大きな雲だなー。」キツネのコンタがおつかいの帰りに入道雲を見ていると、「ぼうや、これは夕立の雲だから、早くお帰り。」とクマのおじさん。やがて空が暗くなり…。
50	1255	トンボになったヤン	ヤゴのヤンはしおからトンボの子ども。でも、「池の中では僕が一番強いんだ。」といばっています。ところがある日、ミズカマキリが「ヤン、にげるんだ！」
50	1256	たいふうがきた	「大変、大変！台風がくるよ！」はぜの木アパートに住むきじばとが、同じアパートののねずみのところへ知らせにきました。でも、のねずみは…。
50	1257	にぎやかなあきさがそう	かえるのピョコがとってもさみしがっているのを見て、友だちのピョンがなぐさめめます。お花を持ってきたり、鳴く虫を捕ってきたり。でもいつもへまばかりして…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1258	りすさんのどんぐりさがし	りすの親子が食べ物を探しに森にやってきました。木々はほどよく色づいてとてもきれいです。が、本当はもう落葉しなければならない時期なのです。
50	1259	さようならツバメさん	仲間は南の国へ行ったのに、けがで飛べないツバメがいました。動物たちと暮すうち、けがは治ったのですが、今度は寒くて飛べません。するとカモが言いました。
50	1260	クマさんのふゆごもり	「クマさんが食いしん坊の病気になっちゃった。」「もぐもぐ、ちがうよ。ぼくたちクマは冬中ずっと眠るから、今のうちにたくさん食べるのさ。」やがて冬がきて…。
50	1261	かまくらのおしょうがつ	「雪が降らなくてつまらない。」ジュンちゃんがいったので、雪のどっさり降るおじいちゃんのところへ行くことになりました。でも、雪がどんなに降るんでしょう？
50	1262	たすかったジョン (地震紙芝居 町中/ブロック塀)	カーン。ひろしちゃんが原っぱでホームランを打ったとたん、地面が大きく揺れだしました。「みんな中央に集まれ！」でも、犬のジョンはブロック塀の横ですくんでしまい、動けません。
50	1263	空からばらばら (地震紙芝居 商店街/落下物)	食いしんぼのぶうたがお母さんと買い物していると、ぐらぐら。窓ガラスのかけらや看板が雨のように道に落ちてきます。二人は急いでレストランに飛び込むと、テーブルの下にもぐって…。
50	1264	ぐらぐらきたよ うまくやれたよ後編 (地震紙芝居 教室/訓練の応用)	紙ひこうき折の競争をしていたタローくんたち、先生のいない間に地震が起こってしまいました。さあどうしよう！みんなは机にもぐりましたが、ゆみちゃんだけは泣き出して…。
50	1265	ぐらぐらくんれん うまくやれたよ前編 (地震紙芝居 園庭/避難訓練)	今日は地震訓練の日だというのに、何も知らないタロー君は、早とちりの失敗だらけ。けい子先生が、「外に出て下さい。」と言っているのに、タローくんだけ反対の方向に駆け出して…。
50	1266	けがをしたモンタ (地震紙芝居 園庭/揺り返し)	園のお庭で地震。「みんな真ん中に集まって。」おや、いたずら者のモンタがいません。「地震なんかへっちゃらさ。」と、すべり台の上で逆立ち。その時揺り返しがきて、モンタはとうとうドシーン。
50	1267	あっ、けむりがみえる (地震紙芝居 家庭/火事)	うさぎのピョンちゃんがおやつを食べていると、突然ぐらぐらっ。近所の動物たちは、みんな近くの原っぱへ。ところが、きつねのコンくんの家から煙がモクモク。「大変、火を消し忘れたわ。」
50	1268	なんきょくのタロとシロ	「犬たちはみんな死んでしまっただろうな。」一年後、昭和基地に着いた隊員は誰もそう思っていました。その後ろ姿を二つの黒いものがじっと見つめています。振り向いた隊員が目にしたもの、それはなんと…。
50	1269	ぎざみみウサギ (作:シートン)	片方の耳がぎざぎざなので“ぎざ耳”と呼ばれるウサギがいました。なぜそうなったのかお話ししましょう。子ウサギのぎざ耳は、ある日お母さんが留守の時に、おかしい音をききました。「おや？何だろう。」
50	1270	おともだちがほしい	「お友達が欲しいよう、こう、こう。」ひとりぼっちのさみしい白鳥にやっとうと友達ができました。魚のマスです。ところがある日、湖に釣り人がやってきました。「あっ友達を返せ、大事な友達を…。」
50	1271	ツルかえる (作:棕 鳩十)	毎年、冬になるとツルが渡ってくる場所があります。そこに、幼い兄弟がいました。ある日兄弟は、田んぼの中に子ツルを見つけました。子ツルは羽根にけがをしていて飛べないようです。そこで二人は…。
50	1272	がんばれアヌーラ (多摩動物公園)	象のアヌーラが病気になりました。看病も空しく、どんどん悪くなって、とうとう立ってられなくなりました。「もうだめなのか。」誰もがそう思った時、仲間の象のガチャコとたかこが意外な行動をとりました。
50	1273	しろいくびわのクマ	北の国の、大きな湖のそばに、一人のおじいさんが住んでいました。おじいさんは、森の番人でした。ある日おじいさんの小屋に向って、一匹のクマが走ってきました。クマの後ろには…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1274	カレーライスがにげだした	カレーライスは好きだけど、たまねぎ入れないで。にんじんいらないわ。じゃがいもなしにして。肉は大きらい。子うさぎたちの勝手な言い方に、とうとう、カレーライスの材料たちが怒りだしました。
50	1275	おべんとうのえんそく	おべんとうだってたまには遠足に行きます。おにぎり、おいなりさん、巻きずし、サンドイッチの4人がリュックサックをしょって歩いていると、向こうからも遠足の子どもたちがやってきます。
50	1276	おしゃれなケーキのケーコさん	ケーキだからって、食べられたくないの。おしゃれだってしたいし、みんなからキレイってほめられたいもの。あたしはできたてケーキのケーコさん。町の中にはお花やレース、すてきなものがいっぱいあるわ。
50	1277	たまごはかせともじゃもじゃ	たまごはかせは、自分の顔が気に入りません。「どうして、わしの顔は、つるんとしているのかなあ。助手のライオンくんのように、もじゃもじゃがたくさんあったら、りっぱに見えるのになあ。」そこではかせは…。
50	1278	ポテトサラダのすきな王さま	サラダばかり食べてる王さまがいました。それもポテトサラダだけを山ほど食べるので、国中のじゃがいもは一つ残らずお城の倉庫に集めて番兵に見張らせているのです。そんなある日…。
50	1279	おばけのスパゲッティ	スパゲッティを食べくらべしよう。おれ様が勝ったら、ぱくっと食べてしまうぞ、そう言って、森に来た者をおどかす変なおばけがいました。ところが、こぶたのピコくんはちっともおどろきません。
50	1280	外の御前と白蛇の話 (相模原のふるさと紙芝居) 相原	外の御前という宮のまわりに昼間でも薄暗い森があり、この森の北側にある日かげ村の人たちは田んぼや畑が日かげになり困っていました。そんなとき、御前の宮が白蛇によって壊されます。宮番の三造は蛇を追っていき…。
50	1281	ばんばあ石とじんじい石の話 (相模原のふるさと紙芝居) 田名	信心深い弥兵は、ばんばあ石とじんじい石を川底から探し出し、八幡様の境内に安置しました。日照りの夏、雨ごいのため、ばんばあ石は川へ投げ込まれ、大雨を降らせましたが、その後行方知らずとなり…。
50	1282	神沢のふしぎな鏡の話 (相模原のふるさと紙芝居) 大島	相模川に近い大島村の秋祭りの日、お神輿をかついで河原へ向かう途中にある滝のところで、滝つぼの底から、キラキラと輝いた美しい鏡が見つかりました。お祭りの前夜、村の若者・三蔵の夢の中に神様があらわれ…。
50	1283	みつめ入道と あずきとぎおばばの話 (相模原のふるさと紙芝居) 番田	番田に住む太郎兵衛と次郎兵衛は仲の良い兄弟です。父親の太郎右衛門は、働き者だが酒癖が悪く、とうとう母親は石橋の実家に帰ってしまいました。夜になり、兄弟は酒屋へ行きその帰る途中、入道に会い…。
50	1284	おいしやりの水 (相模原のふるさと紙芝居) 当麻	今から700年ほど昔、稔り豊かな当麻で、80日を越える日照りが続きました。田畑は枯れ、飲み水も危うくなり、村には伝染病さえ出始めました。弱りきった村人は、阿夫利神社に祈願し、大々的な雨乞いを行いました。
50	1285	むじな坊主 (相模原のふるさと紙芝居) 上磯部	昔、上磯部の「まんじ屋」という大きな酒屋に、建長寺の大雲と名乗る坊さまの一行がやってきました。「まんじ屋」の主人は恐縮して丁寧にもてなしますが、いざ風呂に入る段になると坊さまは「決してのぞくな」と言い…。
50	1286	皇武神社のおきぬさま (相模原のふるさと紙芝居) 淵野辺	淵野辺の皇武神社のそばに、信心深い、加助さんとおたまさんというお百姓さん夫婦が住んでいました。ある春のころ、おたまさんが突然真夜中に苦しみだしました。医者にみせると、当分の間安静にしているように言われ…。
50	1287	火の坂下のためきぼさつ (相模原のふるさと紙芝居) 田名	田名の久所に火の坂という所がありました。この火の坂のあばら屋に、おばあさんが一人ですんでいました。ある冬の夜、一匹の古狸がやってきて、いろりのそばにごろんと横になっていびきをかき…。
50	1288	ちいさいおうちのはなし (原作: パートン)	明るい空、澄みきった風、草花が咲きほこり、小鳥がうたう、そんなのどかなところに建っていた小さい家でしたが、道路が整い、車が行き来し、どんどん開発されて、周り中ビルだらけ。高架線や地下鉄も通るようになって…。
50	1289	くま太郎のかくれんぼ	くまのくま太郎は、とってもねぼすけ。今日も、天気がいいのにふがふが。さるやたぬきが呼びに来て、まだねむたーい顔。かくれんぼを始めても、まだまだ寝ぼけています。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1290	けんたのたんけん	けんたくんは、学者のおじいちゃんと一緒に、遠い外国へ探険に出かけました。外国の村に着くと、村長さん達に迎えられ、まものまもの山へ出かけることになりました。奥深く、ひんやりした不思議なほら穴の中を進んでいくと…。
50	1291	きつねのごんたろう	どろぼうのきつねのごんたろうは、お芋を盗んで暮していました。けれど、お芋に飽きたごんたろうは、今度はニワトリ小屋に卵を盗みに入ります。目玉焼きが食べたくなったからです。
50	1292	ジャングルのたね	さなえちゃんがお花のタネをまこうとしているところへ、不思議なタネ屋のおじさんが通りかかりました。おじさんにもらった「ジャングルのたね」をまくと、よきよき、熱帯のいろいろな木が生えてきて…。
50	1293	ひとつめ	めったに人の通らない山奥に、三つ目の親子が住んでいました。息子のさんきちの意気地なさを直そうとした両親は、さんきちに肝試しをさせることにします。満月の夜、両親はさんきちを、おばあちゃん家へ行かせ…。
50	1294	やまなし (原作：宮澤賢治)	山桜の咲くころ、かへの兄弟は、かわせみがお魚をとるところを見てびっくり。なしの実が熟れる頃、かへの兄弟は、落ちてきたなしをかわせみと間違えてまたびっくり。水の中の小さなお話です。
50	1295	三つのねがい (原作：ヘーベル)	N01243と同内容。昔、ドイツ片田舎に、ハンスとリーゼという、貧しいお百姓の夫婦が暮していました。あるとき、突然山の妖精がやってきて、「ほしいものがあれば、三つだけ願い事を叶えてあげます」といって帰っていき…。
50	1296	おさんだぬきとかりゅうど	おさんだぬきは、化け名人。そして鉄砲の権三とは、まさに宿敵の関係。ところが、二人は年をとってよぼよぼになってしまいました。おさんは最後の化かしをやるうと村に下りると、権三はつれあいをなくして…。
50	1297	なきむしだいこん	昔、ある村で大根や人参のタネをいっぱい蒔いたが、ちっとも芽が出ません。しかし、一つだけ大根が芽を出したので、村人は大切に育てました。大根はどんどん大きくなり見上げるほどに…。
50	1298	ねこのおはなみ	猫と暮しているおばあさんが、腰が痛くて寝ていると、一緒に寝ていた猫のしっぽに桜の花びらがついてます。お花見に行きたいなあ、とつぶやくと、まあ、不思議。おばあさんの家の庭で、猫たちがお花見を始めて…。
50	1299	いっきゅうさん (とんちばなし)	「毛皮をきたものはお寺に入ってはいけません。」これを読んでもたへいさんは平気。お寺の太鼓も皮を使ってあるというのです。「太鼓はばちでぶたれます。それっ。」おなじみ一休さんとたへいさんのとんち合戦です。
50	1300	ふしぎなはこ (とんちばなし)	「ひこいちどん、助けておくれ！」しまりすのちよろきちが、かけこんできました。木の実の倉の甘栗が盗まれたのです。これは大変。木の実の倉の主人は、おこりんぼうのクマ。なんとか早く見つけなくては…。
50	1301	ねずみのほりもの (とんちばなし)	長者どんが、ねずみの彫り物の自慢をするので、きつちよむさんは負けずに「おらの家にも、たいしたねずみの彫り物がござえます。」と言ってしまいました。でも、ねずみの彫り物なんてありません。ところが？
50	1302	おさんぎつね (とんちばなし)	「なにくそ！まけるものか！うんうん。」「あんれ、まあ和尚さま、そんな所で何をやっていなさるんです？」「なに？ややや。」和尚さん、気がついてみたら、松の木相手に相撲をとっておった。「さては…。」
50	1303	なんでもなおすおいしやさん (とんちばなし・フランス民話)	ひょんなことから森のお医者さんになったさるのキッキ。早速、動物たちがやって来ました。「ぼくは、鼻が長すぎて困っています。」とゾウ。「ぼくのくびの長いのも直してください。」とキリン。ちょっと待って…。
50	1304	みずうみをしるはなし (とんちばなし・北欧民話)	くまを捕まえようとペールが縄をより合わせていると、湖の精が「何してるの？」湖に引きずり込まれたら大変。ペールは少し考えて「湖を縛ろうとしてるのさ。」驚いたのは湖の精。「頼むからやめてくれ。」
50	1305	そらとぶじゅうたん	一番めずらしい宝物を持ってきた者が、お姫さまをお嫁さんにできるということで、三人の王子さまたちは、宝物を探す旅に出かけます。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1306	やまんばのしっばい	やまんばは、魔法で何かに化けては生き物をだまして食べていました。ところが今日はどうもうまいかない。矢に化けて飛んでいけば当たらないで木にささるし、傘に化ければ風で裏返しになってしまいます。
50	1307	まほうのひょうたんいけ	魔法のひょうたん池の岸に立って欲しい物をいうと、池の底から女の人があられて、何でも届けてくれるのです。でも、用がすんだら返さなくてはなりません。それなのに、十べえさんは返すのが惜しくなり…。
50	1308	まほうのクレヨン	よしおくんが公園で拾った変な箱。魔法のクレヨンなんて書いてありました。中には確かにクレヨンが入っています。ためしにそれで描いてみると、何にでもかけます。空にだって描けるんです。その上、驚いたことに…。
50	1309	まほうのたま	おじいさんと犬と猫が仲良く暮らしている家へ、ある夜男の人がやって来ました。おなかをへらし、疲れている様子です。そこでおじいさんは…。
50	1310	まほうのきょうそう	うさきちが魔法を習おうと思って、森の先生のところへいくと、うさきちと同じように魔法を習いに来たうさすけに会いました。うさきちとうさすけは、お互い負けるものかと勉強して、魔法の棒をもらいますが…。
50	1311	やっこどっこい赤おにさん	NO.933と同じ資料
50	1312	まいごの子ねこちゃん	まいごの子ねこをうさぎが見つけて、「きみはきつと子うさぎさ。キャベツ食べる?」「食べない。」「変だな。じゃ、きみは木に登れるかい?それならリスの子さ。」
50	1313	ちゅうちゅうハッケヨイ	NO.937と同じ資料
50	1314	てんぐのはうちわ	天狗をだまして取り上げた、一枚のはうちわ。この魔法のうちわで娘の鼻を高くし、婿に収まったのはよかったけれど、自分の鼻を天までのばしたから大変。
50	1315	せむしの小うま 前編	「こらっ畑あらしはおまえか。」イワンがつかまえたのは、金色のたてがみの白い馬。「ゆるしてください。お礼に立派な二頭の馬とせむしの小うまをあげましょう。」
50	1316	せむしの小うま 後編	次から次へと王さまは、やっかいな命令を出します。でもイワンは、せむしの小うまのおかげで、どれもうまくやりこなしました。ところが、とうとう王さまは…。
50	1317	一ねんに一どは	NO.939と同じ資料
50	1318	なまえをみてちょうだい	お母さんにもらった、えっちゃんの帽子。ちゃんと名前が書いてあります。ところが、風に飛ばされて…、拾ったのは大男。名前も見ないで、いきなりパクン!
50	1319	よりかかりのタブ	タブは寄りかかるのが大好きです。家ではいつもお母さんに、園ではお友達のカブに、寄りかかってばかりです。そんなタブでしたが、みんなでピクニックに行った時、くまの子どもがタブに寄りかかって…。
50	1320	わりこみこんすけ	森の公園のブランコで、みんなが仲良く遊んでいると、意地悪こんすけがやってきて、ブランコを独り占めしてしまいます。すべり台で遊んでいてもこんすけが邪魔をします。そこで…。
50	1321	やどかりのひっこし	引っ越しの大好きなヤドカリさん、ミニカーの中に入り込んで得意顔。ところが大変!ミニカーがぐらぐら揺れ出して、何やら真っ赤なものが、あたり一面に広がりました。さて、それはなんでしょう?
50	1322	けるがのったせんすいかん	お父さんと釣りに来たかえるのける。人間のサンダルに乗っていたら、つり糸を魚がくわえてサンダルごとぐんぐん引っ張ります。「わあ、はやいな。おや、沈みはじめたぞ。」水の底には黒い大きなものが…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1323	だれのいえかな？	くまの大工さんのところに、ある日電話で注文が入りました。「どんぐり山に家を一軒、大至急建てて下さいな。」くまさんは大急ぎですてきな家を建ててののですが、「もっと屋根を高くして。」と言われて…。
50	1324	おしろドーナツとまちドーナツ	お毒見係がたくさんいるせいで、いつもおなかいっぱい食べることができないやせっぽっちのお姫さま。町で売っていたドーナツも、初めて食べることになったのですが、口に入ったのは、ほんのちょっぴり。
50	1325	日金沢の照手姫 (相模原のふるさと紙芝居) 上溝	昔、上溝の日金沢という川の近くに、横溝将監というさむらい大将が住んでいました。将監に女の子が生まれ、照手姫と名付けられ、照手姫は日金沢の水で肌を磨き、美しいお姫様になりました。ある日、若さむらいに出会い…。
50	1326	でいらぼっち (相模原のふるさと紙芝居) 鹿沼	昔々、でいらぼっちという頭を雲の上に出して歩くほどの大男がいました。ある朝、でいらぼっちは雷のような自分のいびきで目を覚まし、大あくびをしました。大あくびでつむじ風が起き、吹き飛ばされた男の子が助けを求めて…。
50	1327	いばりんぼのかみひこうき	ともくんの作った紙ひこうき、“へのへのもへじ号”。ともくとケンカして一人ですーいすーい。途中うまくバスに乗って動物園へ。「一度ぞうさんに乗りたかったんだ。」でも、やぎの上で風がやんで…。
50	1328	てがみのまいご	こうさぎのららが、おばあちゃんに手紙を出しました。でもその手紙には、あて名がありません。郵便車が困っているとパトカーがやってきて、「ぼくが届けてあげるよ。迷子を探すのは、ぼくの役目さ…。」
50	1329	たにしちょうじゃ	水神さまの授かり子は小さなたにし。からだは小さくても、知恵があって働き者。お嫁さんだってもらいました。今日も仲良く二人で村祭りへ。ところが大変、大事なたにしのだんなさんは行方不明…。
50	1330	ミーシャのエプロン	みかんのいっぱい持ってうちへ帰る途中、ミーシャはオオカミに追われて木の上へ。うまく逃げたのはいいけれど、これではうちに帰れません。ミーシャは白いエプロンに、みかんの搾り汁で何か書きました。
50	1331	びんぼうがみとふくのかみ	この家の男も女も、何と変わった人たちだ。貧乏神に味方して、福の神のわしを追い出すなんて。一体どういうつもりだ？さすがの福の神も首をひねりました。さて、その人たちは…？
50	1332	さむがりおに	ずっと昔のこと。とんがり山に住む鬼が、春になると山から下りてきて、何でも食べてしまうんじゃ。村人の食べ物から、飼っている生き物まで何でもかんでもじゃ。困った村人たちは…。
50	1333	まいごのねこはどこだワン？	ねこのシマゾウは夜のお散歩が大好き。ところがある晩、出かけて行ったきり戻らなくなりました。飼い主のこうちゃん、シマゾウととても仲良しの犬のポンポコをつれて探しに出かけます。
50	1334	かっちゃんかーんかーん	こどもキャンプ村での夏休み。かっちゃんが、かんかん怒って空き缶をけると、空き缶がお日さまに、カチンと大当たり。怒ったお日さまが空き缶を投げ返すと、今度は時計台へ、キーン！と当たって…。
50	1335	ゆきってなーに	くまさんは冬眠するので雪を見たことはありません。冬まで起きていようとがんばっても、目が覚めると春なのです。山の仲間はずっとくまさんに雪をみせてやろうと、いいことを考えつきました。それはね…。
50	1336	おもちゃどろぼう	こぐまのゴンちゃんたら、おもちゃを広場に散らかしたまんま、おやつを食べにおうちに帰っちゃったんです。その間に、ゴンちゃんのおもちゃはなくなってしまいました。さあ、犯人はいったい誰でしょう？
50	1337	こうさぎと7いろのマフラー	7匹の子うさぎのために、お母さんが7色のマフラーを編んであげました。それを首に巻いて、子うさぎたちは喜んで雪の野原に出かけて行きましたが、池の氷が割れて大変なことになりました。
50	1338	みんなでとりかえっこ	春です。森の動物たちは小さくなった服をとりかえっこしました。体の大きい方から順に小さい方へ服を渡すのです。でも、困りました。一番大きなこぐまは誰から服をもらうのでしょうか。そこでみんなは…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1339	とうちゃんありがとう	ぼく、ゆうきっていうの。とうちゃんはトラックの運転手なんだ。トラックを、びゅんびゅん飛ばしてかっこいいんだよ。でも、ぼくのことトラックに乗せてくれないんだ。乗せてよって頼んだら、今度車を買って乗せてくれるって…。
50	1340	マコがおちたほらあな	マコちゃんは、仲よしのうさぎ、ピピンと野原へ遊びに行きました。山登りをしていると、突然グラグラッと山が揺れて、マコちゃんはスッテンと穴の中に落ちてしまいました。穴の中は真っ暗…。
50	1341	はたおりぼしとひこぼし	星たちの着る着物を一生懸命織っている機織り星は、よく働く褒美で、仲よしの彦星と一緒に暮らすことになりました。うれしくてたまらない機織り星と彦星は、歌ったり踊ったり、仕事をすっかり忘れて遊んでばかり。
50	1342	おどれおどれドンガドン	今日は、動物村の夏祭り。うさぎのピックとピッチは、お母さんに連れられて、村のちんじゅ様に出かけました。喜んで走り出したピックは、きつねのおじさんにドンとぶかって「ごめんさい。」ところが…。
50	1343	おばけなんかこわくない	夏の一晩、園でお泊り保育をすることになりました。最初は、みんなでカレーライスを作って一緒に食べます。それが終わると、園庭でキャンプ・ファイヤーを焚いてインディアン踊りです。いよいよ最後はお化け大会です。
50	1344	ふたりのサンタ	今日はクリスマス・イブ。まっくら森に1人で住んでいる魔法使いは、暗くさびしい気分を晴らしに、サンタに化けて町へ向かいます。女の子やおばあさんに、魔法でプレゼントをしてすっかりサンタ気分がいい気持ち。ところが…。
50	1345	山のおもちゃ	山のふもとのお小さな小学校の子どもたちが、もちつきを楽しみにしています。それを聞いた子さるの兄弟が、山へ帰って動物たちにその話をします。でも、動物たちは誰も、もちつきのことを知りませんでした。
50	1346	ふしぎなおきゃくさま	もうすぐ正月だというのに、いつも貧乏暮らしのおとうとおかあ、それもそのはず、なんと貧乏神が住みついていたのです。いくら頼んでも貧乏神は出ていってくれません。二人はあきらめて…。
50	1347	さむがりやのゆきだるま	夕方、雪だるまを作って遊んでいた子どもたちが帰っていきました。その夜のことです。寒がりやの雪だるまが何か考えていますよ。どうやったら、あたたかくなるかな？
50	1348	ふくちゃんはおうち	豆まきの夜なのに、ふくちゃんは一人でお留守番。「ふくはそと、おにはうちー。」って叫ぶと、本当に赤い鬼が家の中に入ってきて、ふくちゃんのおへそを食べるというのです。
50	1349	まあおばあさんありがとう	きれいな秋がきたのに、まあおばあさんはさびしそうです。娘さんをお嫁さんに出したからです。そこで、いつもまあおばあさんの家に遊びに行く子リスと子ザルと子うさぎは、山の秋の実りをプレゼントしようとして…。
50	1350	十五夜さま	今夜は十五夜さまのお月見です。村の家いえではお月さまがのぼってくるのを待っていました。すると、どこからか、ボロをまとった坊さまが来て、仲間に入れてくれと頼みました。でも、どの家の人も相手にしません。
50	1351	はたらきもののいたちどん	昔、いたちどんとねずみどんが、栗餅を作って食べようと、一緒に栗を育てることになりました。ところが、働くのはいたちどんばかりで、ねずみどんは知らん顔。秋、栗が実りました。さあ、刈入れですが…。
50	1352	むっほはかせのだいはいつめい (防災・地震)	むっほ博士の研究室では、大発明が完成しました。こわいものが何にもなくなる「コワイモノナシーン」です。はじめに助手が実験しました。助手のこわいものは人參ですが…。
50	1353	だいすきうんどうかい	もうすぐ、園の運動会。たけしくんは、リレーで負けたと泣いています。みんなで力いっぱいがんばることが楽しいのよ、と先生に言われますが。さて当日、たけしくんは…。
50	1354	みんなでひなまつり	やすこちゃんは、女の兄弟のいないとしくんを誘って、ひなまつりをする約束をしました。ところがその日、妹のななこちゃんが高い熱を出して、ひなまつりをするのができなくなってしまい…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1355	そつえんしきのプレゼント	いっぺいくんの園では、卒園式の日、大事に使った道具箱を年長組から年少組にプレゼントしています。いっぺいくんは、中にすてきな贈り物を入れて、まちこちゃんにあげることにしました。それは…。
50	1356	木のおばけザワザワ	少し昔、町に木がたくさんあった頃。子どもたちが林の中で遊ぶと、みどりのおばけザワザワがやってきて、一緒に遊びました。ザワザワは、プーンと木のおいがして、フカフカのからだに乗ったりできる楽しい友達でした。
50	1357	よあけのこいのぼり	絵かきのおじいさんは、赤ちゃんのためにこいのぼりを作ってあげました。それを見たネコが、子ネコのために作ってほしいと頼みに来たので、三匹の子ネコにそれぞれ小さなこいのぼりができました。
50	1358	やっぱりだいすき！おかあさん	子ぐまのプータは、黒森へ木いちごを取りにいこうと、お母さんを誘います。でも、お母さんは眠たがって、一緒に行ってくれません。プータは一人で出かけます。木いちごをたくさん摘みますが…。
50	1359	にんじんだいっきらい！	としくんは、にんじんがだいっきらい。お母さんが、どんなに料理を工夫しても、絶対に食べようとはしません。困ったお母さんは”魔法”を考え出しました。次の日、お父さんの好きなお鍋にするために買い物にでかけ…。
50	1360	おべんとうの日	明日は月に一度のお弁当の日です。ところがまさとは、そのことをお母さんに言い忘れてしまいました。朝、はっと思い出したまさとは、あわててお母さんに伝えようとしたのですが…。
50	1361	おやつのじかんだよ	時計の針が3時を指した。さあ、おやつの時間です。みんなにおやつをあげようね。甘いケーキにペロペロキャンディー、アイスクリームに缶ジュース。甘い物ばかりでできたら「ウッヒヒ」と悪魔がやってきて…。
50	1362	のどがかわいたよう	動物たちの園で、近く山へ遠足に行くことになりました。朝、ほとんどごはんを食べずにジュースばかり飲んできたぞうくんは、登り始めると、すぐにのどがかわいて…。
50	1363	たべものクイズ	ごはんの前はなんでしょう。そう、お米です。お米は一体どんなもの？お豆腐は何からできているの？ワカメはどこに生えている？さあ、物知りねこのミケちゃん・シマくんと一緒に考えてください。
50	1364	おうちでレストラン	日曜日の夕方、晩ごはんのグラタンをお父さんとユッコちゃんが作ることになりました。マカロニ茹でたり、野菜を炒めたり、ホワイトソースを作ったりと大さわぎ。いつのまにか、お母さんとお兄ちゃんもやってきて…。
50	1365	じごくけんぶつ (日本民話 わらいばなし)	ある日のこと、かるわざし、歯抜き師、山ぶしの仲よし三人組が、地獄けんぶつに出かけました。エンマ大王とその子分の鬼たちは、三人組をなんとかして食べようとあの手この手で迫りますが…。
50	1366	しりなりべら (日本民話 わらいばなし)	表が赤く裏は黒 兄さが拾ったしりなりべらとは何だろう。赤いほうで自分のおしりをなでると、さあ大変、勢いよくおならがなりだして、とまらない。そのうち、黒いほうでおしりの穴をおさえると、あらふしぎ。
50	1367	いたずらぎつね (日本民話 わらいばなし)	山寺に住むおしょうさんは、村にお経をあげにいった帰り道、きつねに化かされてお土産の御馳走をとられてしまいました。怒った小僧さんは一計を案じ、まんまときつねを生けどりにして…。
50	1368	かっぱのすもう (日本民話 わらいばなし)	相撲好きなおじいさんが田の草取りをしていると、かっぱが次々とやってきて「相撲をとろう」といいます。草取りを手伝わせると、おじいさんの尻こだまを抜こうとするので、やかんのふたでふせぎました。
50	1369	ねずみきょう (日本民話 わらいばなし)	おじいさんに先立たれたのに、お経を知らなくて困っているおばあさんがおりました。ある日、旅の坊さまが一晩泊めてくれとやってきます。お経を教えられるなら、坊さまを家にあげますが…。
50	1370	しりやのめいじん (日本民話 わらいばなし)	百姓の若者が、初めて山から下りてきて、村の宿屋に泊りました。部屋に、見たこともない立派な弓矢が置いてありいじっていると、突然、泥棒騒ぎ！若者が何気なく矢を射ると…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1371	あんもちみつ (日本民話 わらいばなし)	おじいさんとおばあさんが、お隣からあん餅を三つもらいました。まず一つずつ食べ、残った一つをにらめっこに勝った方が食べることにしました。勝負がきまらないまま夜がふけると、泥棒が忍び込んできて…。
50	1372	アカネちゃんのうでどけい	アカネちゃんはモモちゃんに、赤いバンドのついた、いつも3時をさしているおもちゃの腕時計をもらいました。3時は、おやつの時間です。お昼寝の時でもおやつの時間…。
50	1373	あたらしいともだち げんきなこうちゃん	転入してきたこうちゃんは、新しい園で新しい友だちにたくさん会いました。みんなにいろいろな遊びに誘われて、こうちゃんはどうしたらいいのかわからなくなり…。
50	1374	ボールころころ	あるところに、ボールがひとつ落ちていました。風がさあーっと吹いてきて、ボールはころころ、転がりだしました。途中で小犬にあっても、小猫にあっても、ボールはころころ、転がっていきます。
50	1375	たのしいな！すなあそび げんきなこうちゃん	今日はみんなで砂遊び。だいちゃんがホースで水をまくと、男の子たちは山作り、女の子たちはお団子作りを始めました。ところが…。
50	1376	もりのレストラン	たけしくんが森に行くと、一本のコナラの木に小さなガがとまっていた。そして、次々に虫がやってきます。ここは、森のレストラン？
50	1377	きつねのランプ	しょうきちさんは、タクシーの運転手さんです。ある日、お客さんを山へ送り届けました。その帰り、陽はとっぴりとくれ、道のわきからは、霧が湧き上がってきます。不安になりながら運転しているとポツと光が。
50	1378	ともだちばんざい げんきなこうちゃん	みんなで冒険パークへハイキング。小山を登るとすべり台になっていたり、小川をロープでとんで渡ったり…。でも、だいちゃんは…。
50	1379	あわぶくちゃん	たっちゃんがお父さんとお風呂で頭を洗おうとすると、あわぶく怪獣があらわれて、目や口の中に入ろうとしますが…。
50	1380	あへそさんたびにでる	たろうくんのおなかから、おへそさんがお弁当持って旅に出ました。ネコから逃げ、ゴキブリから逃げて、外に飛び出し、川から海へ大冒険。
50	1381	みんなでげきあそび げんきなこうちゃん	みんなで考えた劇遊び「ももたろう、おにがしまへ」の発表会です。おやおや、ももたろうが三人も出てきました。鬼たちは全部お女の子。
50	1382	ゆきのひのおみやげ	雪の日、お絵かきの絵皿を洗いながら、まゆみはいいことを思いついて、だいすけと一緒に、園庭の雪に色水で絵を描きはじめました。
50	1383	どうしてどうしてぼうや	見るもの聞くもの、なんでも”どうして？”と聞いて知りたがるみつお君。今日も朝から”どうして？”の連発です。ふしぎなことはなにかな。
50	1384	このくまさんはおきゃくさん？	旅に出たくまさんは、ろばくんの家に泊めてもらいました。次の朝、でかけようとしていると、キツネさんがパンを持ってきたので、一緒にごちそうになり、お礼に薪割りを…。
50	1385	いちごのジュースでくらべっこ	今日はくまくんのお誕生日。いちごのジュースをみんなでわけようと思いますが、コップの形がちがうのでくらべられません。そこへ、きつねくんが大きなコップをもってきます。
50	1386	らっかせいのふしぎ	庭に植えたらっかせいが、芽を出しました。小さな黄色いチョウのようなツルが伸び、つるが土の中に入っていきます。そのツルにらっかせいが…。ふしぎな生態。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1387	そらをとぶゆめ 子どものころのライト兄弟	はじめて空をとんだライト兄弟の少年時代のおはなしです。ウィルとオーブの兄弟は機械いじりが大好きで、手作りのそりを作ったり、ヘリコプターのおもちゃを作ったり…。
50	1388	ねこおしょう	むかし、ねこの絵ばかり描いている小僧さんがいて、とうとうお寺を追い出されてしまいます。山を越え荒れ寺にたどりついた、その夜…。
50	1389	ちびっこカムのぼうけん 前編	はるか遠い北の国に、カムという男の子が、病気の母さんと二人で住んでいます。カムは母さんの病気を治すというイノチノクサを探しに、火の山めざして冒険の旅に…。
50	1390	ちびっこカムのぼうけん 中編	火の山の大男ガムリイと戦ったカムは、イノチノクサを手に入れました。かわいい女の子チャピナとも出会って、山から戻ってこない父さんを探しに、ふたたび旅立ちます。
50	1391	ちびっこカムのぼうけん 後編	カムは、ガムリイの指輪を谷底深く落としてしまいました。指輪がないとシロクジラにされた父さんを助けることはできません。カムは気を取りなおして北の海へ向かいます。
50	1392	クリスマスのきょうだい (原作:シュティフター)	明日はクリスマス。コンラートとスザンナの兄弟は、おばあさんの家から雪山を越えて帰ります。深いアルプスの山の中で、二人は道に迷ってしまいますが、助け合って…。
50	1393	おしょうがつのおきやくさん	雪の降る寒い冬、貧乏なじさまとばさまの家に、7人もの旅人が、泊めてほしいとやってきました。こころよく迎えると…。
50	1394	やじさんきたさん	やじさんときたさんの二人。旅先で大きな川に出くわします。お金はなし、はてさてどうしたものか？二人は、おかしなことを思いつくのですが、愉快な二人の珍道中。
50	1395	よみがえったすいせん	花つくりのさかんな千葉県房総半島。戦争がはげしくなって、花つくりが禁止されてしまいます。そして一面がイモ畑に…。
50	1396	たこやたこざえもん	たこやたこざえもんの家は、西の海の果てにあり、朝日夕日が寝ていてながめられます。長者の娘がそこへ嫁に行くことになり、ようやくたずねあてると、海辺にあるあばら家でした。それでも二人は夫婦になり…。
50	1397	なぞなぞなあに	「なぞなぞなあに、あれなあに。『あ』がつくからあめこんこん。」伝統的なせりふで始まるなぞなぞの世界。からかさや三つ目小僧といった民話の国の住人達が登場します。
50	1398	なぞのあねさま	昔、力自慢の3人兄弟が力試しに旅に出ました。すると、長者の家の前に”知恵あり、力ある若者を婿にしたい”という立札がありました。三人は、千かり田んぼの田おこしをするが勝負がつかず…。
50	1399	たけいっぽん しいっしょう	昔、旦那の家に竹一本の運の男の子、隣の家には塩一升の運の女の子が生まれました。二人は夫婦になってお店は大繁盛。ところが男は女につらくあたって、家から追い出してしまいます。
50	1400	ひこいちどんのかさやさん	ひこいちどんの傘屋さんは、町中の評判です。店の二階につるしてある傘が生きていて、雨が降るとひとりでに開き、日が照るとひとりでにすぼむというのです。そのうわさがお城の殿様の耳に入り…。
50	1401	きつねのなきいろ	ある日、村の染め物屋さんに、一人のお客がやってきました。白い着物をさし出して、「きつねのなきいろに染めて下さい」というのです。はあて、どうしよう。きつねのなきいろってどんな色？
50	1402	となりのはなはいたかった	びんぼうじいの小さな庭に、きれいな梅の花がたくさん咲きました。気のいいじいひは、隣の金持ちじいにも梅の花の香りをわけてやりたいと思いますが、金持ちじいひは…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1403	いなくなったふたり	年長組と年少組の子どもが、ペアになって山登りをしました。先生から注意があって、かくれんぼが始まりました。かずくんはけんちゃんの手をひいて、どんどん遠くに行きました。
50	1404	こうちゃんあそぼうよ	こうちゃんは保育園のさくら組。毎日、みんなの邪魔したり、乱暴ばかり。ある日のこと、みんなは相談して、乱暴こうちゃんを仲間外れにしました。遊びにもいれてもらえず、一人ぼっちになったこうちゃんは…。
50	1405	ぴよんたくんのおかたづけ	子うさぎのぴよんたが、縄跳びしようと縄を探すと、縄がありません。キャッチボールをしようとグローブを探すと、グローブもありません。お片付けのヘタなぴよんたは、自分でちらかしたおもちゃにぶつかって…。
50	1406	ふらふらびょうのびょういん	たぬきのタンタンは、夜遅くまでテレビを見ていて朝寝坊。朝食も食べずトイレにも行かず、あわてて園に走っていく途中で、ふらふらびょうになってしまいました。原っぱに行ってみんな楽しく遊んでいるのに…。
50	1407	だいちゃんのピクニック	だいちゃんと妹は、おばさんに連れられて、見晴らし山へピクニックに行きます。ところが、だいちゃんときたら、電車に乗ると席を独り占めしたり、吊革にぶら下がったり…。
50	1408	わたしはまいご	よっちゃんは、ズボンの犬のアプリケとおそろいの犬のついたハンカチを持って、大喜び。ハンカチの犬がぬれないように、そっと手を拭いたりしていたのに、遊んでいる途中で落としてしまい…。
50	1409	おはなしできた	たっちゃんのお母さんは、たっちゃんがちょっと泣くだけでも何をしてほしいのかわかってしまいます。何でも先回りしてやってくれるので、たっちゃんは何もきちんとお話しなくてもすんでいました。ところが…。
50	1410	きつねとごんろく	おにのごんろくは、お人よし。山のワルギつねにだまされてばかりいます。ある日、村人が、そのきつねを生け捕りにし、ごんろくが見張り番をすることになりました。すると、雨が降ってきたので…。
50	1411	へんてこおじさん	たかしは、公園でへんてこなおじさんにであいました。そのおじさんは、ちょうちょをばくっと食べたかと思うと、帽子から、たくさんのちょうちょを出しました。次に卵！その卵は、みるみるうちに割れて…。
50	1412	きょうりゅうかみなりぼうや	ゴロゴロ、ドスン！大きな音とともに、きみお君家の庭に、雷がおちました。きみお君が庭に飛び出してみると、一匹の恐竜のぼうやがいました。かみなりぼうやと名付けられた恐竜は、たちまち町の人気者に…。
50	1413	ふみちゃんだいしっぱい	ふみちゃんは、風邪をひいて寝ているのに飽きてしまいました。ちょうどお見舞いに来た友達と一緒に、窓から抜け出して遊びに行ってしまったのです。帰ってきたところをお母さんに見つかって叱られて…。
50	1414	めいたんてい こん・ぴゅうたろう	名探偵のこん・ぴゅうたろうが、大根を掘っていると、リリーン！はず池に住むアヒルのお母さんからの電話で、大事な卵がなくなったというのです。ぴゅうたろうは、早速捜査を開始。
50	1415	めいたんてい こん・ぴゅうたろう	夏祭りの朝、稲荷大明神の神主さんから、お賽銭箱のお金がなくなったとの捜査依頼。ぴゅうたろうは、すぐに出かけて行きました。お賽銭箱の中を調べると…。
50	1416	はしれげんきごう	雨降りの日、こういちやともこたちは段ボール箱で電車ごっこをしましたが、動かないのでつまりません。そこで先生がお父さんたちに協力してもらって、木の箱車「げんき号」を作りました。子ども達は大喜び！
50	1417	あくびくん	かばのかばおくんは、朝から大あくび。つみき遊びもしたくないし、すぐ疲れるから何をしてものろのろです。みんなで歌をうたったときも大あくびで、歌がメチャメチャになってしまいました。
50	1418	ばんそうこうポンちゃん	たぬきのポンちゃんは、ボール投げのボールがうまくとれなくて顔にぶつけてしまいました。かけっこをしてもすぐにころんでなかなか起きられません。すべり台では勢いよくすべりすぎて、おしりをすりむいて…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1419	どろんこばしゃん！	うさぎのレミちゃんは、お友だちが、みんなで”どろんこ遊び”をしているのに、よごれるからいや！と見てるだけです。そして、おかあさんと一緒に、バレエや算数、バイオリンと勉強ばかり。でも、ある日とうとう…。
50	1420	くまのクーちゃん	くまのクーちゃんは、おかしを食べながらテレビを見るのが大好き。お母さんと一緒にごろごろしている方が楽だから、友だちが誘いにきても、外に遊びに行きません。あるとき、テレビが故障して…。
50	1421	ぼくのあしあとおかしいな	今日は楽しいプール遊び。でもフミくんは水遊びがあまり好きではありません。おまけに、プールサイドについた足跡の中で、フミくんのだけ形がちがうことに気がつきました。
50	1422	にんじゃかおりちゃん そらをとんだにちょうび	忍者学校のかおりちゃんは、活発な女の子。ある日、お父さんやお母さんと天井を歩く宿題がでます。お母さんはおでかけ、お父さんは仕事で疲れています。でも、かおりちゃんは…。
50	1423	まるめてのばして	NO.1086と同じ資料
50	1424	こびとのエノグ	NO.1087と同じ資料
50	1425	なにになるのかな	NO.1089と同じ資料
50	1426	ぼうしでへんしん	NO.1090と同じ資料
50	1427	パックさんチューブくん	NO.1091と同じ資料
50	1428	そらとぶてがみ	NO.1088と同じ資料
50	1429	すいかぞろぞろ	すいかたちは、いつも、すいかつぶし機にいじめられていました。すいかたちの頭には、ツルがついていて、逃げたくても逃げられません。そこで、すいかたちは、ノコギリウサギに頭のツルを切ってもらい…。
50	1430	パパ、だいすきさ！	「父の日」って知ってる？園のエミコ先生が聞いたとき、知らなかったのはぼくだけだったんだ。でも、そんな特別な日なんかなくたって、ぼくがいつだってパパを好きなことにかわりないんだ。
50	1431	ぞうさんのねんがじょう	ぞうさんが大きな大きな年賀状を書きました。大きな年賀状誰にあげようかな。そうだ、くじらさんにあげよう。でも、やぎの郵便屋さんは海の上までは配達できません。そこで…？
50	1432	おなかをこわしたかばのこカバタン	暑い夏の日、カバタンはチュー太とウサ子ちゃんといっしょに、外へ遊びに出かけました。ところが、カバタンはアイスクリームを食べすぎて、おなかをこわしてしまいます。「おなか、痛いよー。」
50	1433	たっちゃんのうちゅうりょう	たっちゃんのお父さんは、月で働いています。そのお父さんに会うために、たっちゃんとお母さんは、月に向かって出発しました。たっちゃんは、はじめて宇宙に出て、いろいろなことを発見します。
50	1434	のろまじゃなかったブーン	カナブンのブーンはのんびりや。ごはんだって皆が食べ終わる頃、食べ始めるんです。だから、みんなはブーンのことを、のろすけとかのろまとか呼びます。ところがある日、もずが襲ってきたとき…。
50	1435	きょうはだいいなだいいなひ (入園式)	春の朝、こぐまがほら穴のおうちから外へ出ると、うさぎの親子がやってきました。こぐまは子うさぎに連れられて、動物保育園に行くのですが、その日が何の日なのか、よくわかっていなくて…。
50	1436	むしはかせじゅんちゃん	園に新しいお友だちが入ってきました。大阪弁なので、みんな笑ってばかりいます。そんなある日、一つの事件が起きました。カマキリを手でつかまえたのです。
50	1437	よっちゃんのスキップ	タッカ、タッカ、タッカ、タッカ。みんな楽しそうにスキップの練習をしています。それなのに、よっちゃんはまだ、スキップができません。うまとびみたいです…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1438	ケンちゃんのおるすばん	お母さんはおつかい。ケンちゃんは一人でお留守番。「ぼく男の子だもん。平気だよ。」ところが、窓の向こうに誰かがヌツ。黒いメガネで、どろぼうかな？
50	1439	つもりつもれはつゆきさん	雪が降りはじめた日の夜、タカシくんはうれしくて、すぐには眠れませんでした。すると、部屋の外からかわいい声できれいな歌が聞こえてきました。「あっ」！
50	1440	おかっぱさん	チカちゃんの髪の毛は、長くてきれいに三つ編みにわけられています。でも、チカちゃんはこの髪がじゃまでしょうがないのです。そこで、一人になったときに…。
50	1441	おはようさん	朝はみんなが出かけます。「行ってきまーす」会社、学校、幼稚園。いろんな足が歩きます。足の高さに視点を移し、ユニークな画面で繰り広げられる朝の風景。
50	1442	ぴこたんのなぞなぞうんどうかい	ぴこたんの幼稚園のなぞなぞ運動会。なぞなぞに答えられないと、大玉ころがしもつな引きも負けです。よし、みんなで力を合わせてがんばろう。
50	1443	ぴよこたんのしゃぼんだまあいうえお	ぴよこたんは、ぞう博士といっしょに、おもしろいシャボン玉を発明しました。さっそく、ぶーっとぶくらましてみると…あらあら不思議！
50	1444	ぴこたんのなぞなぞレストラン	今日はぴこたんのお誕生日です。パパやママがレストランに連れて行ってくれるので大喜び。はりきって、注文をなぞなぞで出してみると…。
50	1445	なぞなぞだいぼうけん	なぞなぞ名人のはやとくんが、友だちの怪獣と遊んでいました。すると…空飛ぶねこがあらわれ、なぞなぞをしかけてきたのです！
50	1446	ぴよこたんのなぞなぞ1.2.3	いちご、食べたい！ドーナツも、食べたい！でも、その前になぞなぞです。答えがはずれていたら、あおずけですって…さあ、大変だ。
50	1447	なぞなぞたんていニヤンタロー	ねずみのチュー太から、ぼうしを探してほしいと頼まれたニヤンタロー。手がかりは、やぎじいさんのなぞなぞ。さあ、ぼうしはみつかるかな？
50	1448	ふとんやまトンネル	ふとんにもぐるのが大すきなケンちゃん、どんどんもぐったら、トンネルができちゃった。そこで、どんどんもぐったら、あれあれ変だぞ。へんなところへ出てしまったぞ。ケンちゃんはどこへ出たのでしょうか？
50	1449	ものまねじいさん	おとなりのおばあさんのマネばかりしているおじいさん。編み物のマネしても「えい、うまいかん。」ヤギの乳しぼりをマネしても「うーん、だめだ。」今度はバラの花を植えるのをマネして…。
50	1450	かみしばいおに	園で先生が紙芝居をやっていました。「だんご山のオニ」という紙芝居です。ところがびっくり！その紙芝居の中からオニが飛び出てきたのです。子どもたちは大さわぎ。
50	1451	ひつじのしたてやさん	ぼくにぴったりの仕事は何かな？ある日、ひつじが仕立屋さんを始めました。ひっきりなしのお客さんで商売繁盛。けど、自分のからだの毛を使うもんだから、材料が目に見えてどんどん減っちゃって…。
50	1452	むしばせいじんがやってきた	へんてこな宇宙船がやってきて、だいちゃんの口の中に入っていました。いったい何をするつもりなのでしょう。あっ、大変です。宇宙人が、だいちゃんの歯をけずろうとしています！
50	1453	にこにこまんじめじめ	「さあ、今夜もおねしょをしましょうね。」たけしくんがパジャマに着替えてふとんに入ると、いつもやってくるイヤなやつ じめじめ。負けてばかりのたけしくんだけ、今日はちょっとちがうんだ。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1454	130ねんまえのかねのおと	トキオはお寺の境内に行ってびっくりしました。鐘もないのに鐘の音が聞こえてきたのです。ゴオンオンオン「へんだぞ！」犬のサムもワンワン吠えます。
50	1455	プーくんのおひなさま	「おひなさまを見に来ない？」うさぎのうさこちゃんのうちへ行って、ぶうくんは驚きました。「へえ、うさこちゃんのおひなさまって、うさぎの顔してるんだねえ。」
50	1456	ゆうじとありじ	ゆうじは一人で留守番。「平気さ。ぼくちの床下には大きなありじごくがいて守ってくれるんだ。」すると、たたみが持ち上がって「やあ、おれ、ありじごくのありじ。」
50	1457	あめあがりのさんぼ	雨がやみました。小さなヘビが散歩に出ると、あたり一面真っ赤。なんだ、トマト畑に迷い込んだのか。すると、今度は一面黄色。なーんだ、黄色い長靴だったのか…。
50	1458	てぶくろくん	ひろくんが、お母さんに手袋を編んでもらいました。ところが大変！手袋くんたちが、けんかを始めたのです。「ひろくんと遊ぶの、ぼくだもんね…。」
50	1459	だいちゃんのぼうけん	森の絵を描いていただいちゃん、エンピツが折れたのでポイッ。代わりにクレヨンを借りようと、お兄ちゃんの部屋のドアをあけると、そこは真っ白な紙の世界。絵に描いたものが本物になるのです。エンピツを使って…。
50	1460	いさましいおかみさんとトラ (パキスタン民話)	畑でトラにおどかさね、牛をよこせといわれたお百姓は、逃げ帰っておかみさんに相談しました。勇ましいおかみさんは男装をして…。
50	1461	おはなをはんぶんこ	くまのパン屋さんがお店にお花をかざりました。ブタのお母さんがパンを買いに来て、お花を半分もらい家にかざると、きつねのクリーニング屋さんがやってきました。
50	1462	ニルスのふしぎなたび (前・後編)	両親が出かけたあと、男の子ニルスは、お母さんの衣装箱に小人のトルテが姿を現しているのを見つけました。ふざけてトムテをつかまえると、トムテが魔法でニルスを小さくしてしまい…。
50	1463	ゲンじいとかっぱ	かっぱのカンペイは、川っぶちで畑仕事をしているゲンじいのしりこ玉を取ろうとして、そっとゲンじいのうしろに近づきました。ところがカンペイは、ゲンじいにつかまって…。
50	1464	三つになったモモちゃん	朝、目が覚めたらモモちゃんは三つになっていました。モモちゃんは、今まで使っていた、ミルク瓶とガラガラとおしゃぶりを、誰かにあげる決心をしました。
50	1465	よっちゃんはうんちはかせ	よっちゃんは、うんちが大好き。まるで博士のようによく知っています。ある日、よっちゃんたちは遠足で動物園へ。さあ、どんなうんちがよっちゃんをまっているでしょう！
50	1466	イルカのルカ	赤ちゃんイルカのルカは、具合が悪くなって、おかあさんイルカと、入江にやってきました。まりちゃんという女の子と仲よしになり、元気になりました。ところが…。
50	1467	ぞうさんのぼうし	ぞうさん、りすさん、うさぎさん、さるさん、きつねさん、たぬきさんに、クマの帽子屋さんが帽子を持ってきてくれました。ところがぞうさんのがありません。
50	1468	おばあちゃんがくる日	お誕生日のプレゼントに、おばあちゃんから自転車もらったげんちゃんは、大喜び。ミッキーマウスのプザーがついていて、とてもかっこいいのです。
50	1469	モモちゃんどうぶつえんへいく	モモちゃんはこうちゃんと、カバさんに床屋さんをやってあげていました。すると、カバさんが大きなくしゃみ。二人は飛ばされて動物園へ。トラ・ライオン・ひょうが外へ出たい！っていったのです。さて、二人は…。

教材コード		タイトル	内容
種類	教材番号		
50	1470	あしあとだあれ	ぼくの足が二つよりもっと大きな足跡、誰のだろう？ 今度はちょんぱ、ちょんぱってちがう足跡。いろいろな動物たちが登場して、足跡くらべをはじめます。
50	1471	ひとりでぜんぶやらせてね	園で積み木遊びをしていたけんいち君とみちこちゃんは、片付けのときみんなでゴチャゴチャになるのが嫌で、全部自分たちでやらせてほしいと頼みます。でもみんなは…。
50	1472	はみがきやさんですよ	しんやのクラスでは、今日から食事のあとに自分で歯みがきをすることになりました。先生と一緒に歯みがきの練習をしたあと、しんやはいいいことを思いつき、庭へ出て、子犬のチビのところにいきました。
50	1473	かたつむりさんこんにちは	雨の日、ひろくんは塀の上に一匹のかたつむりを見つけました。話していると、歩き方のこと、目のこと、歯のこと、不思議な体のしくみがわかってきます。身近な昆虫の生態をやさしく、わかりやすく伝えます。
50	1474	どろどろどろんこおばけ	雨がやっとあがり、ねずみちゃんとうさぎちゃんは、公園に遊びに行きました。すると、大きな水たまりがあって…。多勢の動物たちが、元気に楽しく泥んこ遊びをするお話です。
50	1475	おむかえをまつあいだ	夏の終わりの夕方のことです。まいちゃんのお母さんは、まだお迎えに来てくれません。そこで、物置小屋のうしろに、友だちと探険に行くことになりました。近くに行くと、木がざわざわとゆれて…。
50	1476	ネコのたいそう	「これから、ぼく、ねこの体操やるんだけど、一緒にやらない？」画面の中のねこくと、紙芝居を観ている子ども達が、いっしょに楽しく体を動かす、子ども参加の紙芝居。
50	1477	タオルちゃん	のぶちゃんの大好きなタオル…タオルちゃんを、のぶちゃんは離れたことがありません。でも、母猫ミーが赤ちゃんを産むことになって…。
50	1478	ふたりのおばあさんのプレゼント	少しだけ魔法の使えるおばあさん。風邪をひいてしまったので、ぬいぐるみのくまさんを小さなおばあさんに変えました。小さなおばあさんは、料理やそうじに大活躍。
50	1479	かみひこうきはだいじなてがみ	めんどりのコッコが、散歩をしていると、紙ひこうきが落ちていました。その紙ひこうきには何か字が書いてありますが、コッコは読めないの、読んでもらおうとして…。
50	1480	たまごがひとつ	たまごが一つ、もう一つ、まーめが三つとんできた…さあ、たまご絵かき歌のはじまりはじまり。みんなもまねをして、絵をかいてね。どんなものがかけるかな？
50	1481	こねずみポストマニ (インド民話)	昔々、インドの国に、魔法つかいのおじいさんがいました。かわいがっていたねずみが、ネコに追いかけられるのを見て、魔法でネコに変えてやりました…。